

令和7年度
神奈川県海岸漂着物組成調査業務委託
調査結果報告書

令和8年2月
内外地図株式会社

目次

1. 調査の概要	1
1.1 委託業務名	1
1.2 目的	1
1.3 委託期間	1
1.4 委託業務の内容	1
1.4.1 調査地点	1
1.4.2 調査時期及び回数	1
1.4.3 事前踏査等	2
1.4.4 漂着ごみの回収・分析等	4
1.4.5 漂着ごみの回収	5
1.4.6 調査結果報告書の作成	5
2. 本調査の調査結果	8
2.1 三浦海岸北側公衆トイレ付近（三浦市）	8
2.1.1 組成調査	8
2.1.2 発生源の推定	28
2.2 引地川河口部右岸（藤沢市）	29
2.2.1 組成調査	29
2.2.2 発生源の推定	52
2.3 金目川河口部左岸（平塚市）	53
2.3.1 組成調査	53
2.3.2 発生源の推定	76
2.4 酒匂川河口部右岸（小田原市）	77
2.4.1 組成調査	77
2.4.2 発生源の推定	100

1. 調査の概要

1.1 委託業務名

令和7年度神奈川県海岸漂着物組成調査業務委託

1.2 目的

本委託業務は、相模湾及び東京湾沿岸に漂着する海岸漂着物（以下「漂着ごみ」という。）の組成及び量を調査するとともに、発生源の推定を行い、漂着ごみの発生抑制対策に資することを目的とした。

1.3 委託期間

令和7年9月2日（火）から令和8年2月27日（金）まで

1.4 委託業務の内容

環境省作成の別添「地方公共団体向け漂着ごみ組成調査ガイドライン（令和7年5月第4版）」（以下、「ガイドライン」という。）に準じ、以下に定めるとおり、本委託業務を実施した。

なお、過年度調査では、同ガイドラインの旧版を使用した年度もあるが、本報告書に記載された集計結果に差異は生じない。

1.4.1 調査地点

調査地点は、表 1.4-1、図 1.4-1～図 1.4-4 に示す4地点とした。

表 1.4-1 調査地点と調査日

調査地点	調査日
①三浦海岸北側公衆トイレ付近（三浦市）	令和7年12月15日
②引地川河口部右岸（藤沢市）	令和7年12月15日
③金目川河口部左岸（平塚市）	令和7年12月16日
④酒匂川河口部右岸（小田原市）	令和7年12月19日

1.4.2 調査時期及び回数

調査時期は、表 1.4-1 に示した。調査回数は、1回実施した。

1.4.3 事前踏査等

(1)事前準備

調査に当たって、海岸、河川等の管理上の支障が生じないように、海岸管理者又は河川等管理者と調整の上実施した。また、調査は海岸管理者等による海岸漂着物の回収・処理前に実施する必要があるため、回収・処理の時期及びボランティアの清掃活動状況を含め、海岸管理者等に確認した。併せて、管理管轄部署、関係機関、団体への調査の許可及び周知を行うことで、スムーズな調査を実施する準備を行った。

(2)事前踏査

調査地点において事前踏査を行い、目視による確認で、漂着ごみが多く集積しているエリアを選定した。なお、継続して同じ場所で調査できるところを選定した。



図 1.4-1 調査地点：三浦海岸北側公衆トイレ付近（三浦市）



図 1.4-2 調査地点：引地川河口部右岸（藤沢市）



図 1.4-3 調査地点：金目川河口部左岸（平塚市）



図 1.4-4 調査地点：酒匂川河口部右岸（小田原市）

1.4.4 漂着ごみの回収・分析等

(1) 事前準備

表 1.4-2 に示す漂着ごみの回収に必要な用具及び調査に必要な機材等の準備を行った。
また、調査予定日の天候を事前に確認した。

表 1.4-2 調査に必要な物

①漂着ごみの分類表兼データシート
②言語表記等調査のデータシート
③筆記用具
④ごみを収集するための丈夫なゴミ袋
⑤ごみ分類後の計測機器 ・容量を測定するための袋または容器 ・重量を測定するための計量秤
⑥メジャー（50mまで計測可能なもの）
⑦軍手
⑧金ばさみ
⑨カメラ
⑩危険物（例：注射器） 収納容器
⑪その他、必要と判断した物（寒さ対策等）

(2) 漂着ごみの回収及び分析

① 調査範囲

図 1.4-5 に示すとおり、汀線方向の幅を 50m として、調査時の海岸汀線から海岸の後背地（植生があるところ）までの間を対象とした。

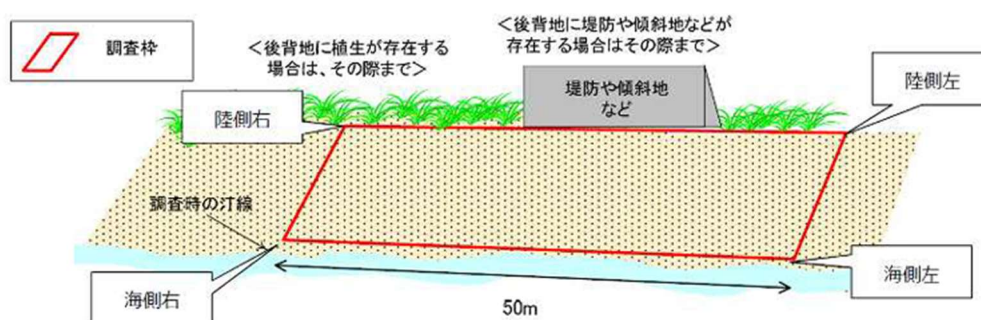


図 1.4-5 調査範囲

② 調査対象の漂着ごみ

長さが 2.5cm 以上の漂着ごみを調査対象として回収した。

③ 漂着ごみの回収及び分析

ガイドラインに基づき、調査範囲において回収した調査対象の漂着ごみを分類し、ガイドラインの「漂着ごみ データシート①～②」に従って、個数、重量及び容積を計測した。

(3)発生源推定の分析

次のごみについては、記載されたバーコードやラベル等の表記が読み取れるものは、言語の特定を行い、ガイドラインの「言語表記等調査のデータシート」に従って、別途個数を計測した。

表 1.4-3 調査品目

①ペットボトル
②ペットボトルのキャップ
③漁具用の浮子

1.4.5 漂着ごみの回収

調査に伴い回収した漂着ごみは、分類及び計測終了後、調査地点ごとに、県が指定する場所に、県が指示する分別方法に従い分別のうえ、集積して置いた。

1.4.6 調査結果報告書の作成

本委託業務に係る調査結果報告書（本報告書）を作成した。過年度（令和元年度～令和6年度：R01～R06）にも、同様な調査を実施したので、この結果との比較も行った。ただし、三浦海岸北側公衆トイレ付近（三浦市）は、令和元年度は未実施である。表記は、本年度調査（R07）、過年度調査（R01～R06）とした。

表 1.4-6(1) 分類表

大分類	必須項目	オプション項目	プラ分類	
プラスチック類	ボトルのキャップ、ふた	ボトルのキャップ、ふた	容器包装	
	ボトル<1L	飲料用(ペットボトル)<1L	飲料用(ペットボトル)<1L	容器包装
		その他のプラボトル<1L	その他のプラボトル<1L	容器包装
		飲料用(ペットボトル)≥1L	飲料用(ペットボトル)≥1L	容器包装
		その他のプラボトル類≥1L	その他のプラボトル類≥1L	容器包装
	ストロー	ストロー	製品	
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	製品	
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)	コップ、食器		製品
		食品容器		容器包装
	ポリ袋(不透明、透明)	食品の容器包装		容器包装
		レジ袋		容器包装
		その他プラスチック袋		容器包装
	ライター	ライター	製品	
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	製品	
	シートや袋の破片	シートや袋の破片	その他	
	硬質プラスチック破片	硬質プラスチック破片	その他	
	ウレタン	ウレタン	その他	
	浮子(ブイ)(漁具)	浮子(ブイ)(漁具)	海域由来	
	ロープ、ひも(漁具)	ロープ、ひも(漁具)	海域由来	
	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	海域由来	
	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	海域由来	
	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	海域由来	
	漁網(漁具)	漁網(漁具)	海域由来	
	その他の漁具(漁具)	かご漁具		海域由来
		その他の漁具		海域由来
	釣具	釣りのルアー、浮き		海域由来
		釣り糸		海域由来
		その他の釣具		海域由来
	たばこ吸殻(フィルター)	たばこ吸殻(フィルター)	製品	
	生活雑貨(歯ブラシ等)	生活雑貨(歯ブラシ等)	製品	
	苗木ポット	苗木ポット	製品	
	その他	花火		製品
		玩具		製品
プラスチック梱包材			容器包装	
シリンジ、注射器			製品	
分類に無いもので多数見つかった場合には記載			品目による	
その他			品目による	
プラスチック類 (発泡スチロール)	コップ、食品容器	食品容器(発泡スチロール)	容器包装	
		コップ、食器(発泡スチロール)	製品	
	発泡スチロール製フロート、浮子(ブイ)	発泡スチロール製フロート、浮子(ブイ)	海域由来	
	発泡スチロールの破片	発泡スチロールの破片	その他	
	発泡スチロール製包装材	発泡スチロール製包装材	容器包装	
	その他	分類に無いもので多数見つかった場合には記載		品目による
その他			品目による	

表 1.4-6(2) 分類表

大分類	必須項目	オプション項目	ブラ分類
ゴム	ゴム	タイヤ 玩具、ボール 風船 靴(サンダル、靴底含む) ゴムの破片 分類に無いもので多数見つかった場合には記載 その他	
ガラス、陶器	ガラス、陶器	建築資材 食品容器 ガラス、陶器の破片 食品以外容器 コップ、食器 電球 蛍光管 分類に無いもので多数見つかった場合には記載 その他	
金属	金属	ビンのふた、キャップ、プルタブ アルミの飲料缶 スチール製飲料用缶 金属製コップ、食器 フォーク、ナイフ、スプーン等 その他の缶(ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等) 金属片 ワイヤー、針金 金属製漁具 分類に無いもので多数見つかった場合には記載 その他	
紙、ダンボール	紙、ダンボール	紙製コップ、食器 タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む) 花火 紙袋 食品包装材 紙製容器(飲料用紙パック等) 紙片(段ボール、新聞紙等を含む) 分類に無いもので多数見つかった場合には記載 その他	
天然繊維、革	天然繊維、革	ロープ、ひも 分類に無いもので多数見つかった場合には記載 その他	
木(木材等)	木(木材等)	木材(物流用パレット、木炭等含む) 分類に無いもので多数見つかった場合には記載 その他	
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	
自然物	自然物	灌木(植物片を含む、径10cm未満、長さ1m未満) 流木(径10cm以上、長さ1m以上) 分類に無いもので多数見つかった場合には記載 その他	
人力で動かせない物			

2. 本調査の調査結果

2.1 三浦海岸北側公衆トイレ付近（三浦市）

2.1.1 組成調査

(1) 現地の状況等

三浦海岸北側公衆トイレ付近（三浦市）での状況写真は、図 2.1-1 に示す。

本海岸での清掃は比較的ゆきとどいており、漂着ごみはほとんど見られなかった。主に波打ち際にプラスチック類が分布していた。その大きさから通常の清掃での回収の対象となっていないものと思われた。これらが、主な回収物である。

本調査地点は、他の調査地点で実施した R01 年度調査は実施しておらず、過年度調査は R02～R06 である。



図 2.1-1 三浦海岸北側公衆トイレ付近（三浦市）での状況写真

(2) 3 分類別の組成

3 分類別の組成は、表 2.1-1、図 2.1-2 に示す。

本年度調査で回収された漂着ごみは、重量 7.78kg、容量 78.8L、個数 48 個であった。3 分類別の組成は、重量、容量、個数ともに人工物（漁具を除く）がそれぞれ 68.9%、69.5%、100.0%と最も多かった。なお、灌木の個数は、環境省ガイドラインに従って本調査では計数していない。

過年度調査 (R02～R06) で回収された漂着ごみは、本年度調査の重量で 1.5～2.9 倍で、容量で 0.6～1.1 倍、個数で 17.3～33.4 倍だった。

(3) 人工物の大分類別の組成

人工物の大分類別の組成は、表 2.1-2、図 2.1-3 示す。

本年度調査での人工物の大分類別の組成は、重量、容量ともに人力で動かさない物がそれぞれ 94.0%、90.3%と最も多かった。個数はプラスチックが 75.0%と最も多かった。

これら多かった品目は、人力で動かさない物ではロープ（漁具）、プラスチックではたばこの吸殻（フィルター）であった。

過年度調査 (R02～R06) での人工物は、本年度調査の重量で 1.8～3.5 倍で、容量で 0.2～0.9 倍、個数で 17.3～33.4 倍だった。

(4) プラスチックの容器包装等の組成

プラスチックの容器包装等の組成は、表 2.1-3、図 2.1-4 に示す。

本年度調査でのプラスチックの容器包装等の組成は、重量、容量ともに、その他がそれぞれ 72.2%、65.6%と最も多かった。個数は製品が 80.6%と最も多かった。

これら多かった品目は、その他では硬質プラスチック破片、製品ではたばこの吸殻（フィルター）であった。

過年度調査（R02～R06）でのプラスチックの容器包装等は、本年度調査の重量で 3.9～10.8 倍で、容量で 2.1～6.5 倍、個数で 6.2～19.1 倍だった。

表 2.1-1(1) 3分類別の組成 (R07 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
人工物 (漁具を除く)	5.36	54.8	48
漁具	0.00	0.0	0
自然物	2.42	24.0	0
合計	7.78	78.8	48

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

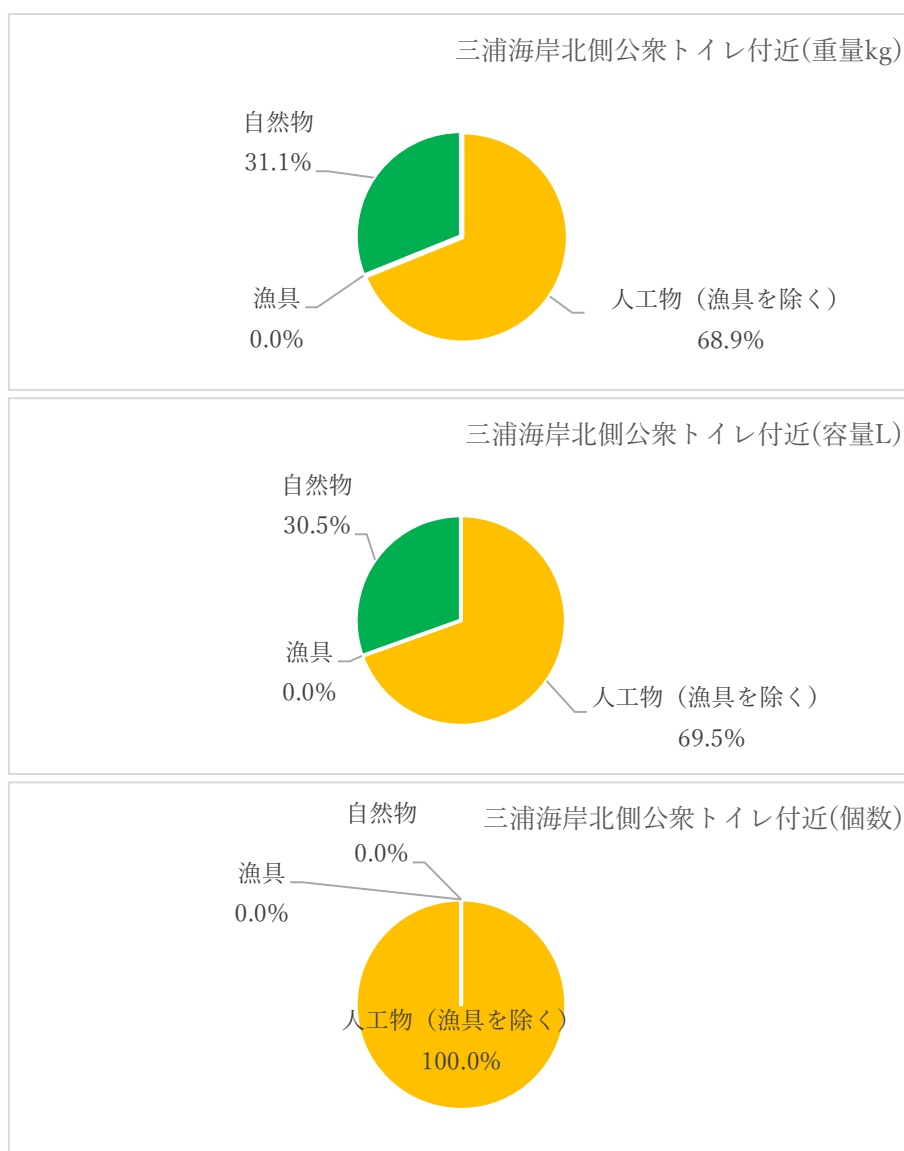


図 2.1-2(1) 3分類別の組成 (R07 年度調査)

表 2.1-1(2) 3分類別の組成 (R06 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
人工物 (漁具を除く)	9.53	13.4	830
漁具	0.01	0.0	2
自然物	3.96	50.0	0
合計	13.50	63.4	832

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

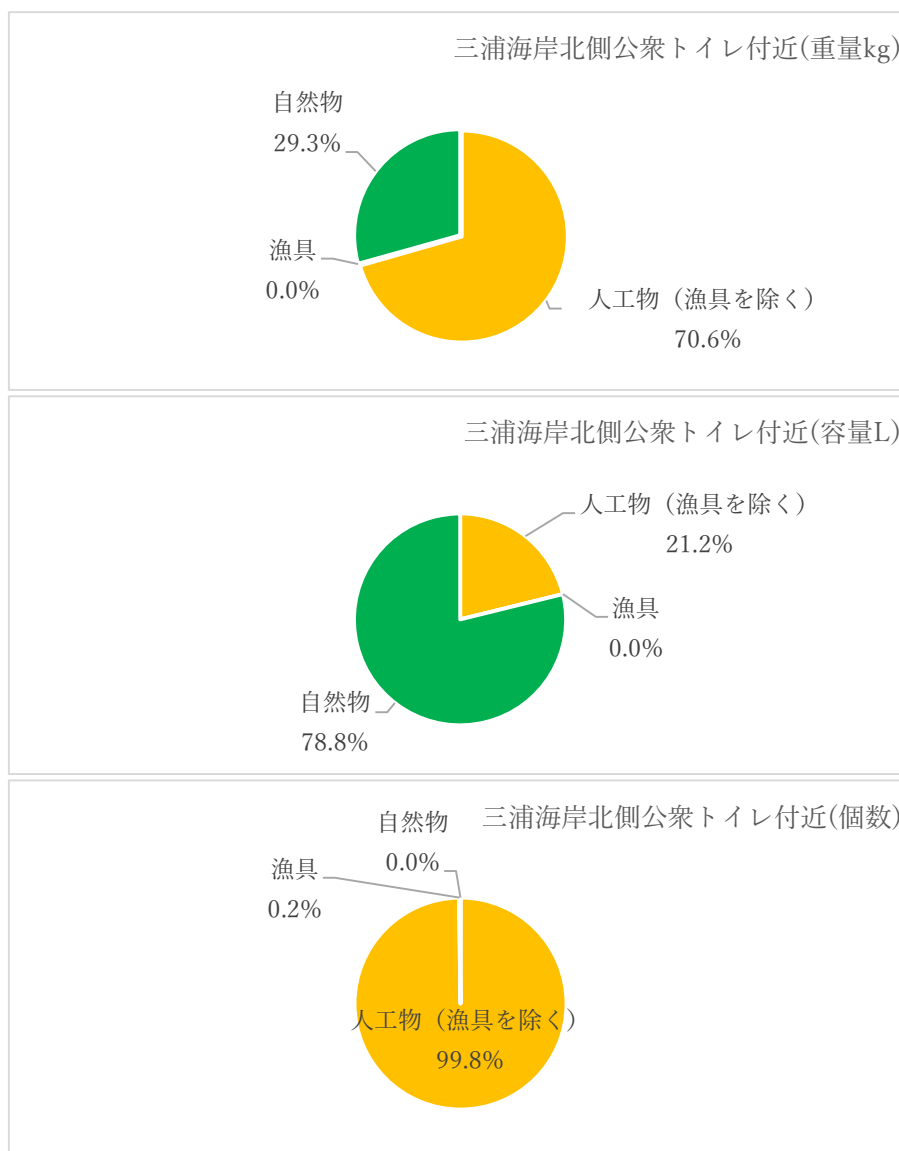


図 2.1-2(2) 3分類別の組成 (R06 年度調査)

表 2. 1-1 (3) 3 分類別の組成 (R05 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
人工物 (漁具を除く)	9.52	18.9	1,125
漁具	0.05	0.3	13
自然物	5.99	40.0	0
合計	15.55	59.2	1,138

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

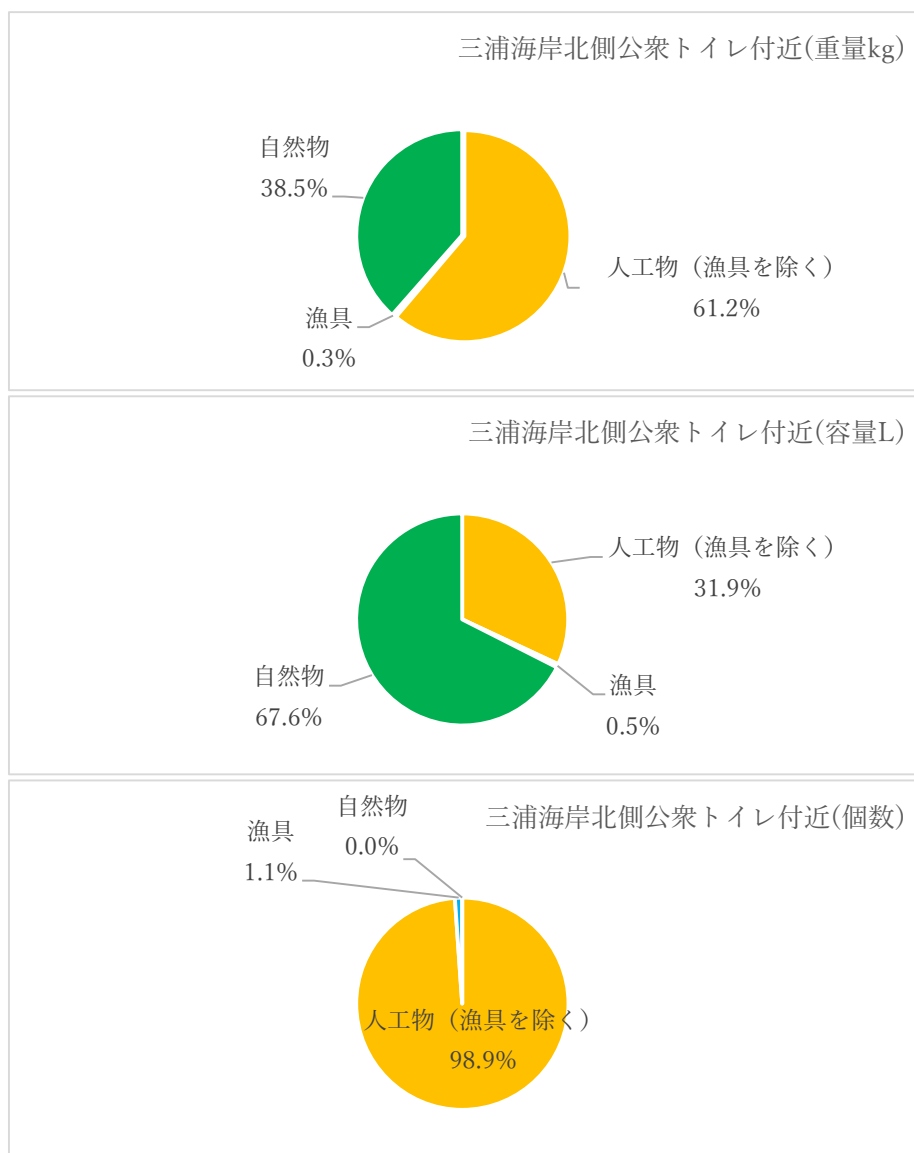


図 2. 1-2 (3) 3 分類別の組成 (R05 年度調査)

表 2.1-1(4) 3分類別の組成 (R04 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
人工物 (漁具を除く)	9.67	24.4	1,064
漁具	0.04	0.6	9
自然物	2.27	26.4	83
合計	11.98	51.4	1,156

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

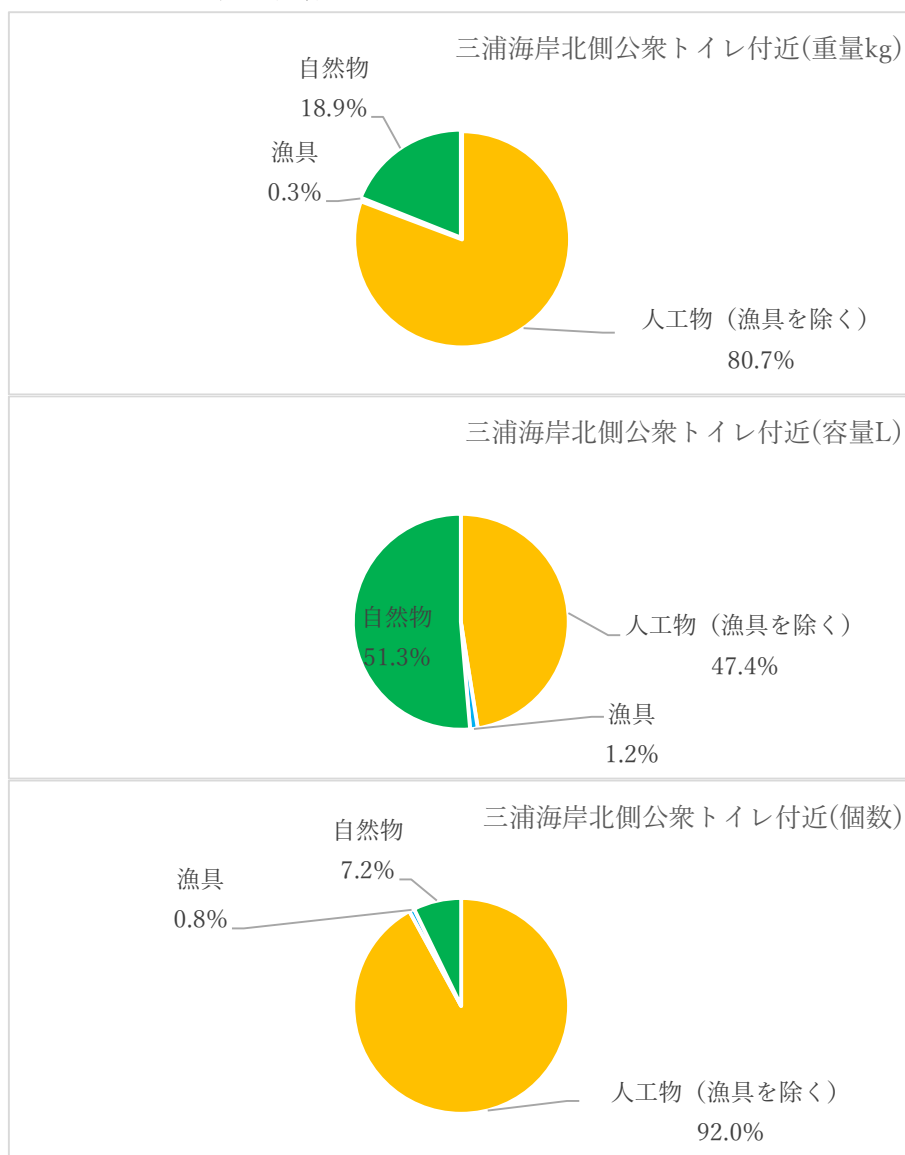


図 2.1-2(4) 3分類別の組成 (R04 年度調査)

表 2. 1-1 (5) 3 分類別の組成 (R03 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
人工物 (漁具を除く)	18.67	46.1	1,577
漁具	0.08	0.7	26
自然物	3.99	39.6	0
合計	22.74	86.4	1,603

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

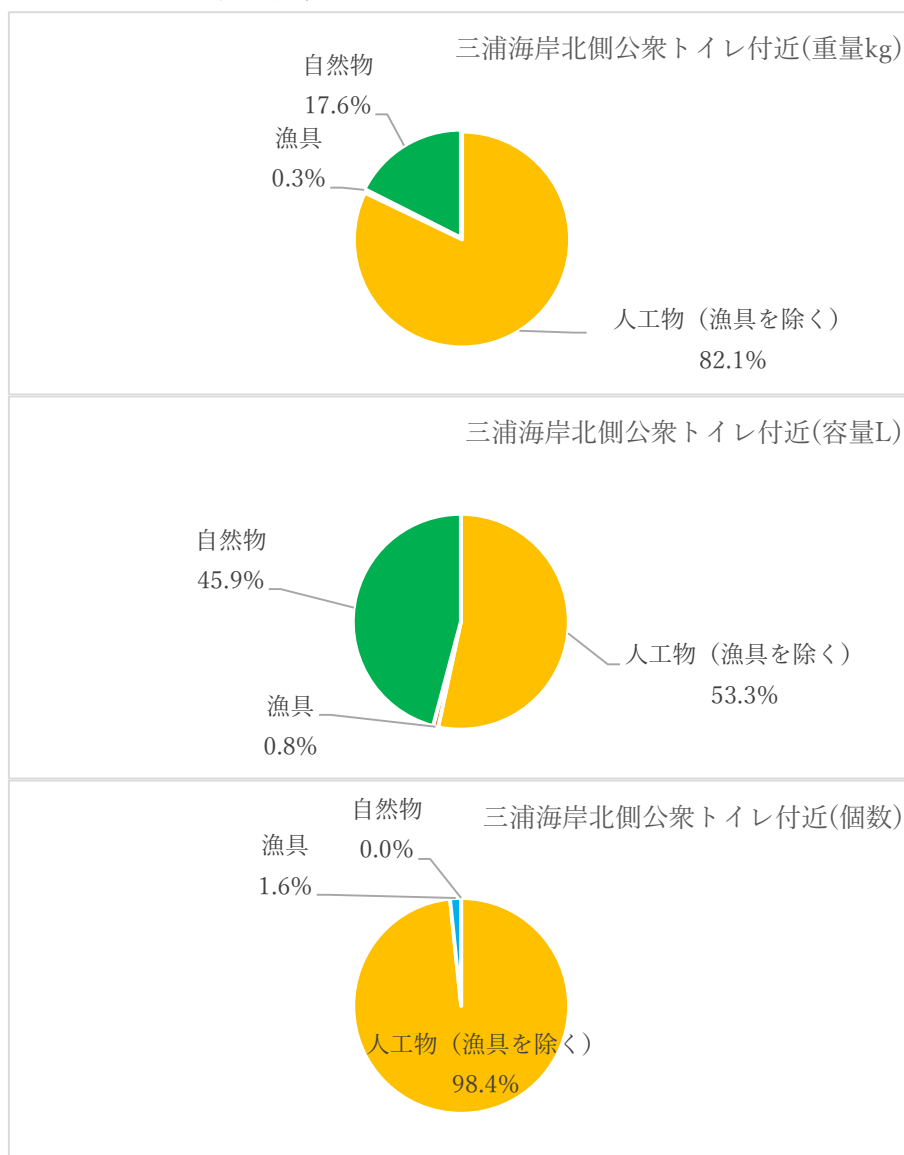


図 2. 1-2 (5) 3 分類別の組成 (R03 年度調査)

表 2.1-1(6) 3分類別の組成 (R02 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
人工物 (漁具を除く)	11.59	28.9	1,301
漁具	0.46	5.2	55
自然物	1.06	10.0	0
合計	13.11	44.1	1,356

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

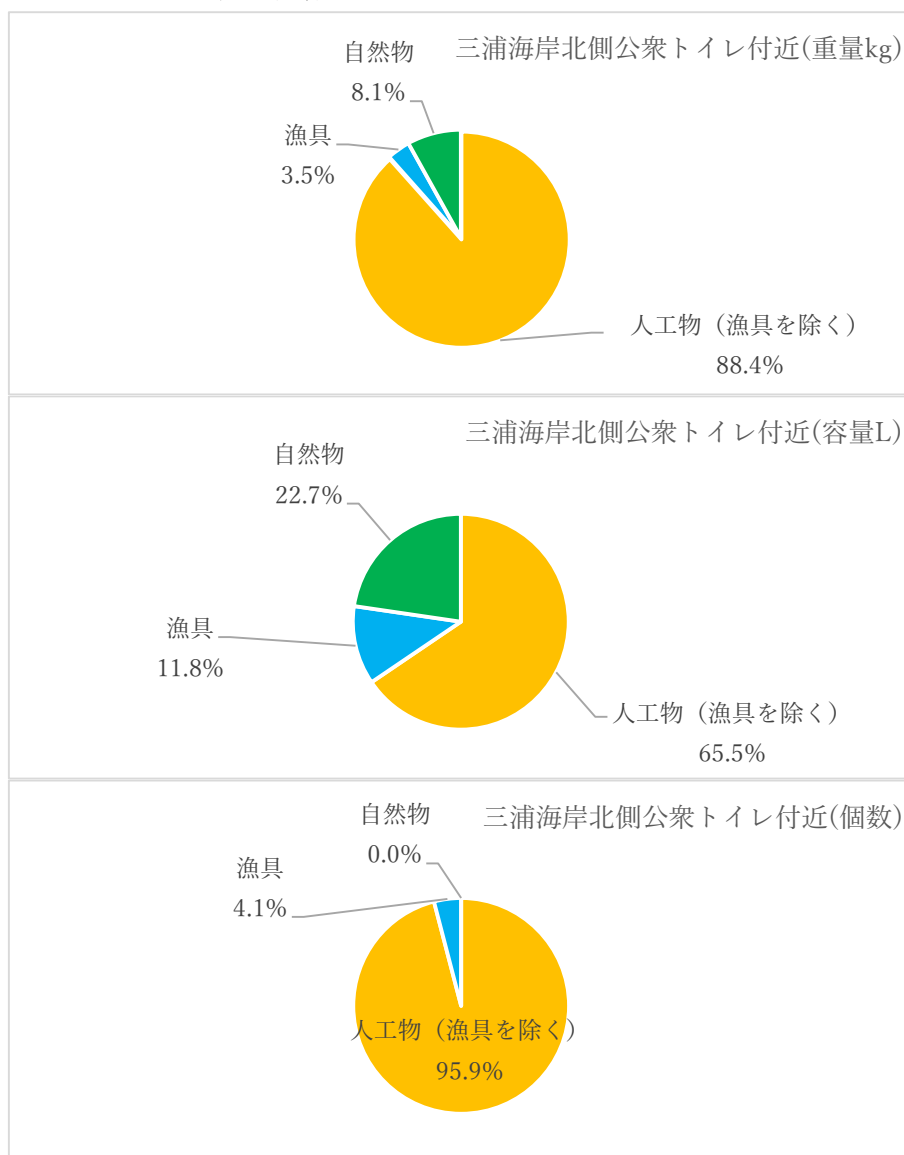


図 2.1-2(6) 3分類別の組成 (R02 年度調査)

表 2.1-2(1) 人工物の大分類別の組成 (R07 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
プラスチック	0.17	3.1	36
発泡スチロール	0.01	0.1	0
天然繊維、革	0.00	0.0	0
ガラス、陶器	0.02	0.2	0
金属	0.11	1.8	6
紙、ダンボール	0.00	0.0	0
ゴム	0.01	0.1	2
木・木材系	0.00	0.0	0
電化製品、電子機器	0.00	0.0	0
その他	0.00	0.0	0
人力で動かさない物	5.04	49.5	4
合計	5.36	54.8	48

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

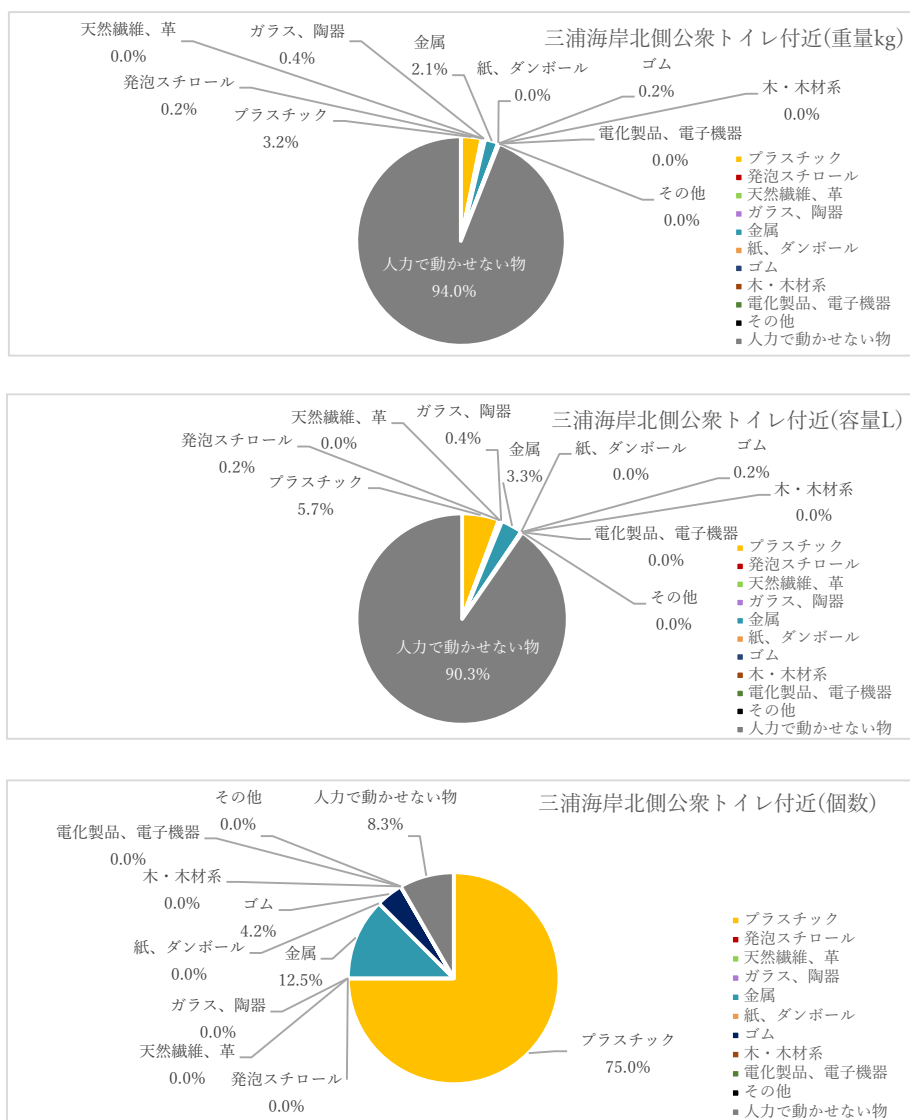


図 2.1-3(1) 人工物の大分類別の組成 (R07 年度調査)

表 2.1-2(2) 人工物の大分類別の組成 (R06 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
プラスチック	0.69	5.9	218
発泡スチロール	0.02	0.6	6
天然繊維、革	0.00	0.0	0
ガラス、陶器	7.04	3.2	46
金属	1.26	0.9	504
紙、ダンボール	0.01	0.4	1
ゴム	0.26	1.5	7
木・木材系	0.15	0.7	25
電化製品、電子機器	0.00	0.0	0
その他	0.10	0.2	25
合計	9.54	13.4	832

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

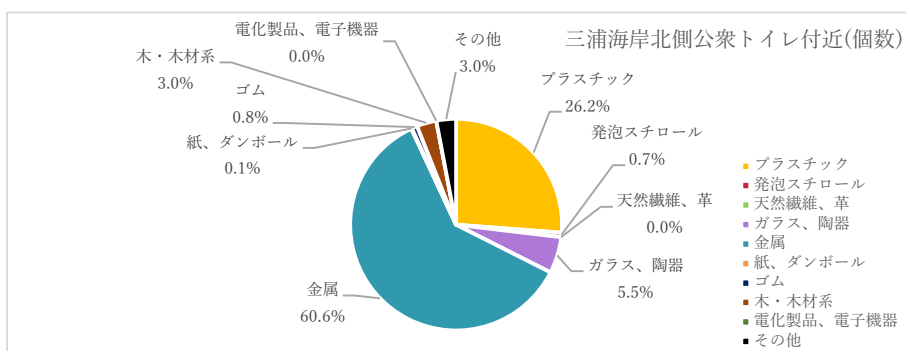
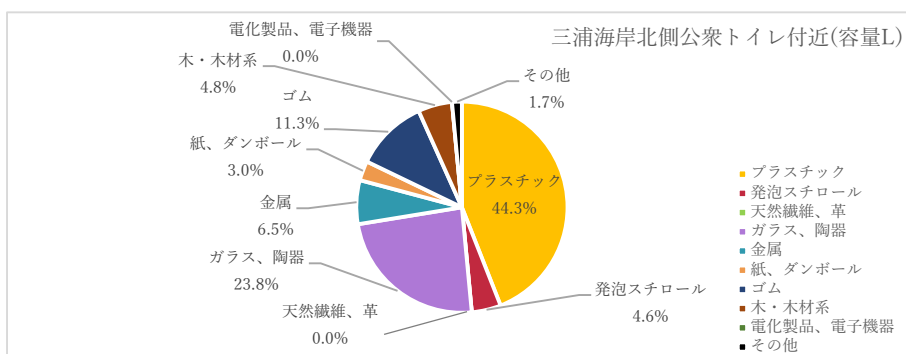
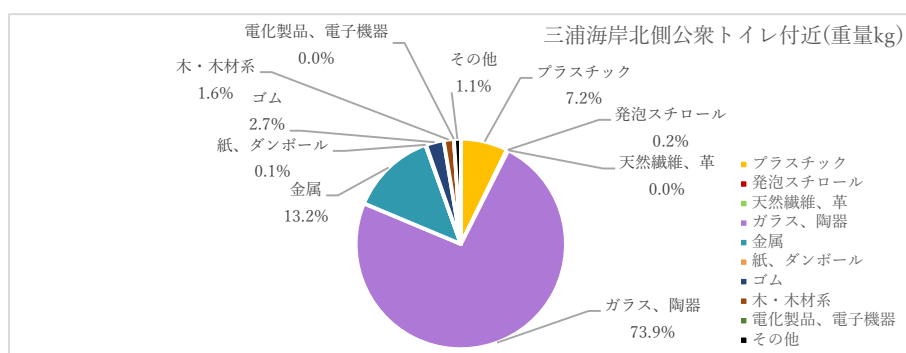


図 2.1-3(2) 人工物の大分類別の組成 (R06 年度調査)

表 2. 1-2 (3) 人工物の大分類別の組成 (R05 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
プラスチック	0.76	7.9	393
発泡スチロール	0.01	0.1	0
天然繊維、革	0.00	0.0	1
ガラス、陶器	1.41	1.8	40
金属	2.08	2.1	511
紙、ダンボール	0.00	0.0	4
ゴム	0.02	0.0	2
木・木材系	1.15	2.1	67
電化製品、電子機器	0.00	0.0	0
その他	4.13	5.2	120
合計	9.56	19.2	1,138

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

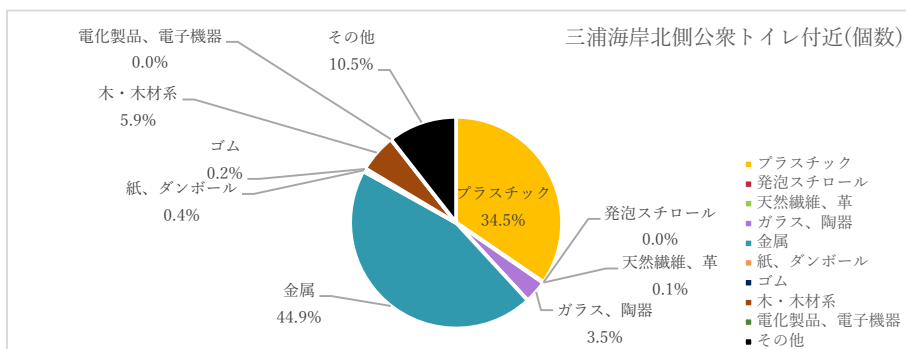
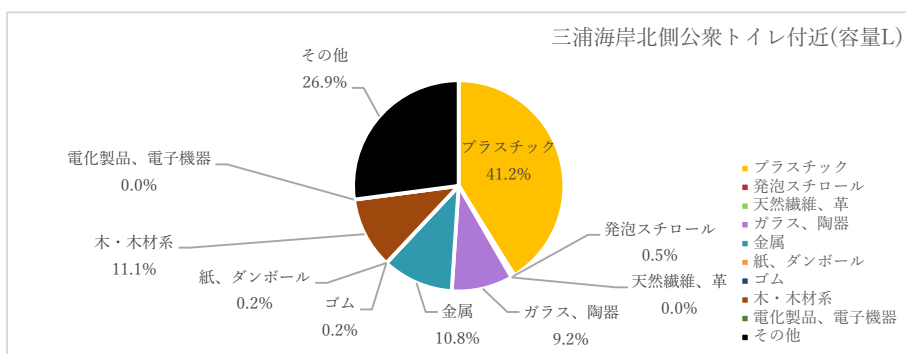
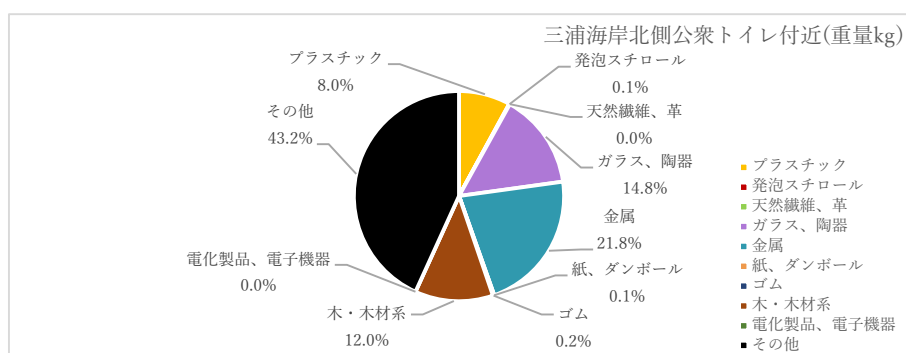


図 2. 1-3 (3) 人工物の大分類別の組成 (R05 年度調査)

表 2. 1-2 (4) 人工物の大分類別の組成 (R04 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
プラスチック	0.89	9.2	295
発泡スチロール	0.01	0.3	6
天然繊維、革	0.00	0.0	0
ガラス、陶器	3.36	3.3	107
金属	3.90	4.3	487
紙、ダンボール	0.03	0.3	13
ゴム	0.01	0.0	6
木・木材系	0.54	5.0	21
電化製品、電子機器	0.00	0.0	0
その他	0.97	2.7	138
合計	9.71	25.0	1,073

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

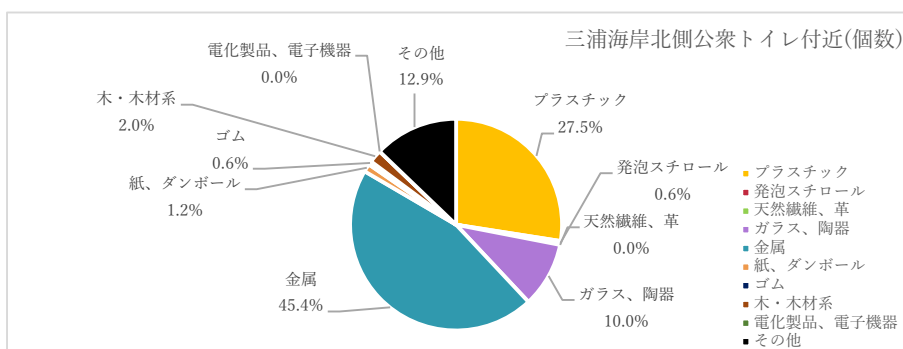
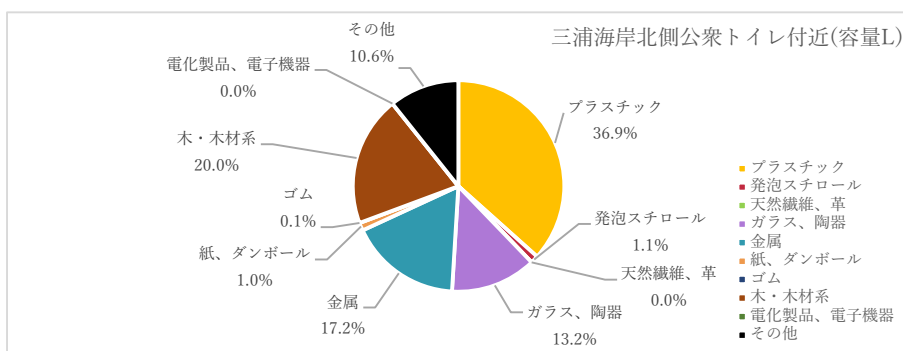
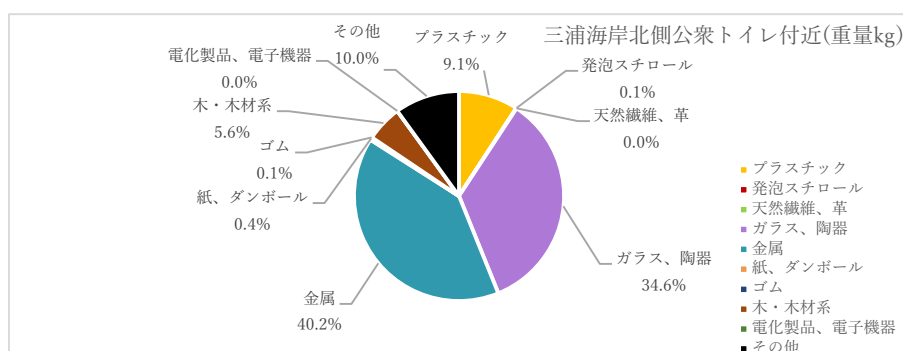


図 2. 1-3 (4) 人工物の大分類別の組成 (R04 年度調査)

表 2.1-2 (5) 人工物の大分類別の組成 (R03 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
プラスチック	1.85	20.0	533
発泡スチロール	0.01	0.6	4
天然繊維、革	0.00	0.0	0
ガラス、陶器	11.13	16.8	164
金属	4.38	6.2	692
紙、ダンボール	0.01	0.1	3
ゴム	0.54	0.5	5
木・木材系	0.16	0.9	64
電化製品、電子機器	0.00	0.0	0
その他	0.65	1.7	138
合計	18.74	46.8	1,603

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

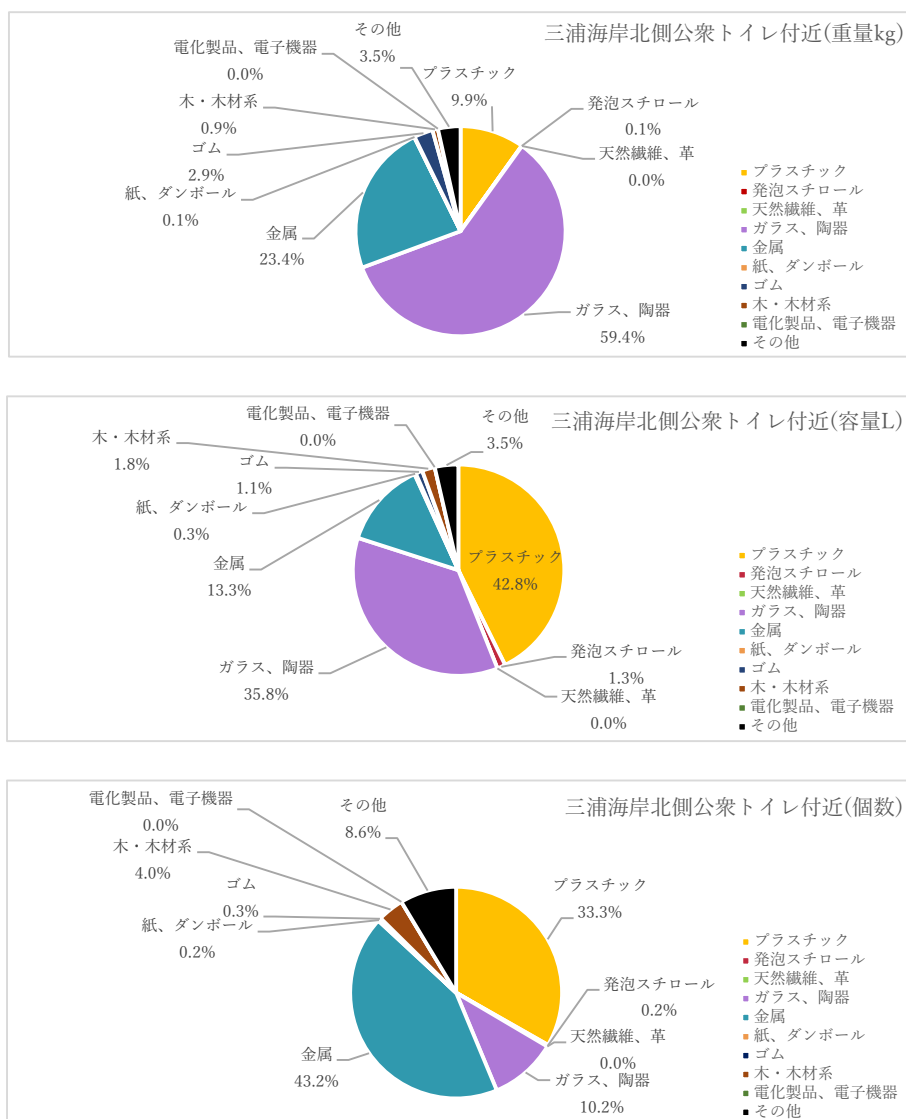


図 2.1-3 (5) 人工物の大分類別の組成 (R03 年度調査)

表 2. 1-2 (6) 人工物の大分類別の組成 (R02 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
プラスチック	1.62	13.0	634
発泡スチロール	0.33	4.5	52
天然繊維、革	0.02	0.0	5
ガラス、陶器	5.20	4.8	68
金属	4.16	6.7	422
紙、ダンボール	0.03	2.2	6
ゴム	0.03	0.1	8
木・木材系	0.12	0.8	36
電化製品、電子機器	0.02	0.0	1
その他	0.52	2.1	124
合計	12.05	34.1	1,356

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

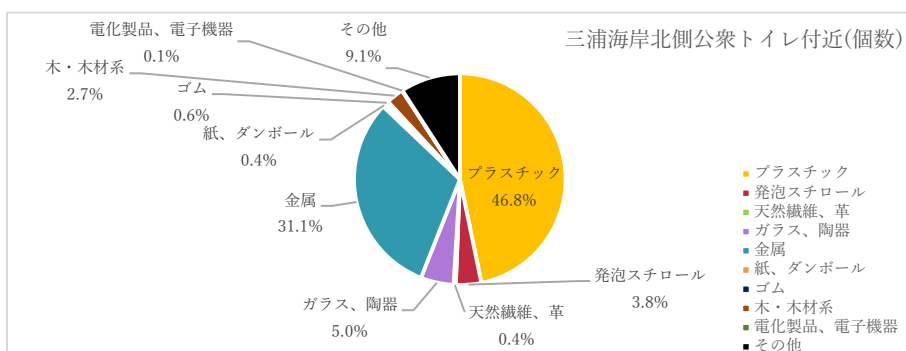
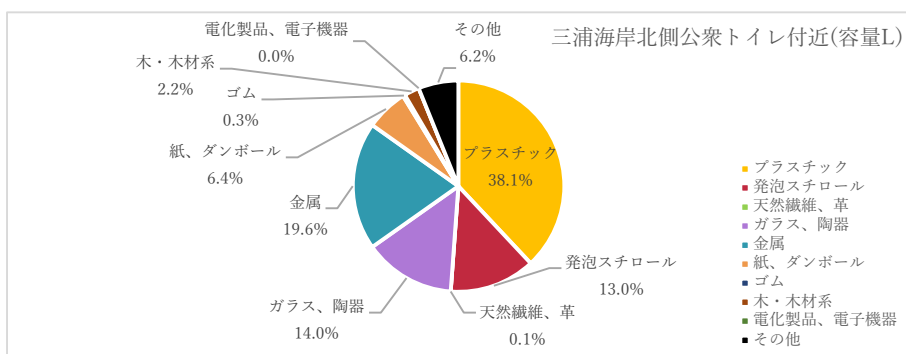
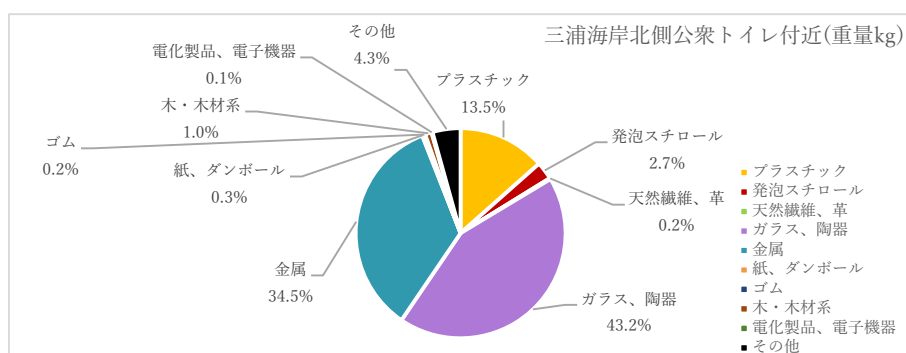


図 2. 1-3 (6) 人工物の大分類別の組成 (R02 年度調査)

表 2.1-3(1) プラスチックの容器包装等の組成 (R07 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
容器包装	0.02	0.5	4
製品	0.03	0.6	29
漁具	0.00	0.0	0
その他	0.13	2.1	3
合計	0.18	3.2	36

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

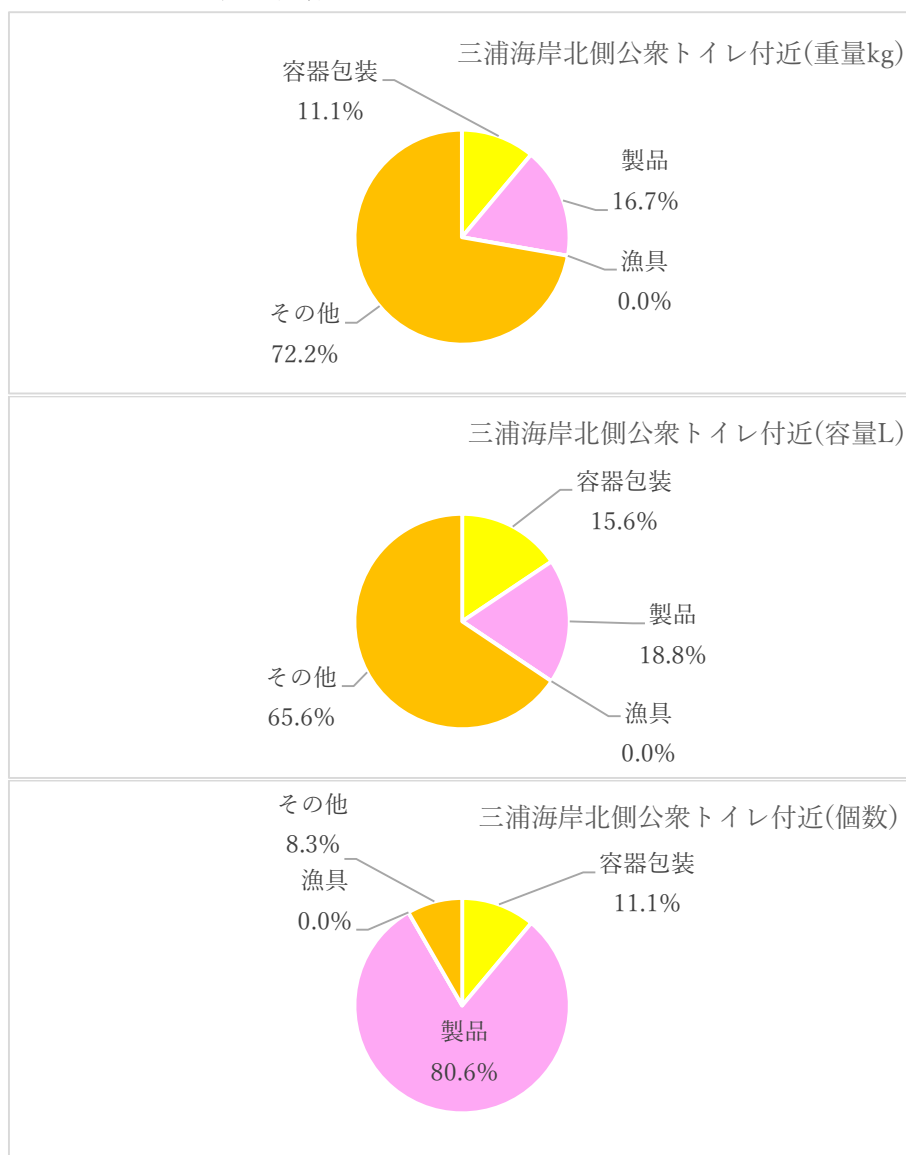


図 2.1-4(1) プラスチックの容器包装等の組成 (R07 年度調査)

表 2. 1-3 (2) プラスチックの容器包装等の組成 (R06 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
容器包装	0.07	0.5	42
製品	0.63	6.0	180
漁具	0.01	0.0	2
合計	0.70	6.6	224

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

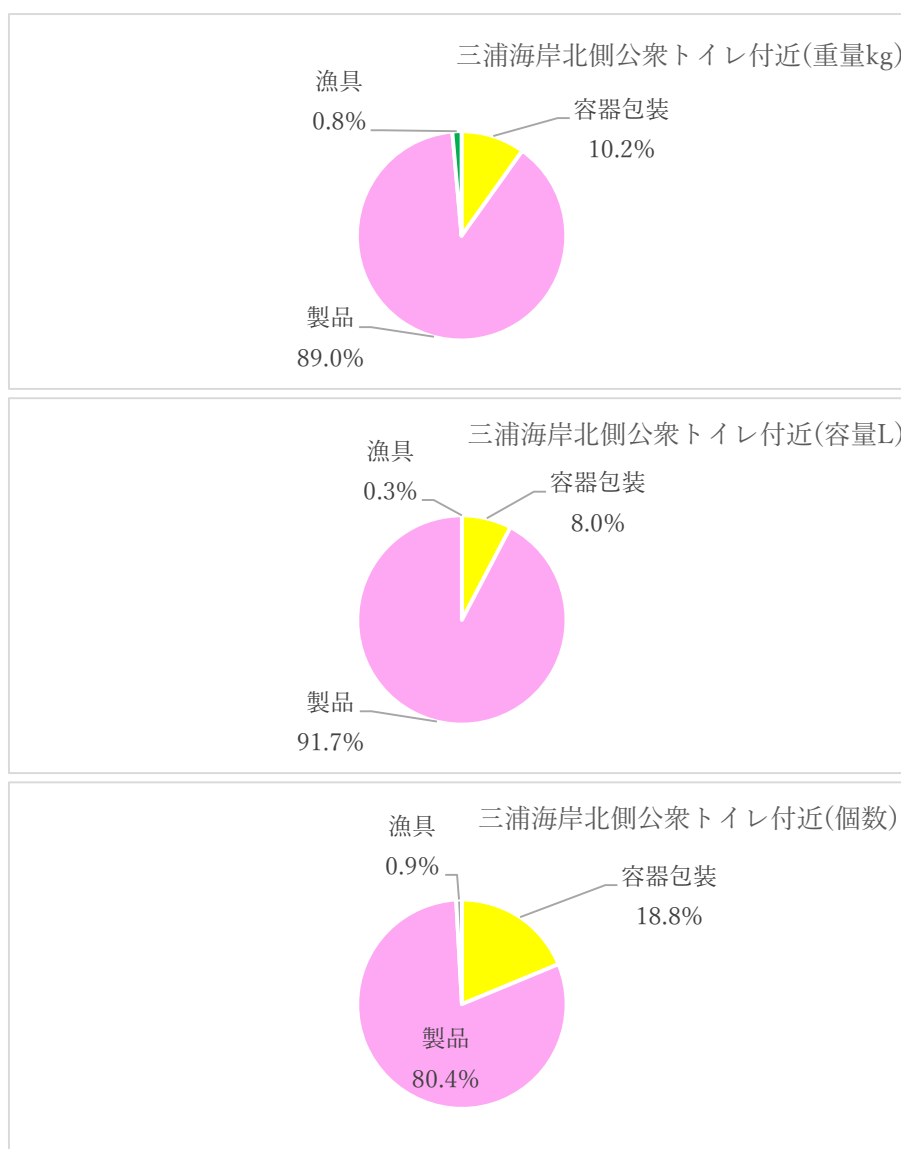


図 2. 1-4 (2) プラスチックの容器包装等の組成 (R06 年度調査)

表 2.1-3(3) プラスチックの容器包装等の組成 (R05 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
容器包装	0.11	2.7	66
製品	0.61	5.0	314
漁具	0.05	0.3	13
合計	0.77	8.0	393

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

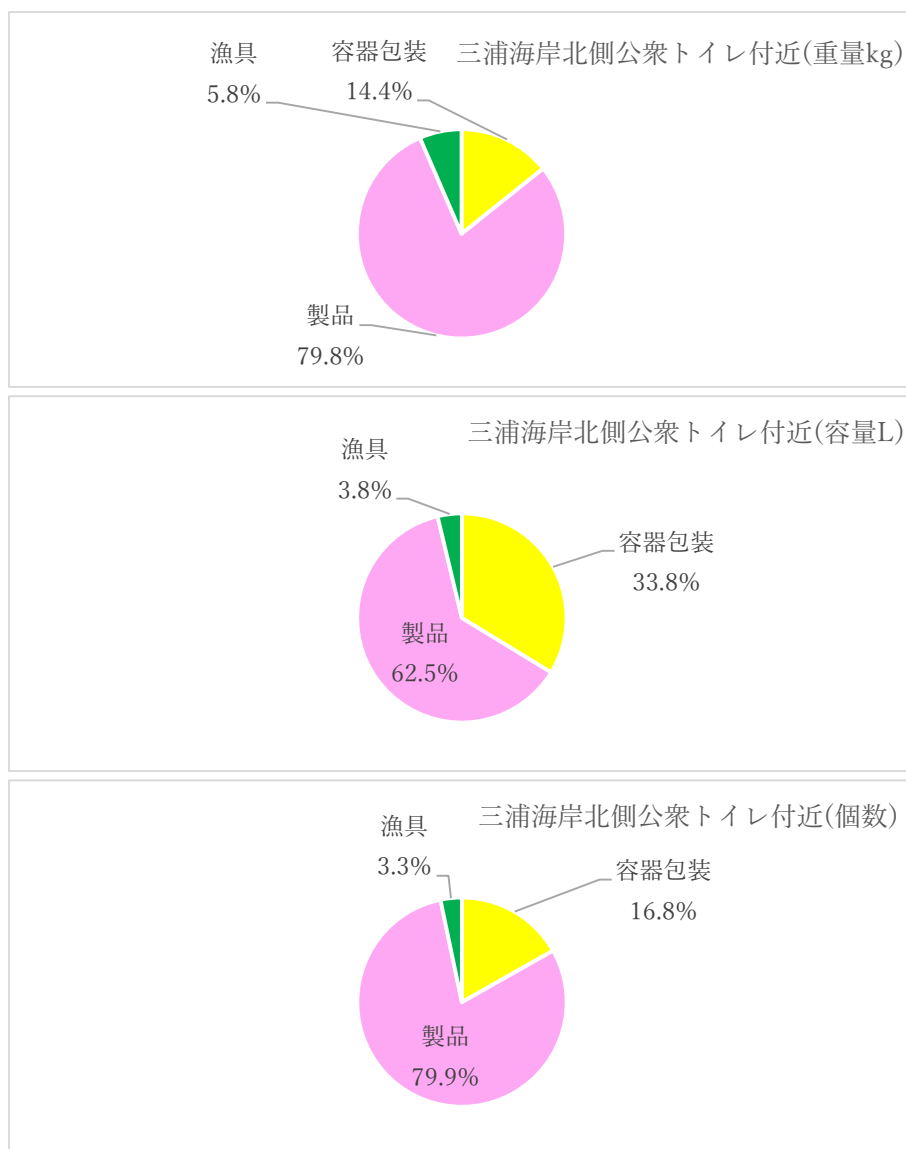


図 2.1-4(3) プラスチックの容器包装等の組成 (R05 年度調査)

表 2. 1-3 (4) プラスチックの容器包装等の組成 (R04 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
容器包装	0.14	3.6	75
製品	0.72	5.3	217
漁具	0.04	0.6	9
合計	0.89	9.5	301

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

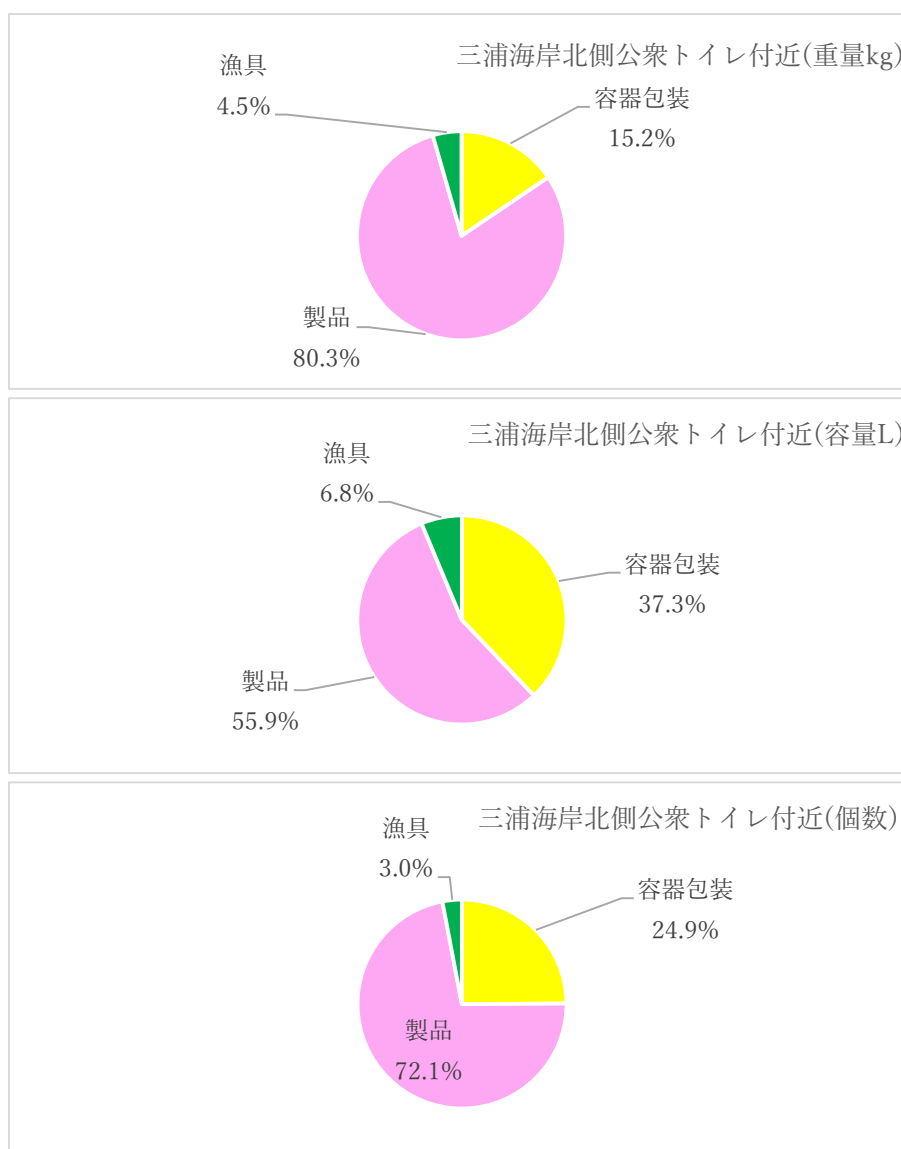


図 2. 1-4 (4) プラスチックの容器包装等の組成 (R04 年度調査)

表 2.1-3(5) プラスチックの容器包装等の組成 (R03 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
容器包装	0.18	6.3	103
製品	1.61	13.6	408
漁具	0.08	0.7	26
合計	1.87	20.7	537

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

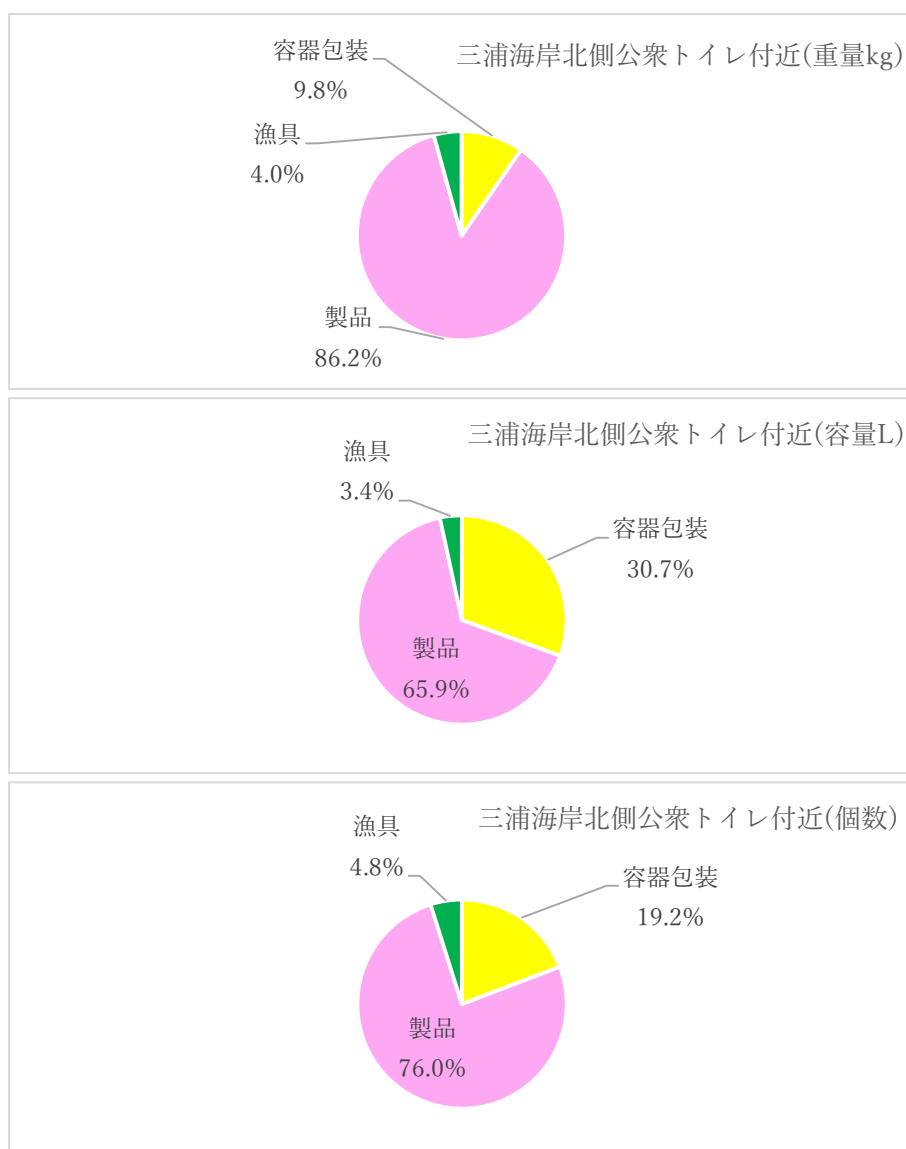


図 2.1-4(5) プラスチックの容器包装等の組成 (R03 年度調査)

表 2. 1-3 (6) プラスチックの容器包装等の組成 (R02 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
容器包装	0.36	3.3	281
製品	1.15	8.7	351
漁具	0.44	5.5	54
合計	1.95	17.5	686

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

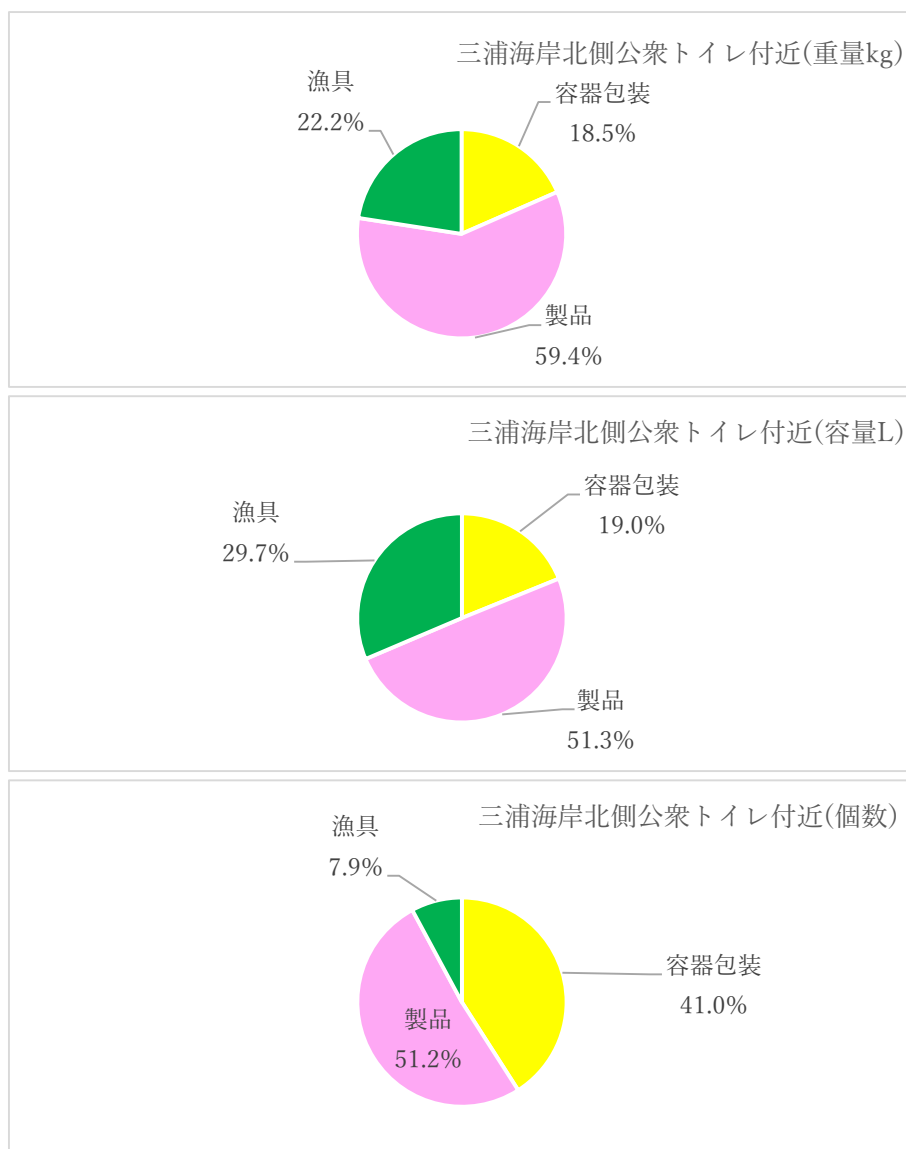


図 2. 1-4 (6) プラスチックの容器包装等の組成 (R02 年度調査)

2.1.2 発生源の推定

特定できたペットボトル等の製造国は、表 2.1-4 に示す。

本年度調査では、ペットボトルのキャップは不明 1 個であった。

これまでの調査で特定できた製造国は、不明を除いて日本だけであった。

表 2.1-4 製造国の特定結果

	ペットボトル		ペットボトルのキャップ		漁業用の浮子	
	本年度調査	R2～R7 の合計	本年度調査	R2～R7 の合計	本年度調査	R2～R7 の合計
日本	0	2	0	30	0	0
中国・台湾	0	0	0	0	0	0
韓国	0	0	0	0	0	0
英語	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	1	28	0	7
合計	0	2	1	58	0	7

2.2 引地川河口部右岸（藤沢市）

2.2.1 組成調査

(1) 現地の状況等

引地川河口部右岸（藤沢市）での状況写真は、図 2.2-1 に示す。

本海岸での清掃は比較的ゆきとどいており、漂着ごみはほとんど見られなかった。しかし、現地清掃での回収の対象となっていないと思われる多量の灌木が見られた。その内側や下側に、プラスチック等が散在しており、これらが、主な人工物である。

過年度調査は R01～R06 である。



図 2.2-1 引地川河口部右岸（藤沢市）での状況写真

(2) 3分類別の組成

3分類別の組成は、表 2.2-1、図 2.2-2 に示す。

本年度調査で回収された漂着ごみは、重量 21.90kg、容量 169.6L、個数 115 個であった。3分類別の組成は、重量、容量、ともに自然物がそれぞれ 96.2%、93.2%と最も多かった。個数は人工物（漁具を除く）が 97.4%と最も多かった。なお、灌木の個数は、環境省ガイドラインに従って本調査では計数していない。

過年度調査（R01～R06）で回収された漂着ごみは、本年度調査の重量で 0.1～1.9 倍で、容量で 0.2～1.6 倍、個数で 0.7～6.2 倍だった。

(3) 人工物の大分類別の組成

人工物の大分類別の組成は、表 2.2-2、図 2.2-3 示す。

本年度調査での人工物の大分類別の組成は、重量、容量ともに木・木材系がそれぞれ 57.8%、51.7%と最も多かった。個数はプラスチックが 89.3%と最も多かった。

これら多かった品目は、木・木材系では木材（物流用パレット、木炭等含む）、プラスチックではたばこの吸殻（フィルター）であった。

過年度調査（R01～R06）での人工物は、本年度調査の重量で 0.3～3.2 倍で、容量で 0.1～0.8 倍、個数で 0.7～6.4 倍だった。

(4) プラスチックの容器包装等の組成

プラスチックの容器包装等の組成は、表 2.2-3、図 2.2-4 に示す。

本年度調査でのプラスチックの容器包装等の組成は、重量、容量ともに、その他がそれぞれ 64.3%、44.7%と最も多かった。個数は製品が 75.0%と最も多かった。

これら多かった品目は、その他では硬質プラスチック破片、製品ではたばこの吸殻（フィルター）であった。

過年度調査（R01～R06）でのプラスチックの容器包装等は、本年度調査の重量で 0.3～3.9 倍で、容量で 0.2～1.2 倍、個数で 0.8～7.0 倍だった。

表 2.2-1(1) 3分類別の組成 (R07 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
人工物 (漁具を除く)	0.83	11.6	112
漁具	0.00	0.0	0
自然物	21.07	158.0	3
合計	21.90	169.6	115

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

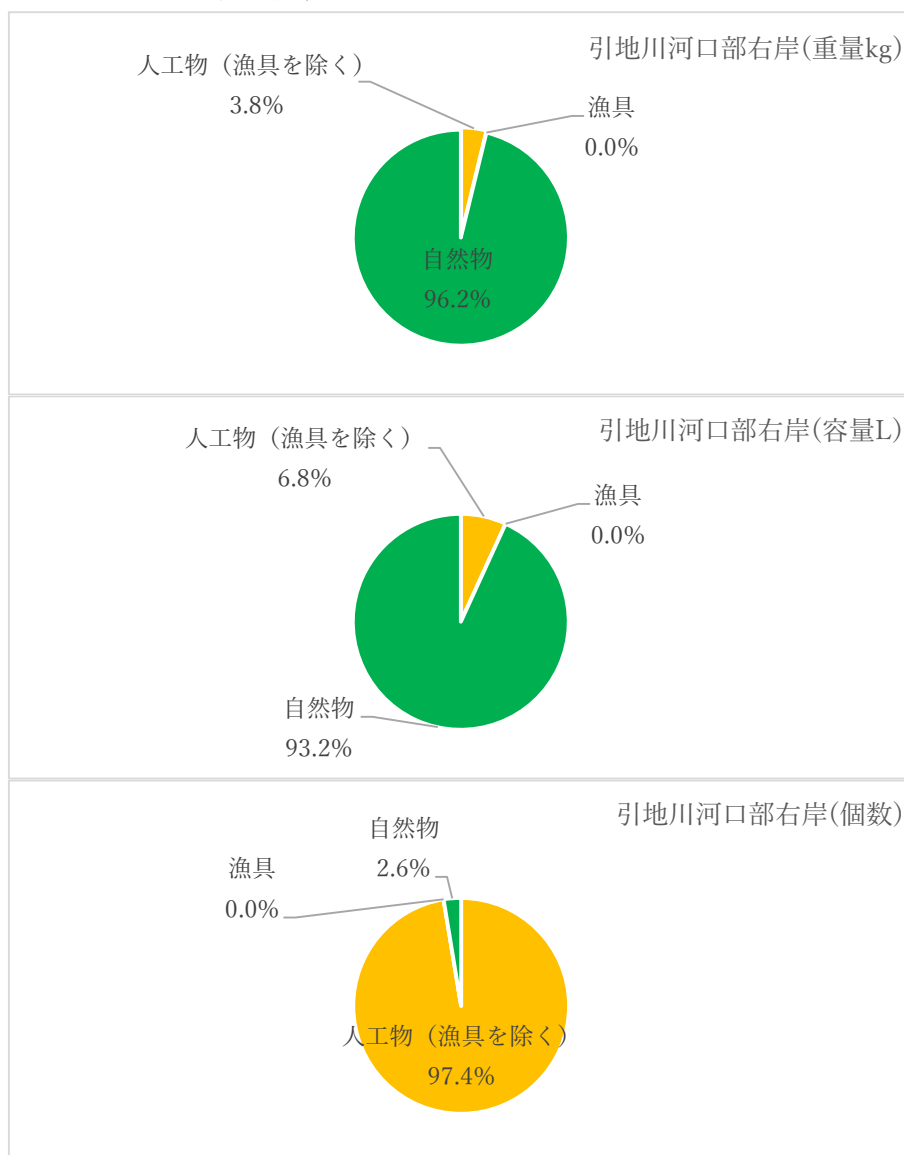


図 2.2-2(1) 3分類別の組成 (R07 年度調査)

表 2. 2-1 (2) 3 分類別の組成 (R06 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
人工物 (漁具を除く)	2.57	8.4	208
漁具	0.11	0.4	11
自然物	12.22	110.0	3
合計	14.90	118.8	222

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

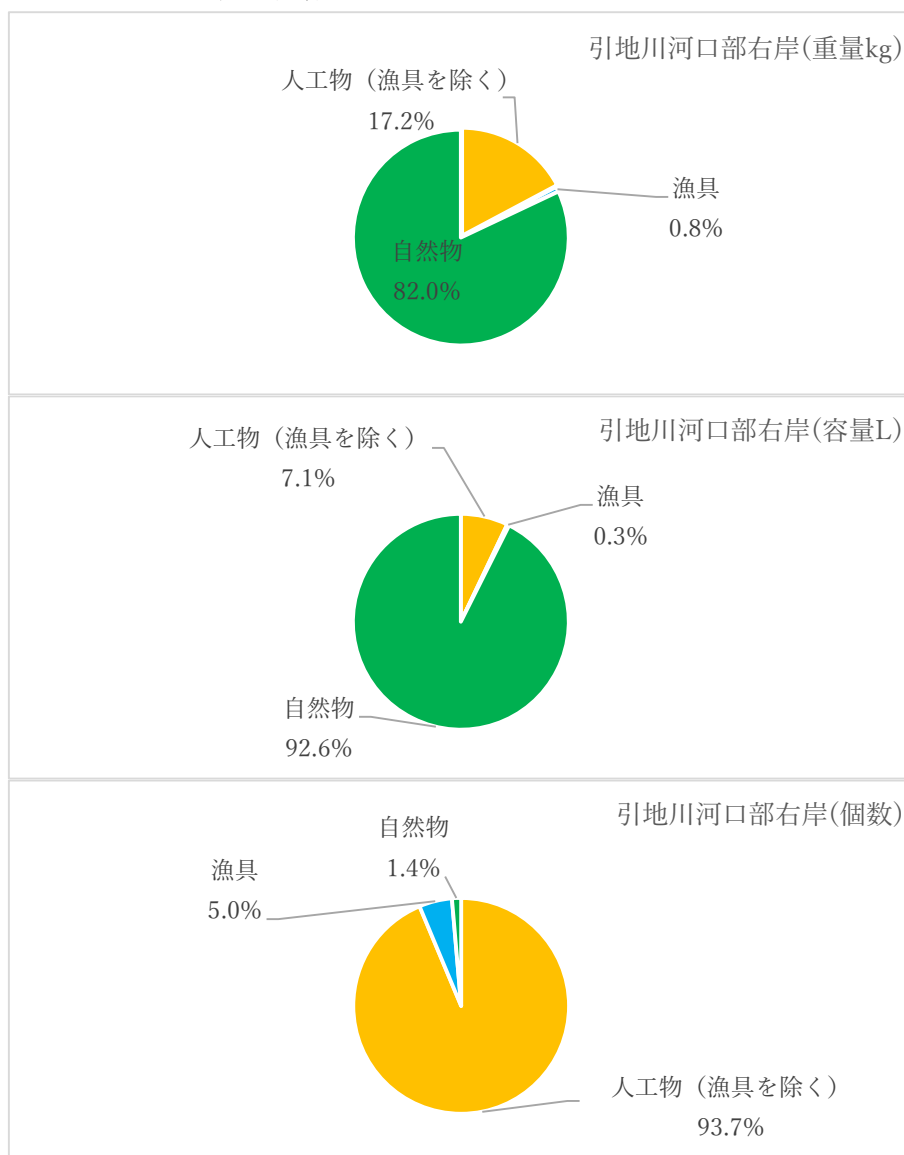


図 2. 2-2 (2) 3 分類別の組成 (R06 年度調査)

表 2. 2-1 (3) 3 分類別の組成 (R05 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
人工物 (漁具を除く)	2.28	8.6	640
漁具	0.02	0.1	12
自然物	39.44	250.2	1
合計	41.73	258.9	653

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

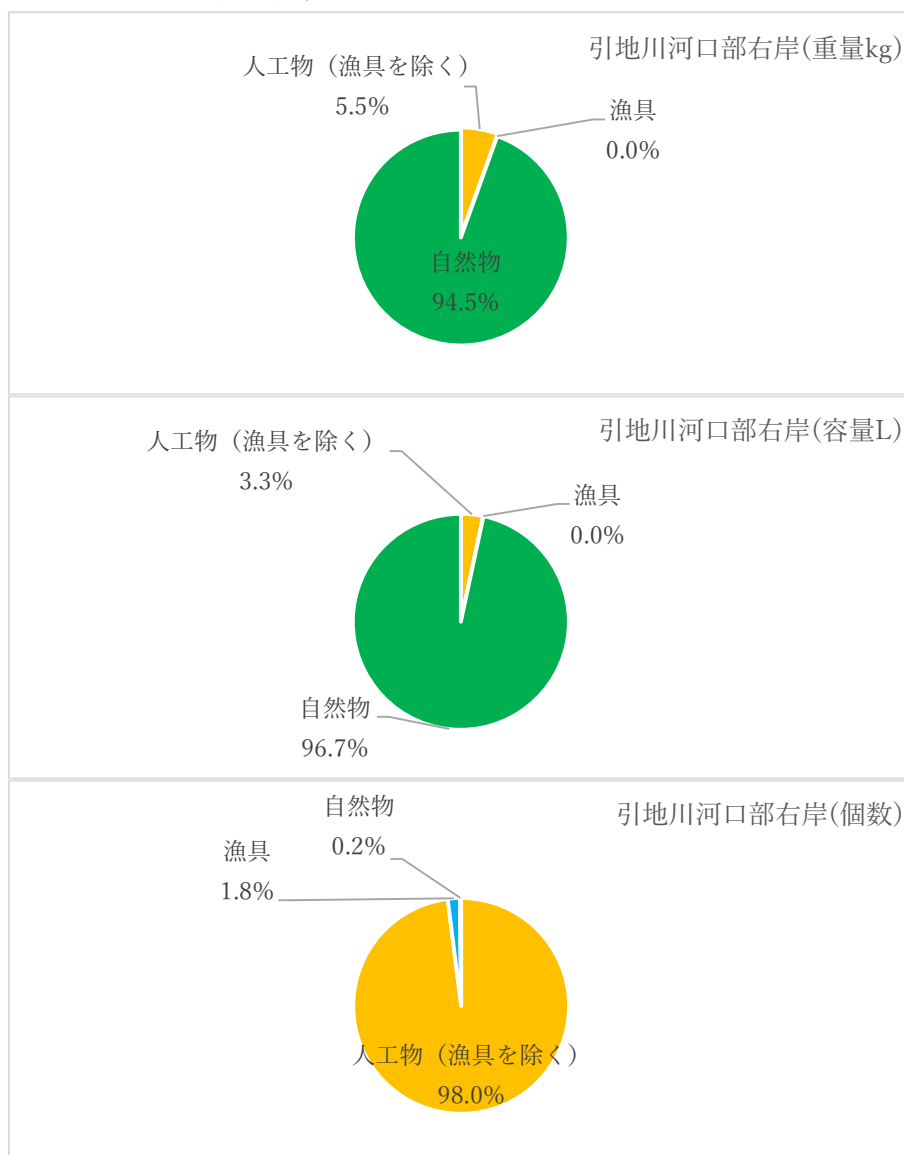


図 2. 2-2 (3) 3 分類別の組成 (R05 年度調査)

表 2. 2-1 (4) 3 分類別の組成 (R04 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
人工物 (漁具を除く)	0.27	1.1	79
漁具	0.00	0.0	0
自然物	6.36	120.0	0
合計	6.63	121.1	79

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

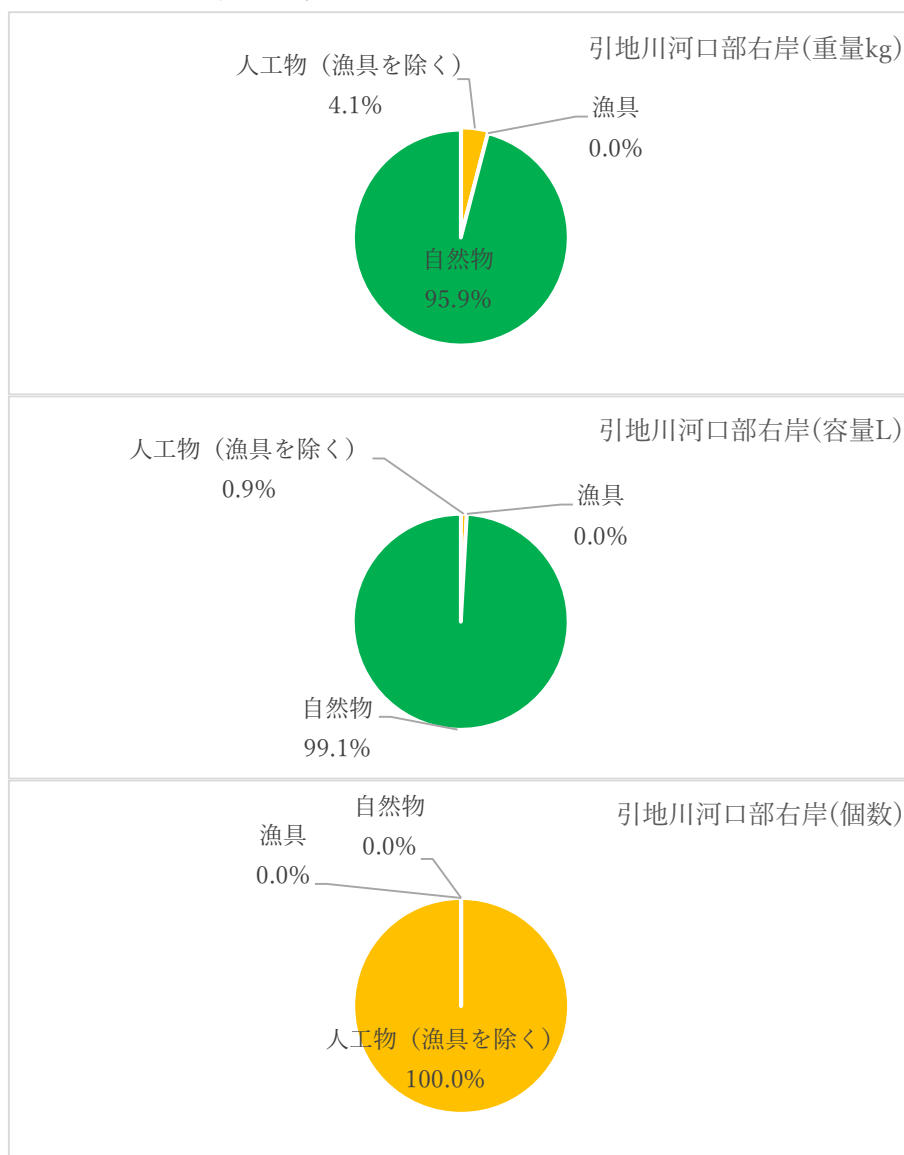


図 2. 2-2 (4) 3 分類別の組成 (R04 年度調査)

表 2. 2-1 (5) 3 分類別の組成 (R03 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
人工物 (漁具を除く)	0.77	3.0	87
漁具	0.01	0.1	8
自然物	0.46	41.5	1
合計	1.24	44.5	96

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

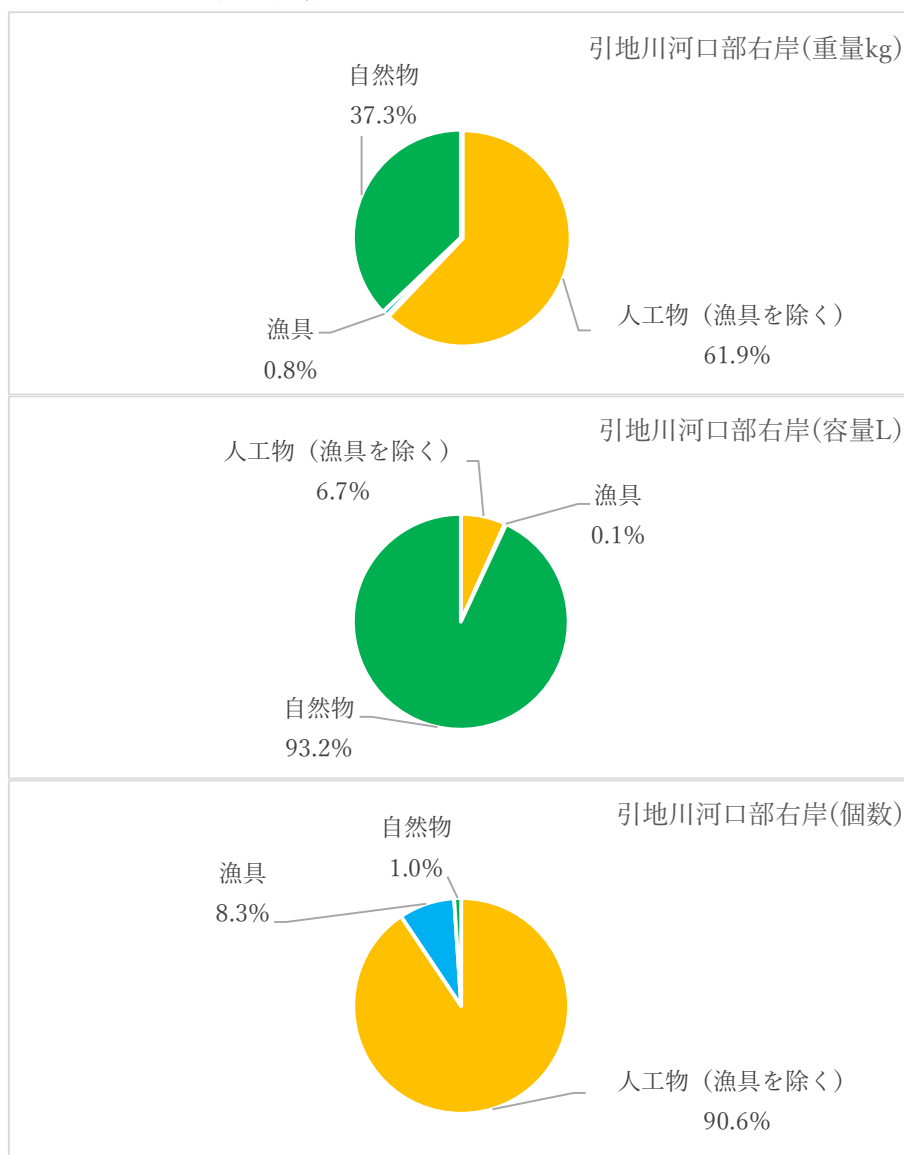


図 2. 2-2 (5) 3 分類別の組成 (R03 年度調査)

表 2. 2-1 (6) 3 分類別の組成 (R02 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
人工物 (漁具を除く)	0.41	1.6	90
漁具	0.01	0.0	6
自然物	3.00	25.0	0
合計	3.42	26.6	96

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

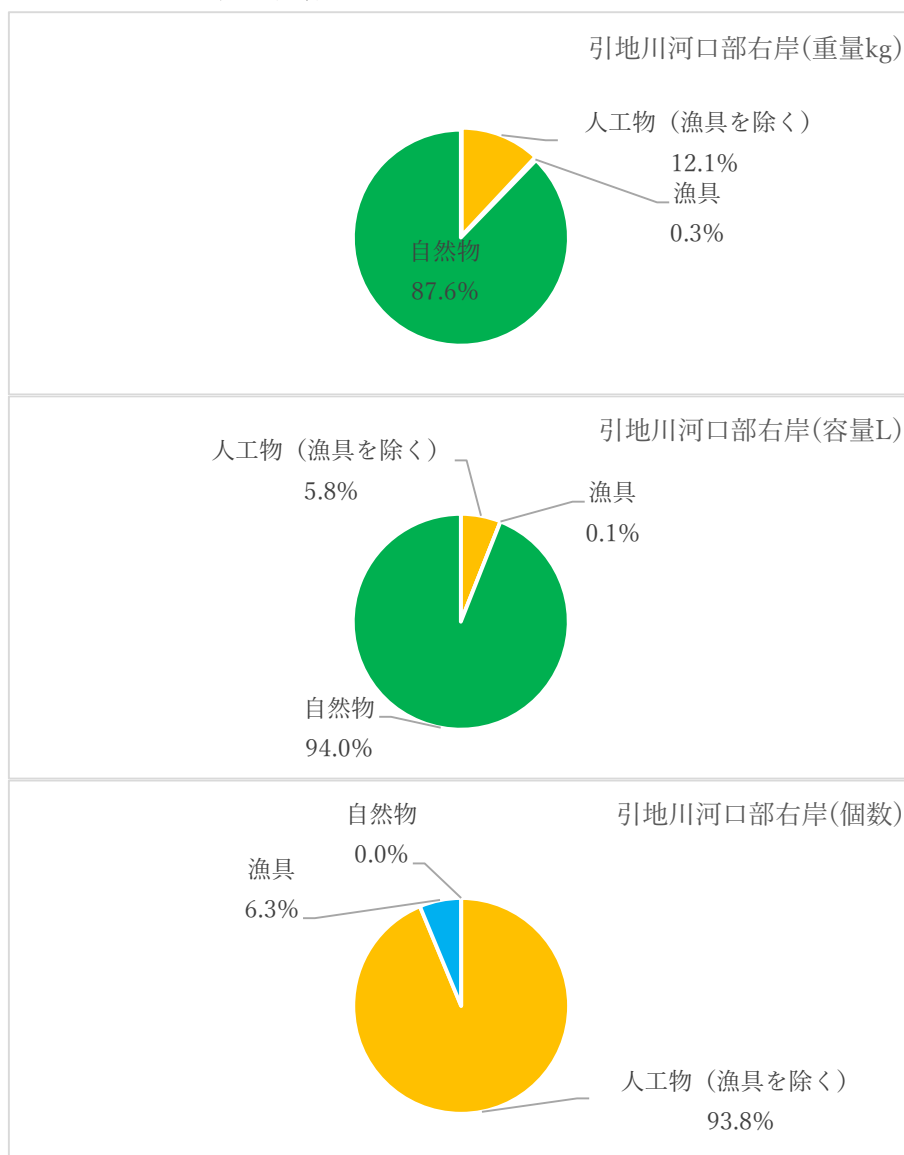


図 2. 2-2 (6) 3 分類別の組成 (R02 年度調査)

表 2.2-1(7) 3分類別の組成 (R01 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
人工物 (漁具を除く)	0.88	4.0	710
漁具	0.01	0.0	6
自然物	20.33	273.0	0
合計	21.22	277.0	716

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

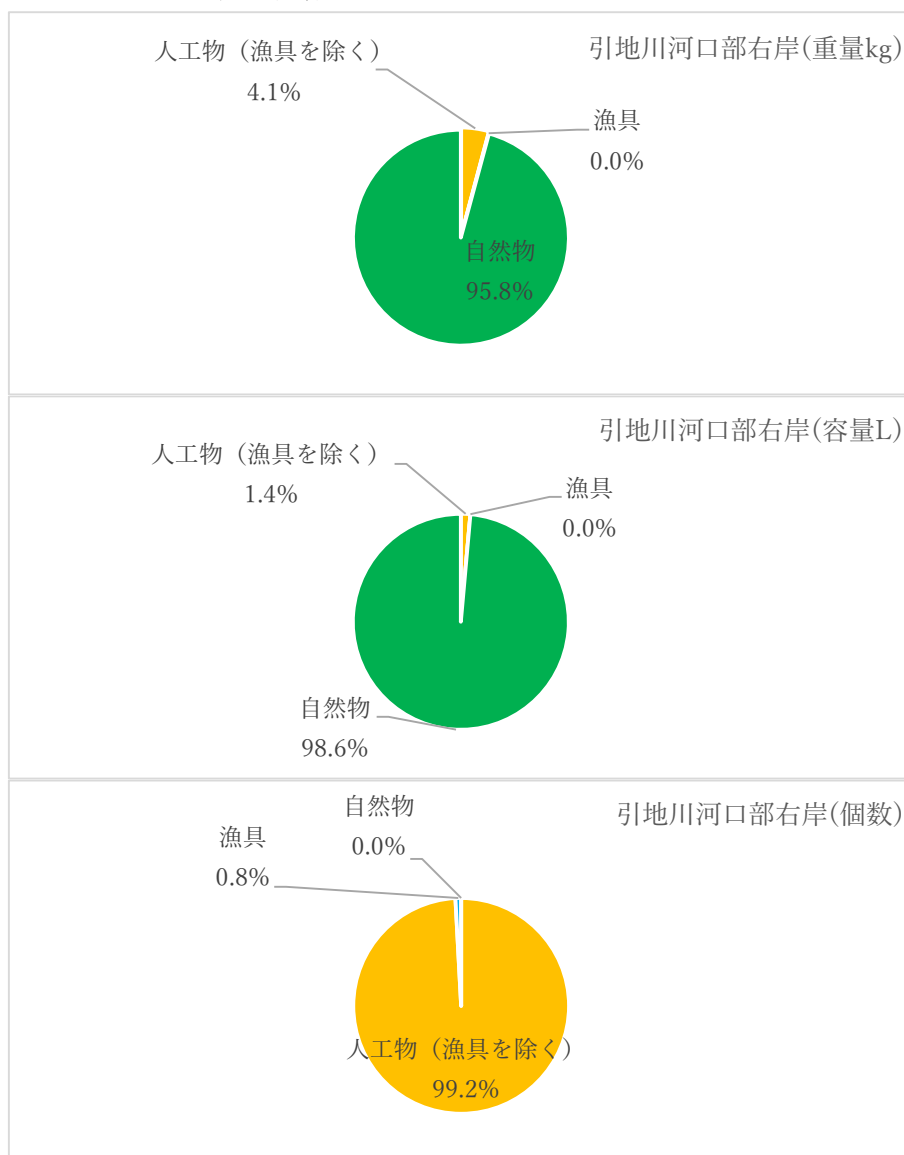


図 2.2-2(7) 3分類別の組成 (R01 年度調査)

表 2. 2-2(1) 人工物の大分類別の組成 (R07 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
プラスチック	0.27	4.5	100
発泡スチロール	0.01	0.2	0
天然繊維、革	0.01	0.1	4
ガラス、陶器	0.02	0.2	0
金属	0.01	0.2	0
紙、ダンボール	0.01	0.1	0
ゴム	0.02	0.3	3
木・木材系	0.48	6.0	5
電化製品、電子機器	0.00	0.0	0
その他	0.00	0.0	0
人力で動かせない物	0.00	0.0	0
合計	0.83	11.6	112

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

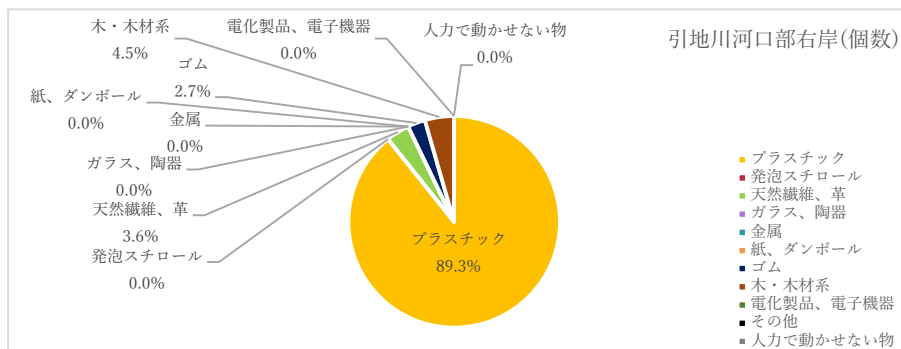
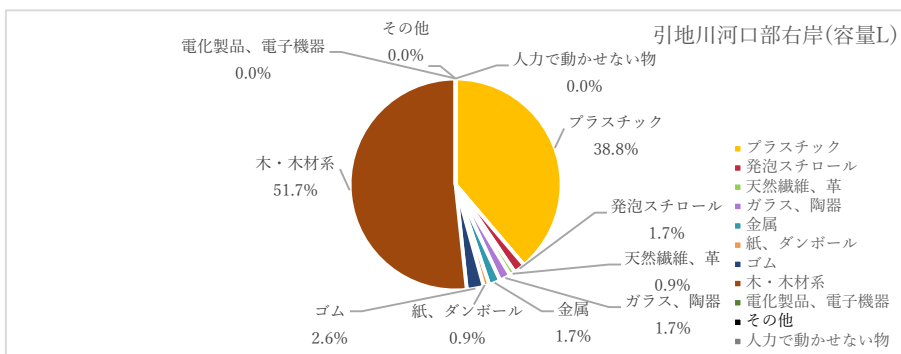
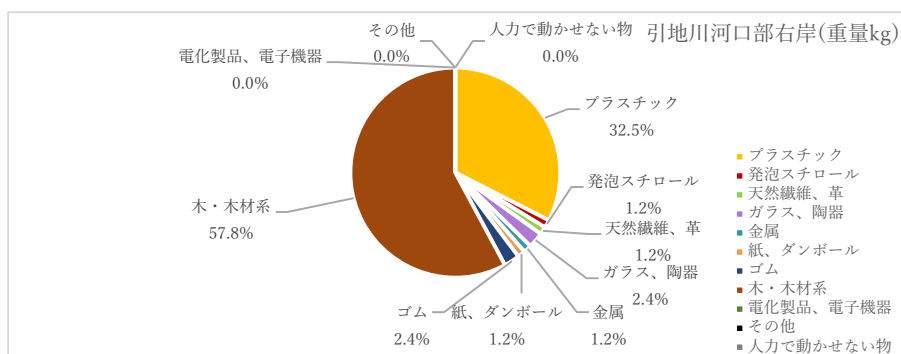


図 2. 2-3(1) 人工物の大分類別の組成 (R07 年度調査)

表 2. 2-2 (2) 人工物の大分類別の組成 (R06 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
プラスチック	1.08	5.6	206
発泡スチロール	0.00	0.1	0
天然繊維、革	0.00	0.0	0
ガラス、陶器	0.04	0.0	0
金属	0.01	0.0	7
紙、ダンボール	0.00	0.0	0
ゴム	0.00	0.0	1
木・木材系	1.54	3.0	4
電化製品、電子機器	0.00	0.0	0
その他	0.02	0.1	1
合計	2.68	8.8	219

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

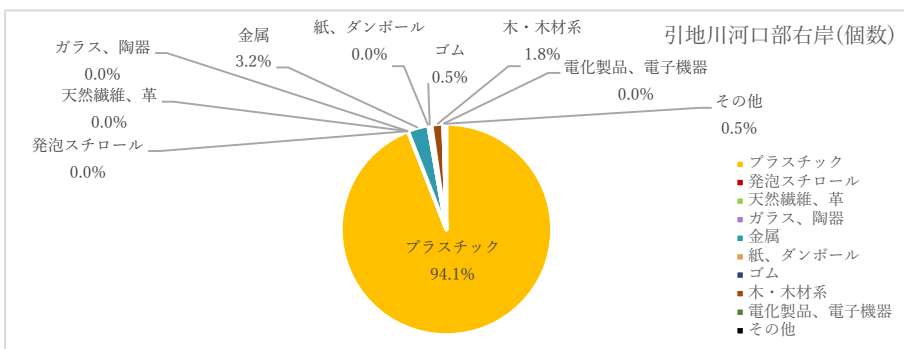
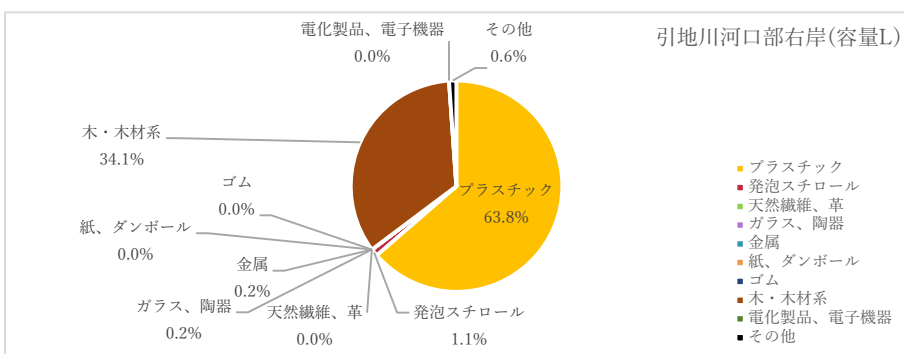
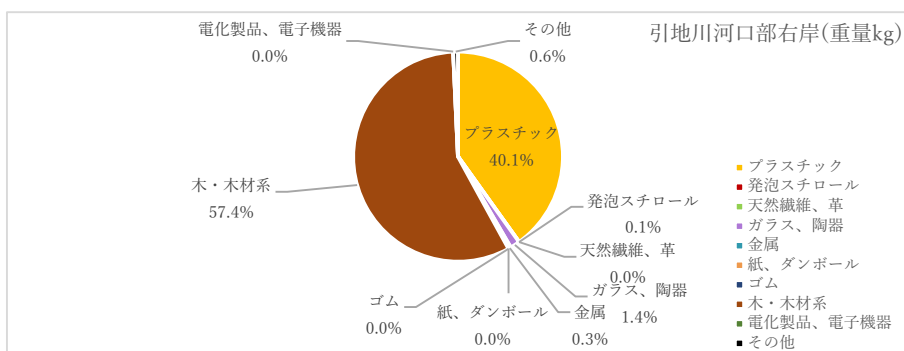


図 2. 2-3 (2) 人工物の大分類別の組成 (R06 年度調査)

表 2.2-2(3) 人工物の大分類別の組成 (R05 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
プラスチック	0.88	5.3	561
発泡スチロール	0.01	0.3	23
天然繊維、革	0.00	0.0	0
ガラス、陶器	0.00	0.0	0
金属	0.01	0.0	1
紙、ダンボール	0.01	0.1	1
ゴム	0.02	0.1	11
木・木材系	1.30	2.5	15
電化製品、電子機器	0.00	0.0	0
その他	0.06	0.3	40
合計	2.29	8.7	652

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

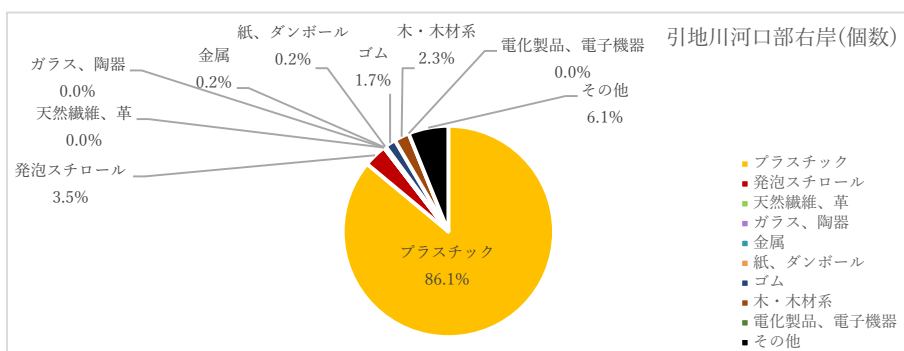
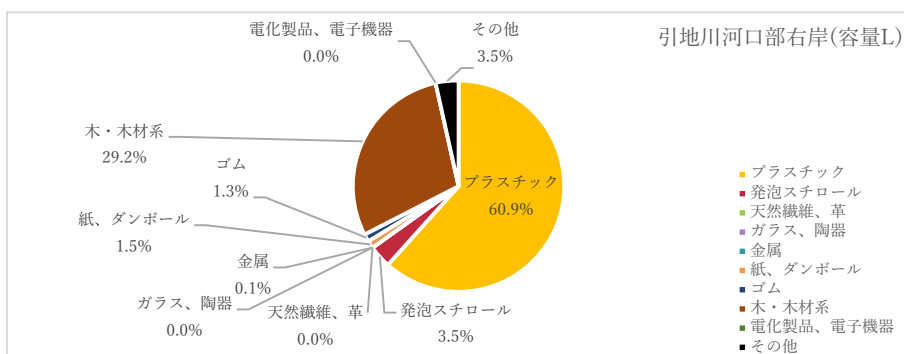
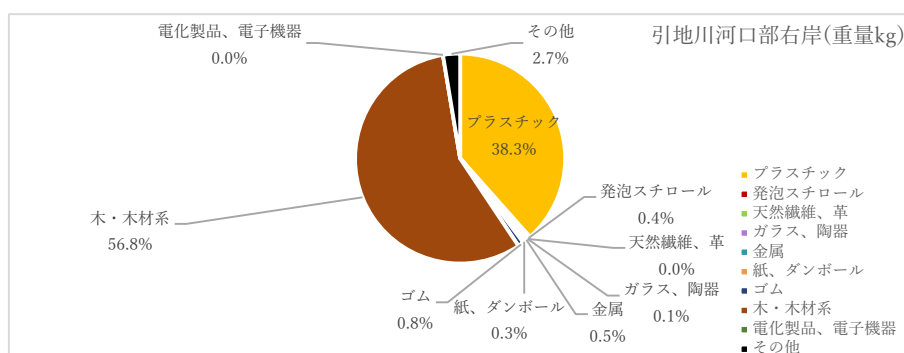


図 2.2-3(3) 人工物の大分類別の組成 (R05 年度調査)

表 2.2-2(4) 人工物の大分類別の組成 (R04 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
プラスチック	0.06	0.6	65
発泡スチロール	0.01	0.2	13
天然繊維、革	0.00	0.0	0
ガラス、陶器	0.15	0.2	0
金属	0.00	0.0	0
紙、ダンボール	0.00	0.0	0
ゴム	0.00	0.0	0
木・木材系	0.05	0.1	1
電化製品、電子機器	0.00	0.0	0
その他	0.00	0.0	0
合計	0.27	1.1	79

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

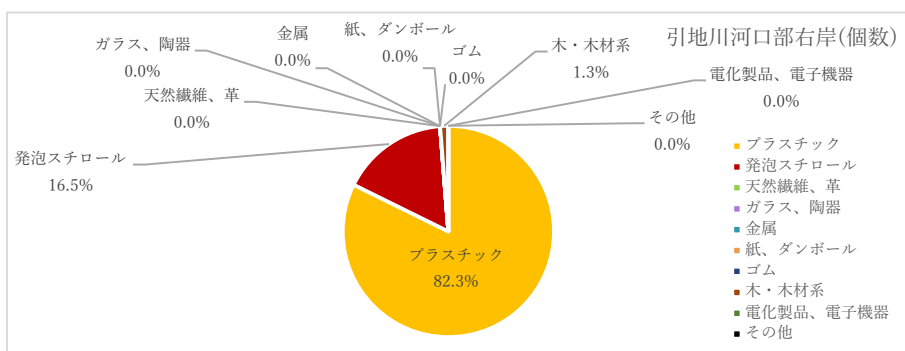
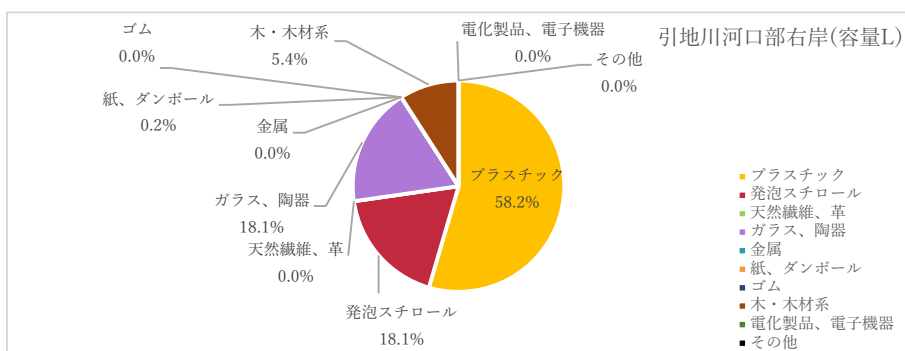
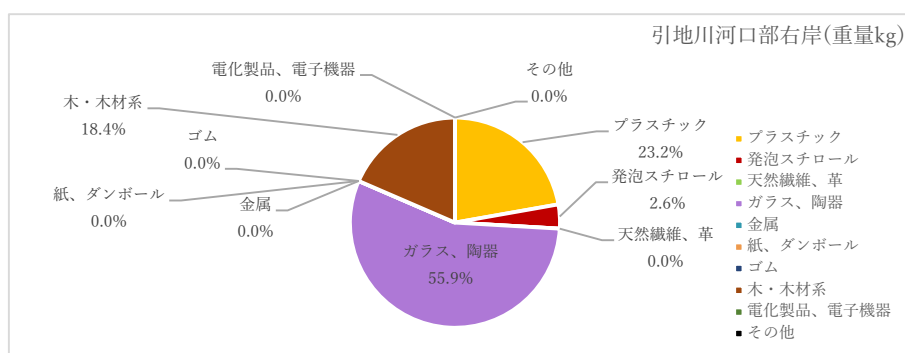


図 2.2-3(4) 人工物の大分類別の組成 (R04 年度調査)

表 2. 2-2(5) 人工物の大分類別の組成 (R03 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
プラスチック	0.31	2.1	76
発泡スチロール	0.00	0.0	4
天然繊維、革	0.01	0.1	3
ガラス、陶器	0.11	0.1	2
金属	0.17	0.3	5
紙、ダンボール	0.00	0.0	0
ゴム	0.00	0.0	0
木・木材系	0.10	0.3	2
電化製品、電子機器	0.00	0.0	0
その他	0.07	0.1	3
合計	0.78	3.0	95

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

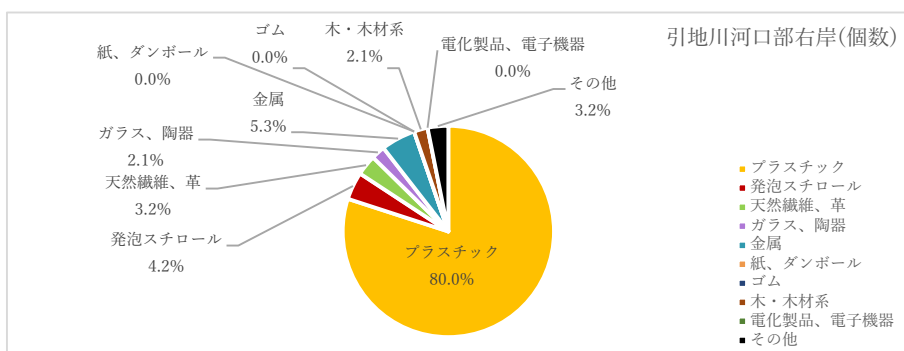
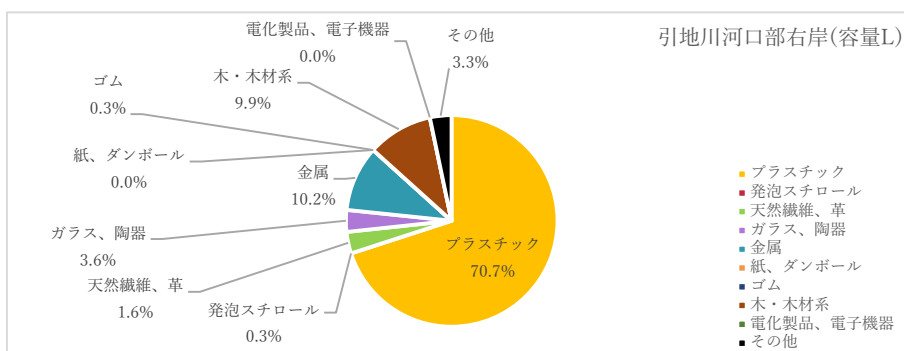
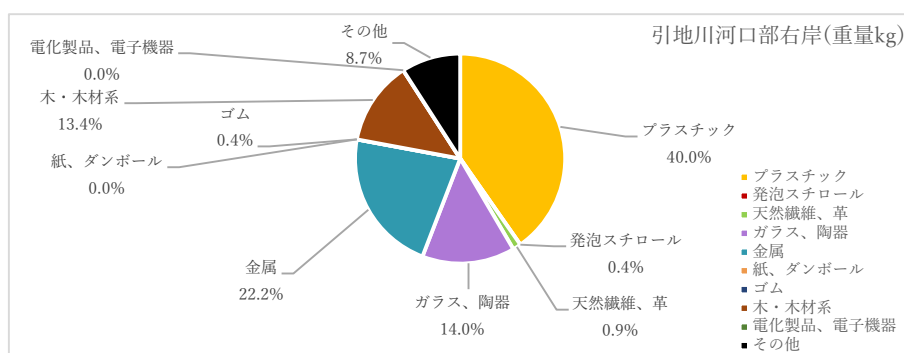


図 2. 2-3(5) 人工物の大分類別の組成 (R03 年度調査)

表 2. 2-2(6) 人工物の大分類別の組成 (R02 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
プラスチック	0.25	0.9	79
発泡スチロール	0.00	0.0	0
天然繊維、革	0.00	0.0	0
ガラス、陶器	0.04	0.1	0
金属	0.01	0.0	1
紙、ダンボール	0.00	0.0	0
ゴム	0.01	0.0	1
木・木材系	0.09	0.5	4
電化製品、電子機器	0.00	0.0	0
その他	0.02	0.1	11
合計	0.42	1.6	96

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

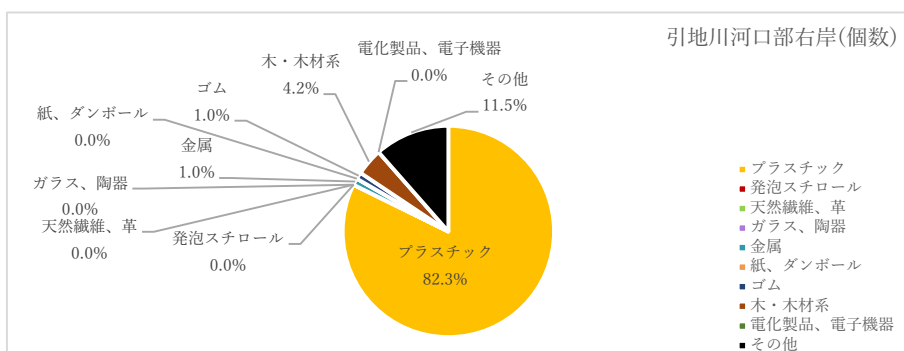
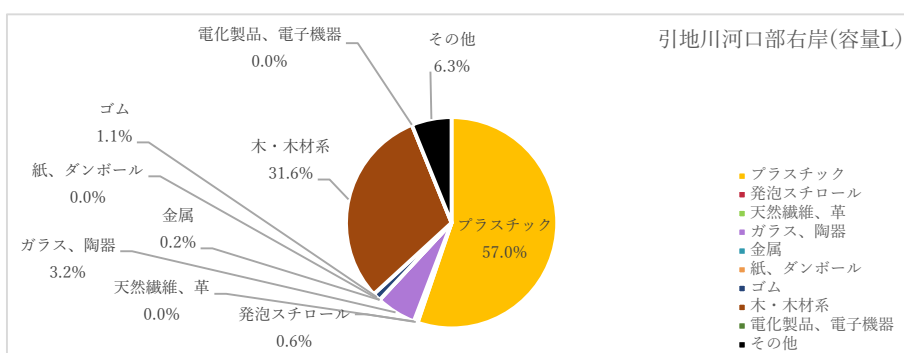
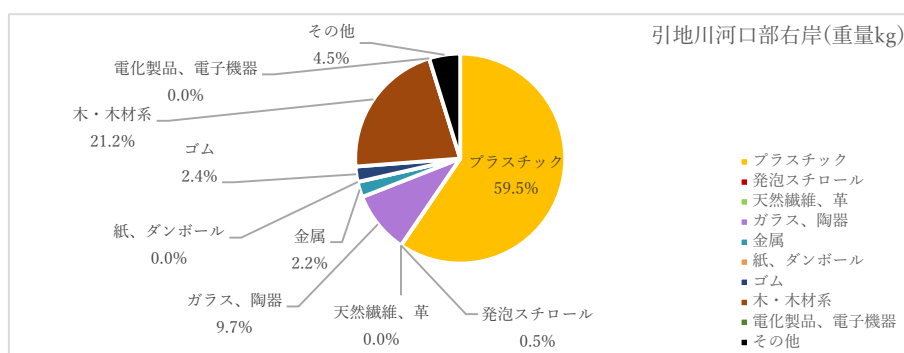


図 2. 2-3(6) 人工物の大分類別の組成 (R02 年度調査)

表 2. 2-2(7) 人工物の大分類別の組成 (R01 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
プラスチック	0.45	2.7	681
発泡スチロール	0.01	0.4	14
天然繊維、革	0.00	0.0	0
ガラス、陶器	0.01	0.1	4
金属	0.00	0.0	1
紙、ダンボール	0.00	0.0	1
ゴム	0.00	0.0	1
木・木材系	0.41	0.8	14
電化製品、電子機器	0.00	0.0	0
その他	0.00	0.0	0
合計	0.89	4.0	716

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

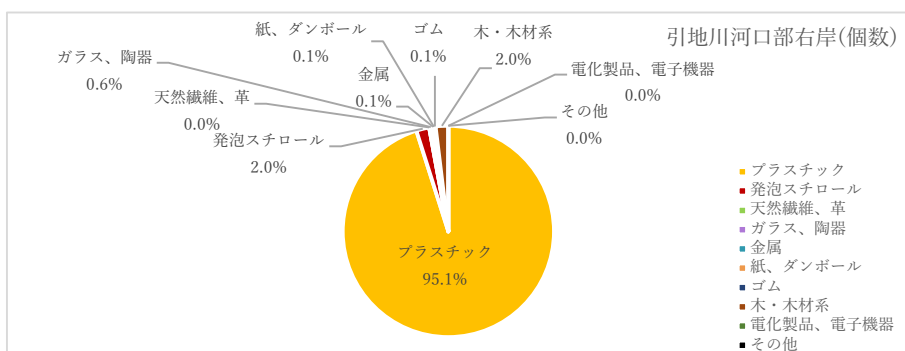
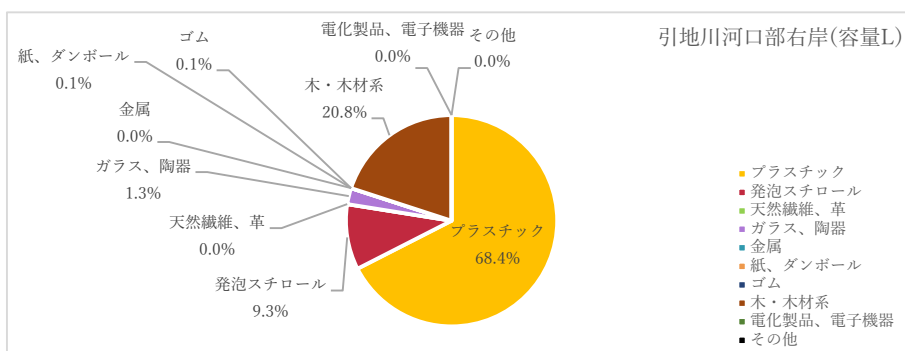
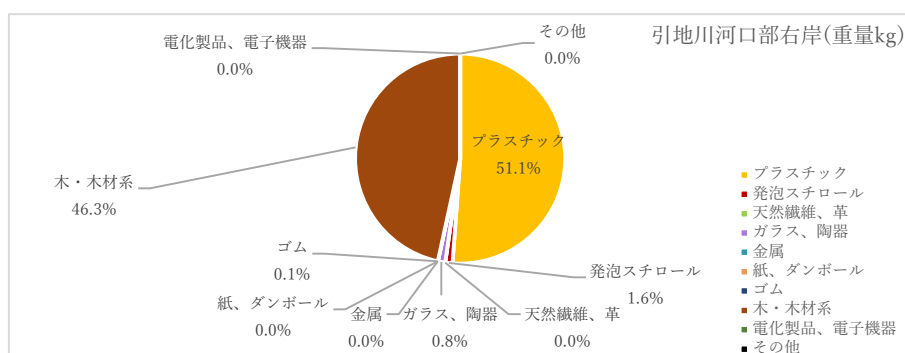


図 2. 2-3(7) 人工物の大分類別の組成 (R01 年度調査)

表 2. 2-3 (1) プラスチックの容器包装等の組成 (R07 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
容器包装	0.04	1.1	22
製品	0.06	1.5	75
漁具	0.00	0.0	0
その他	0.18	2.1	3
合計	0.28	4.7	100

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

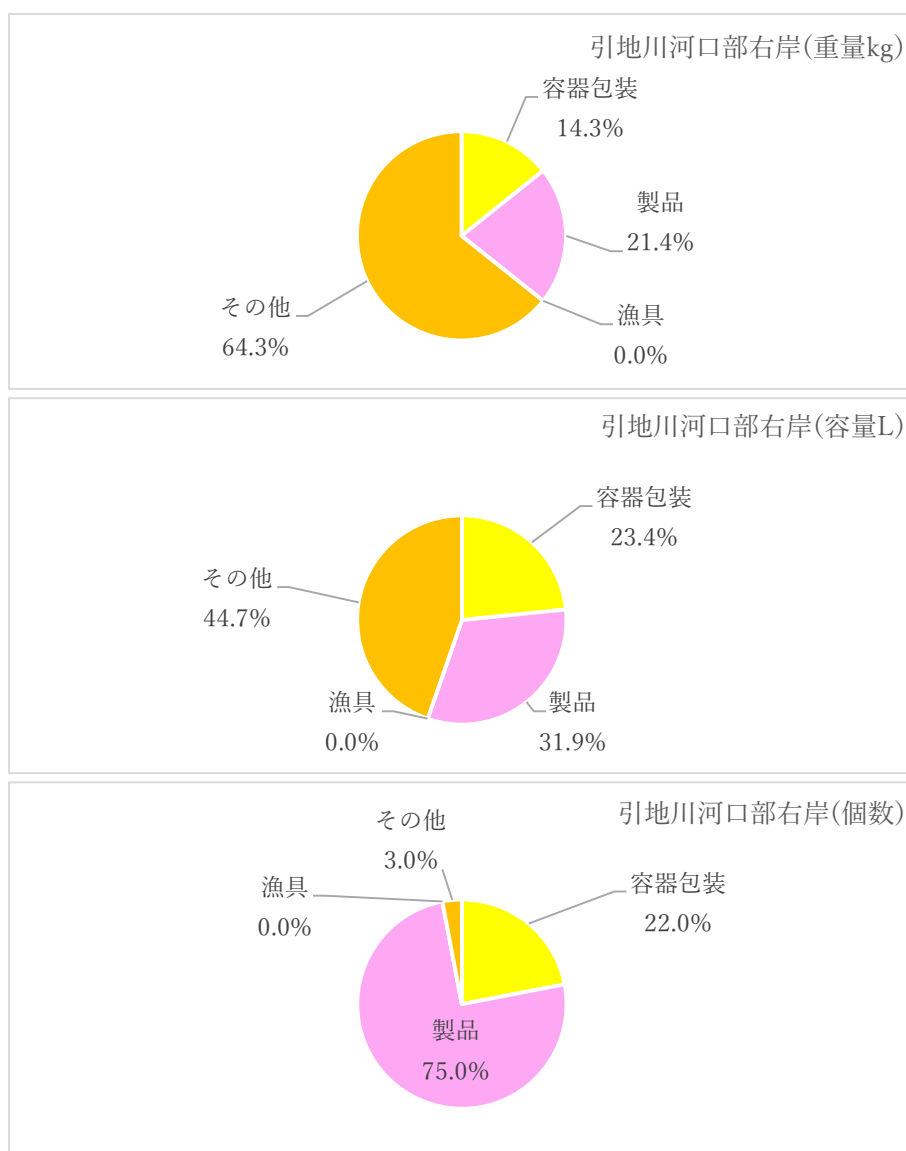


図 2. 2-4 (1) プラスチックの容器包装等の組成 (R07 年度調査)

表 2. 2-3 (2) プラスチックの容器包装等の組成 (R06 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
容器包装	0.22	2.1	97
製品	0.75	3.2	98
漁具	0.11	0.4	11
合計	1.08	5.7	206

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である



図 2. 2-4 (2) プラスチックの容器包装等の組成 (R06 年度調査)

表 2. 2-3 (3) プラスチックの容器包装等の組成 (R05 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
容器包装	0.05	0.7	70
製品	0.82	4.8	502
漁具	0.02	0.1	12
合計	0.89	5.6	584

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

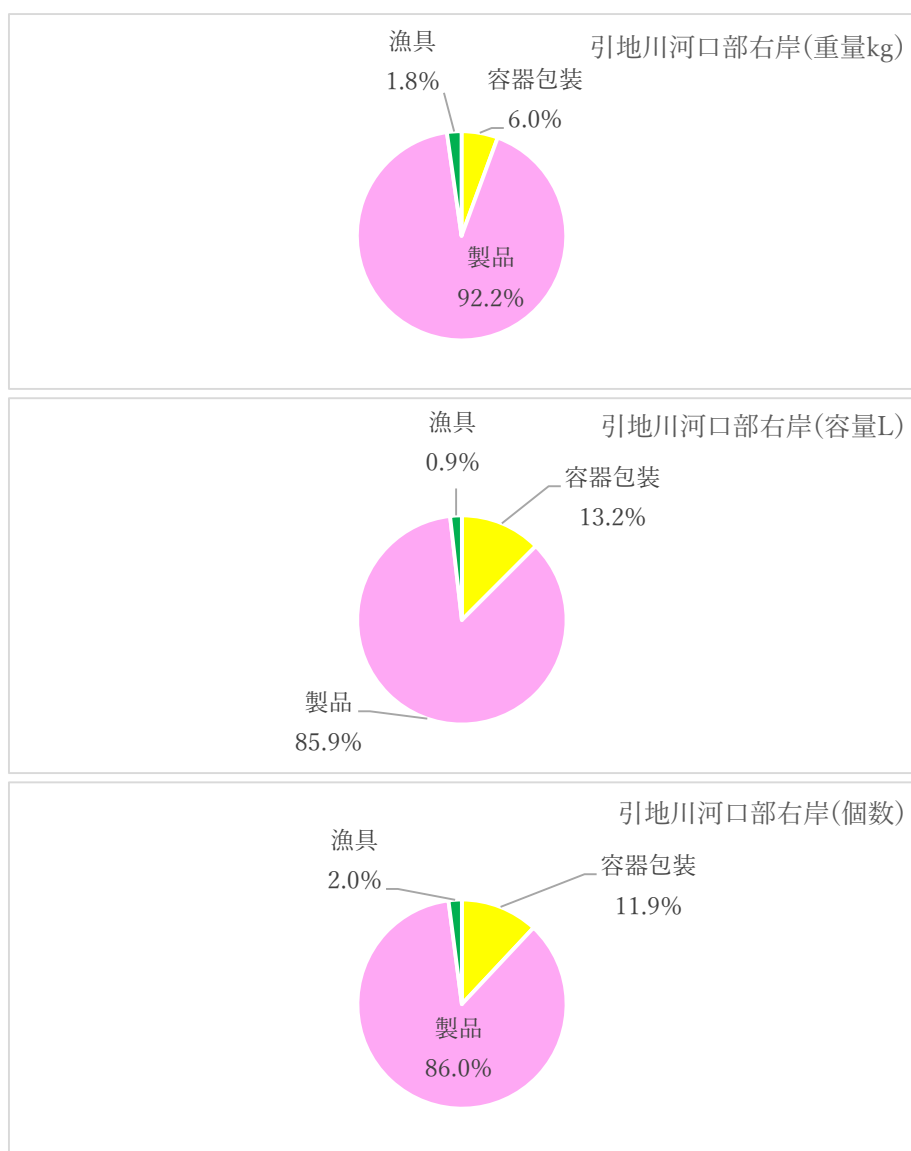


図 2. 2-4 (3) プラスチックの容器包装等の組成 (R05 年度調査)

表 2. 2-3(4) プラスチックの容器包装等の組成 (R04 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
容器包装	0.00	0.0	22
製品	0.07	0.8	56
漁具	0.00	0.0	0
合計	0.07	0.8	78

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

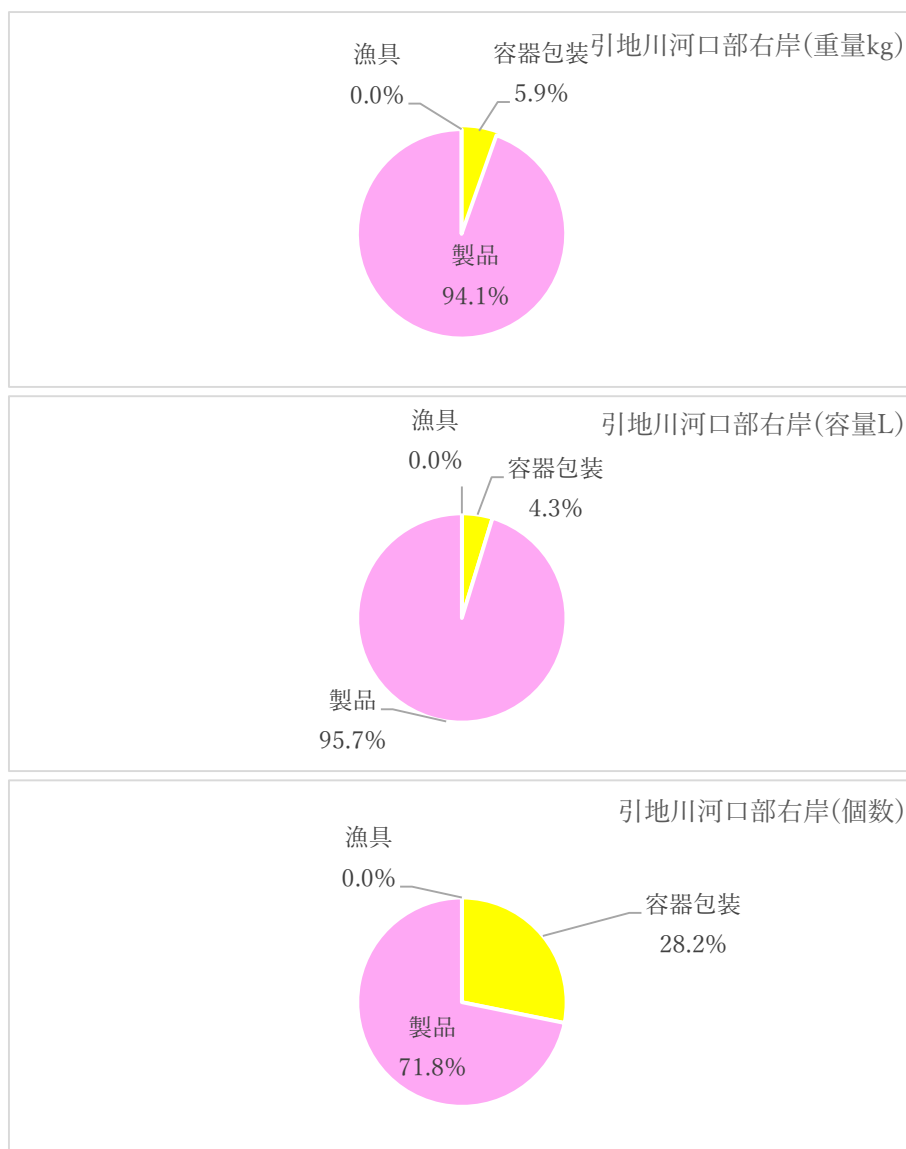


図 2. 2-4(4) プラスチックの容器包装等の組成 (R04 年度調査)

表 2. 2-3 (5) プラスチックの容器包装等の組成 (R03 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
容器包装	0.03	0.2	17
製品	0.27	1.9	55
漁具	0.01	0.1	8
合計	0.31	2.2	80

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

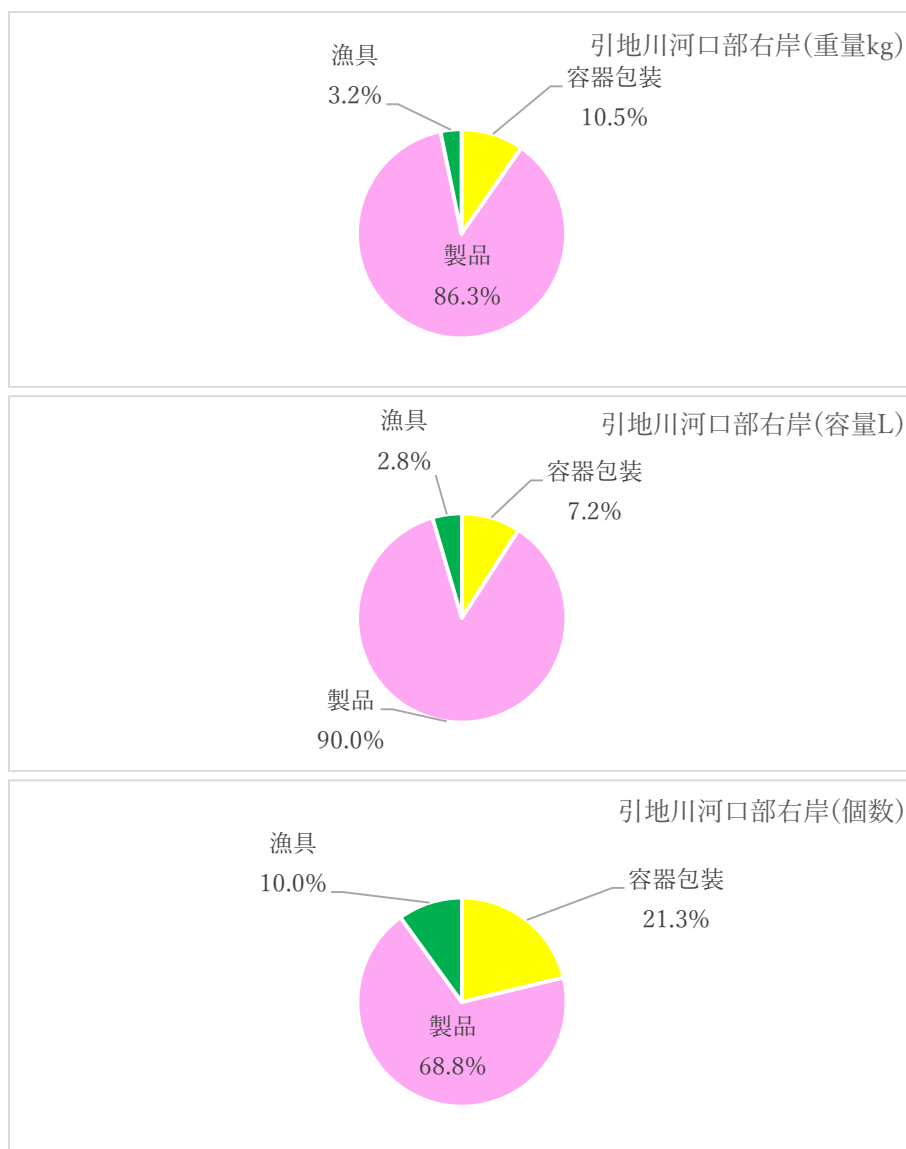


図 2. 2-4 (5) プラスチックの容器包装等の組成 (R03 年度調査)

表 2. 2-3 (6) プラスチックの容器包装等の組成 (R02 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
容器包装	0.04	0.3	18
製品	0.20	0.6	55
漁具	0.01	0.0	6
合計	0.25	0.9	79

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

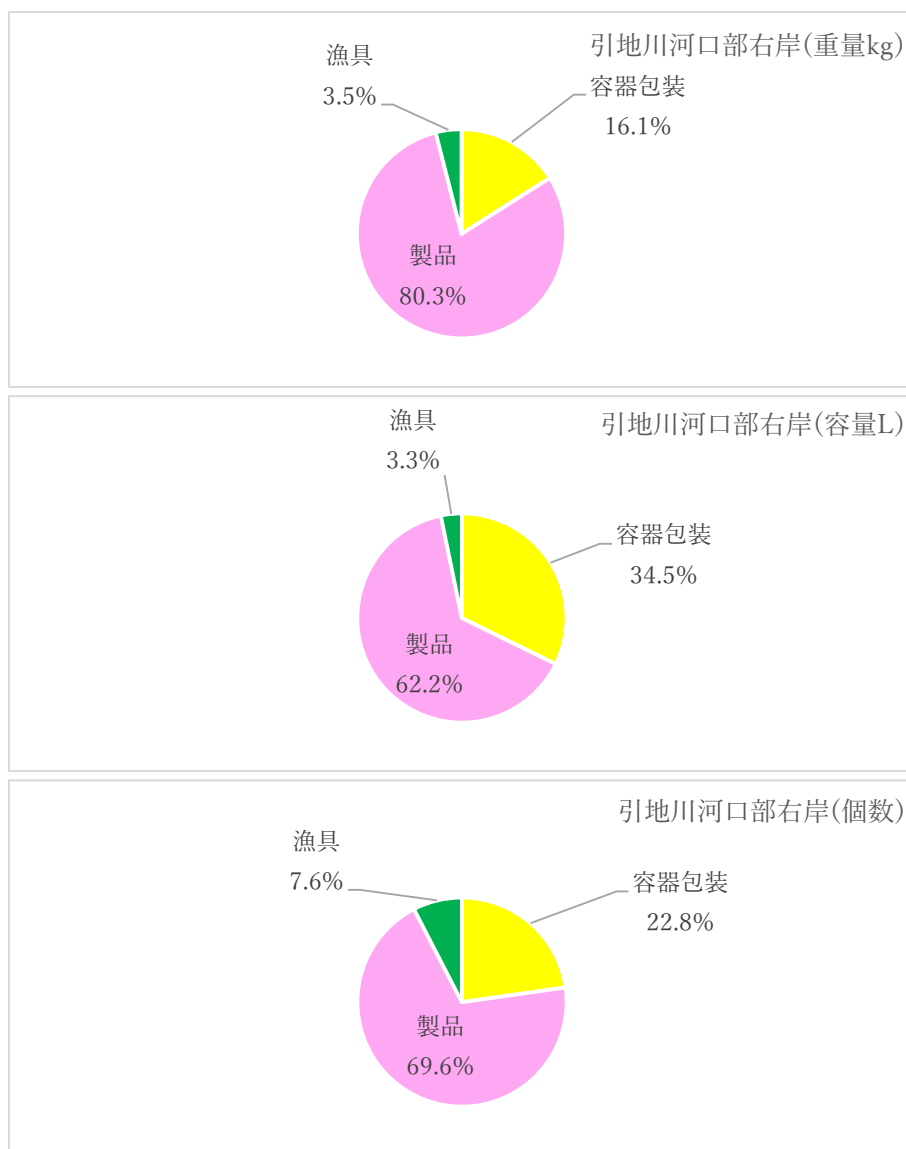


図 2. 2-4 (6) プラスチックの容器包装等の組成 (R02 年度調査)

表 2. 2-3 (7) プラスチックの容器包装等の組成 (R01 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
容器包装	0.01	0.2	32
製品	0.46	2.9	660
漁具	0.00	0.0	3
合計	0.47	3.1	695

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

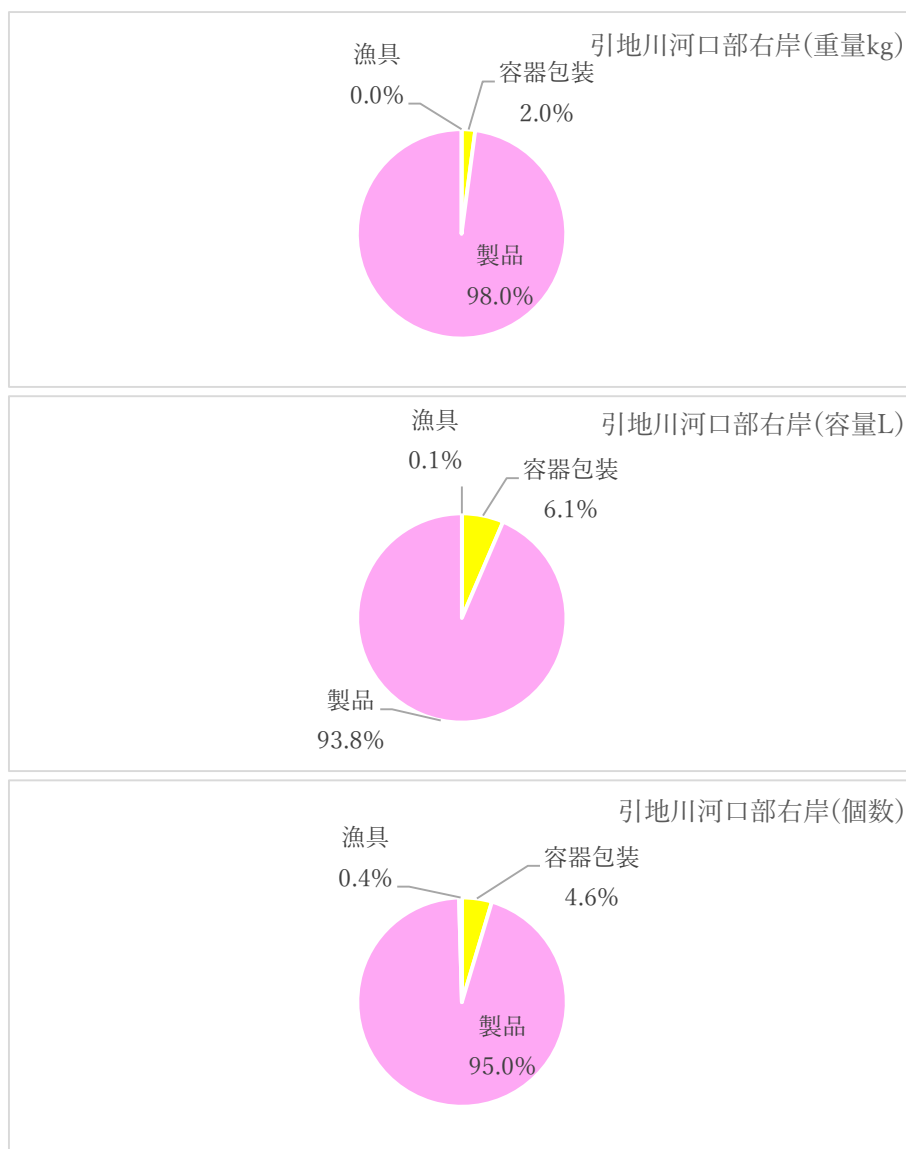


図 2. 2-4 (7) プラスチックの容器包装等の組成 (R01 年度調査)

2.2.2 発生源の推定

特定できたペットボトル等の製造国は、表 2.2-4 に示す。

本年度調査では、ペットボトルのキャップは日本4個、英語1個、不明4個であった。

これまでの調査で特定できた製造国は、不明を除いてほとんど日本であった。

表 2.2-4 製造国の特定結果

	ペットボトル		ペットボトルのキャップ		漁業用の浮子	
	本年度調査	R2～R7 の合計	本年度調査	R2～R7 の合計	本年度調査	R2～R7 の合計
日本	0	0	4	31	0	0
中国・台湾	0	0	0	0	0	1
韓国	0	0	0	1	0	0
英語	0	0	1	1	0	0
不明	0	0	4	19	0	0
合計	0	0	9	52	0	1

2.3 金目川河口部左岸（平塚市）

2.3.1 組成調査

(1) 現地の状況等

金目川河口部左岸（平塚市）での状況写真は、図 2.3-1 に示す。

本海岸での清掃は比較的ゆきとどいており、漂着ごみはほとんど見られなかった。主に波打ち際から海岸奥側に破片状の灌木が分布していた。その大きさから通常の清掃での回収の対象となっていないものと思われた。その内側や下側に、主に小さなプラスチック類が散在しており、これらが、今回の主な回収物である。

過年度調査は R01～R06 である。



図 2.3-1 金目川河口部左岸（平塚市）での状況写真

(2) 3分類別の組成

3分類別の組成は、表 2.3-1、図 2.3-2 に示す。

本年度調査で回収された漂着ごみは、重量 13.96kg、容量 84.4L、個数 49 個であった。3分類別の組成は、重量、容量、ともに自然物がそれぞれ 96.9%、92.4%と最も多かった。個数は人工物（漁具を除く）が 93.9%と最も多かった。なお、灌木の個数は、環境省ガイドラインに従って本調査では計数していない。

過年度調査（R01～R06）で回収された漂着ごみは、本年度調査の重量で 0.4～20.8 倍で、容量で 1.1～25.3 倍、個数で 0.5～8.7 倍だった。

(3) 人工物の大分類別の組成

人工物の大分類別の組成は、表 2.3-2、図 2.3-3 示す。

本年度調査での人工物の大分類別の組成は、重量、容量、個数ともにプラスチックがそれぞれ 41.9%、60.9%、74.5%と最も多かった。

これら多かった品目は、プラスチックでは食品の容器包装やたばこの吸殻（フィルター）であった。

過年度調査（R01～R06）での人工物は、本年度調査の重量で 0.5～44.3 倍で、容量で 0.3～6.6 倍、個数で 0.4～8.3 倍だった。

(4) プラスチックの容器包装等の組成

プラスチックの容器包装等の組成は、表 2.3-3、図 2.3-4 に示す。

本年度調査でのプラスチックの容器包装等の組成は、重量、容量ともに、その他がそれぞれ 50.0%、45.2%と最も多かった。個数は容器包装が 57.5%と最も多かった。

これら多かった品目は、その他では硬質プラスチック破片、容器包装では食品の容器包装であった。

過年度調査 (R01～R06) でのプラスチックの容器包装等は、本年度調査の重量で 0.4～7.0 倍で、容量で 0.3～8.7 倍、個数で 0.3～9.2 倍だった。

表 2.3-1(1) 3分類別の組成 (R07 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
人工物 (漁具を除く)	0.42	5.9	46
漁具	0.01	0.5	1
自然物	13.53	78.0	2
合計	13.96	84.4	49

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

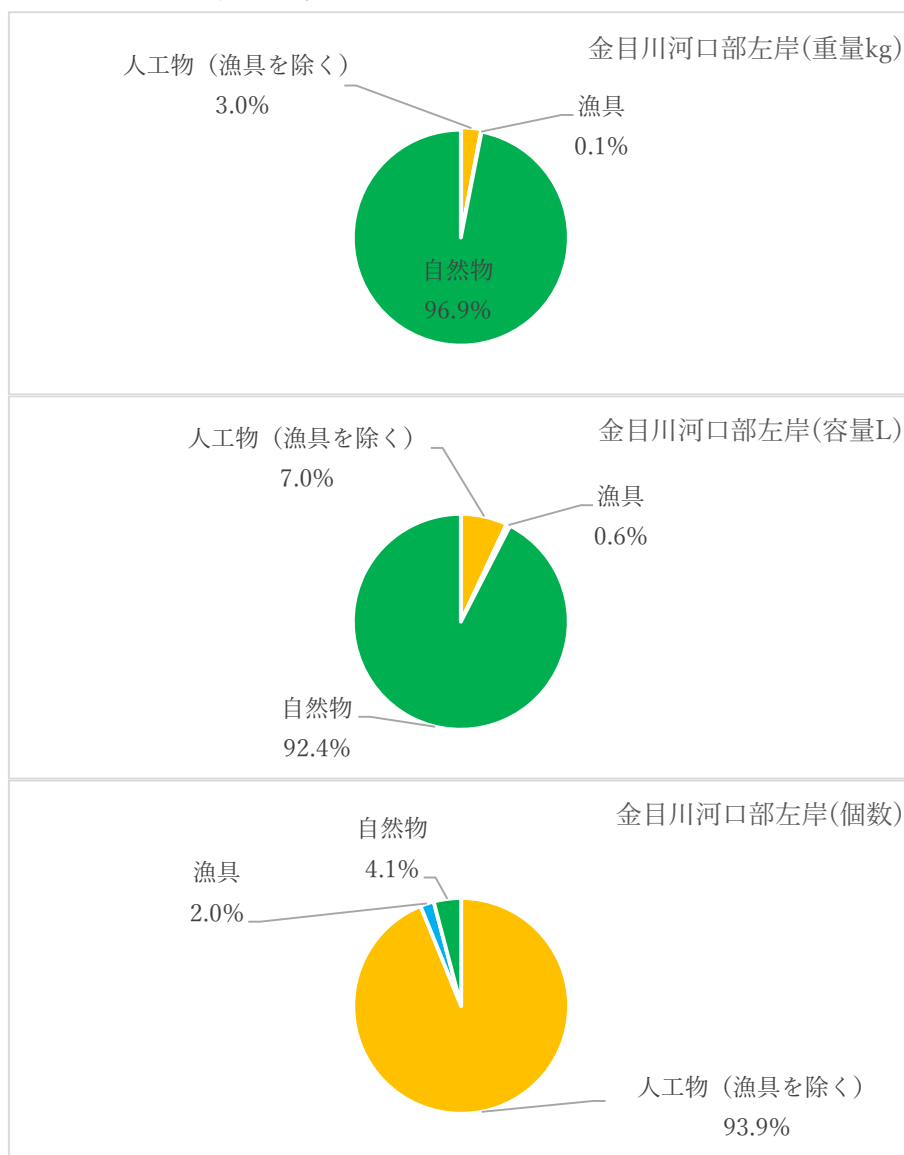


図 2.3-2(1) 3分類別の組成 (R07 年度調査)

表 2.3-1(2) 3分類別の組成 (R06 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
人工物 (漁具を除く)	19.03	13.2	383
漁具	0.01	0.1	5
自然物	271.58	1,999.7	38
合計	290.62	2,013.0	426

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

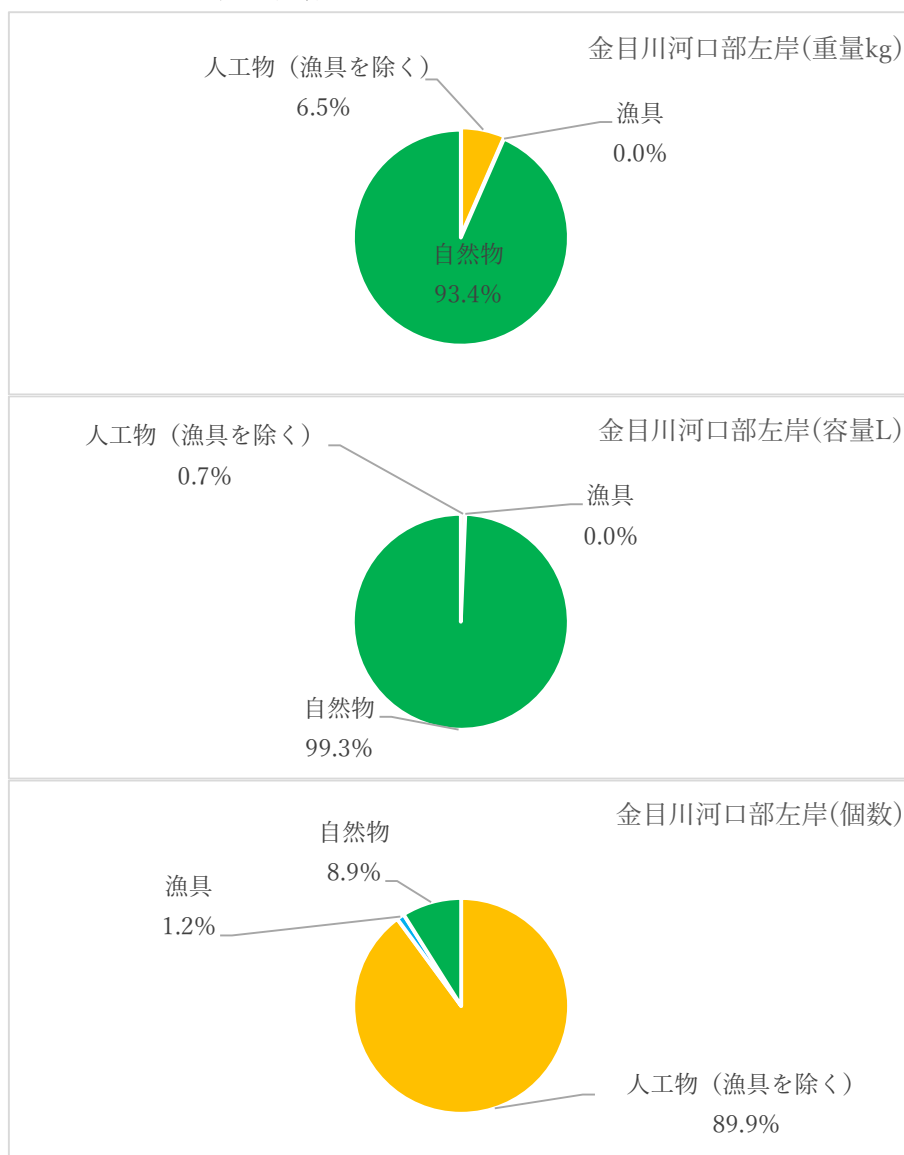


図 2.3-2(2) 3分類別の組成 (R06 年度調査)

表 2.3-1(3) 3分類別の組成 (R05 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
人工物 (漁具を除く)	2.68	16.5	278
漁具	0.00	0.0	1
自然物	50.70	269.4	1
合計	53.38	285.9	280

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

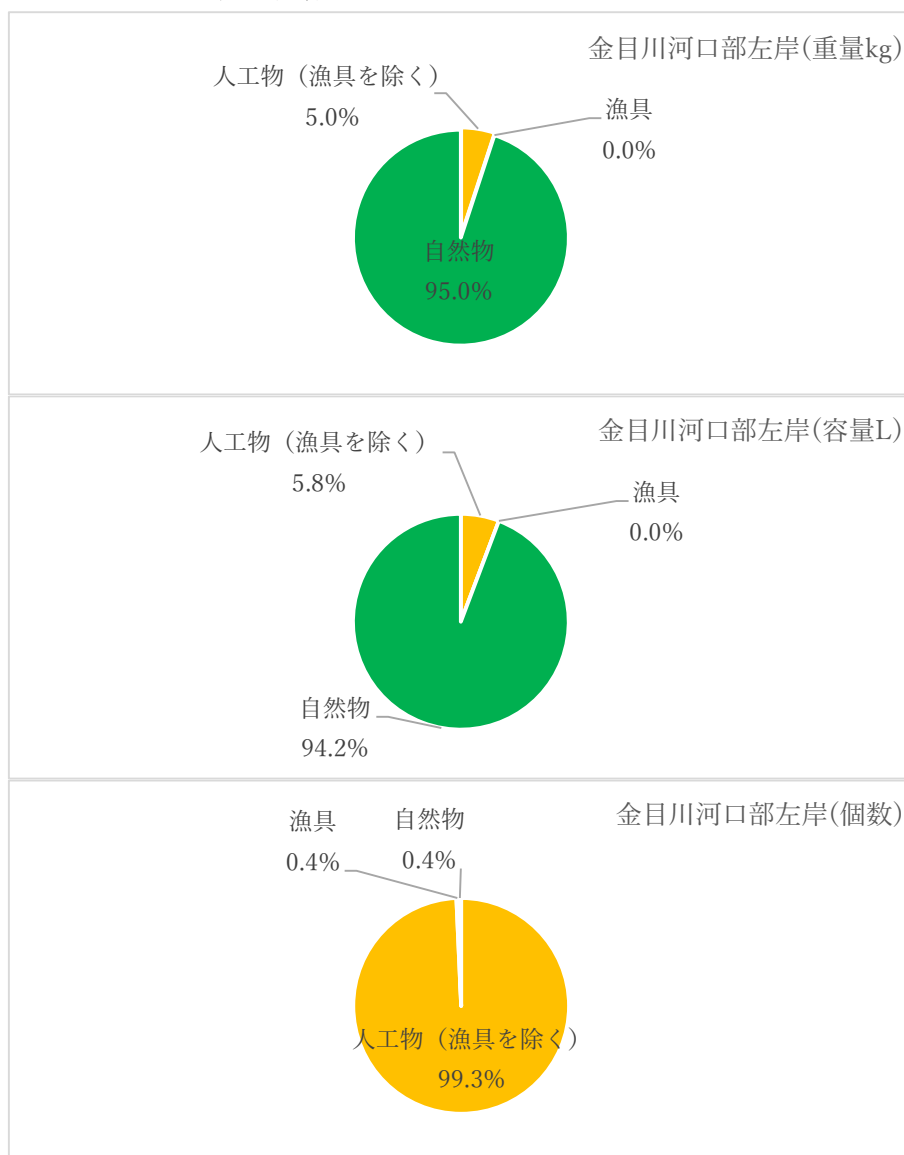


図 2.3-2(3) 3分類別の組成 (R05 年度調査)

表 2.3-1(4) 3分類別の組成 (R04 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
人工物 (漁具を除く)	2.68	23.6	353
漁具	0.00	0.0	6
自然物	29.20	385.0	4
合計	31.88	408.7	363

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

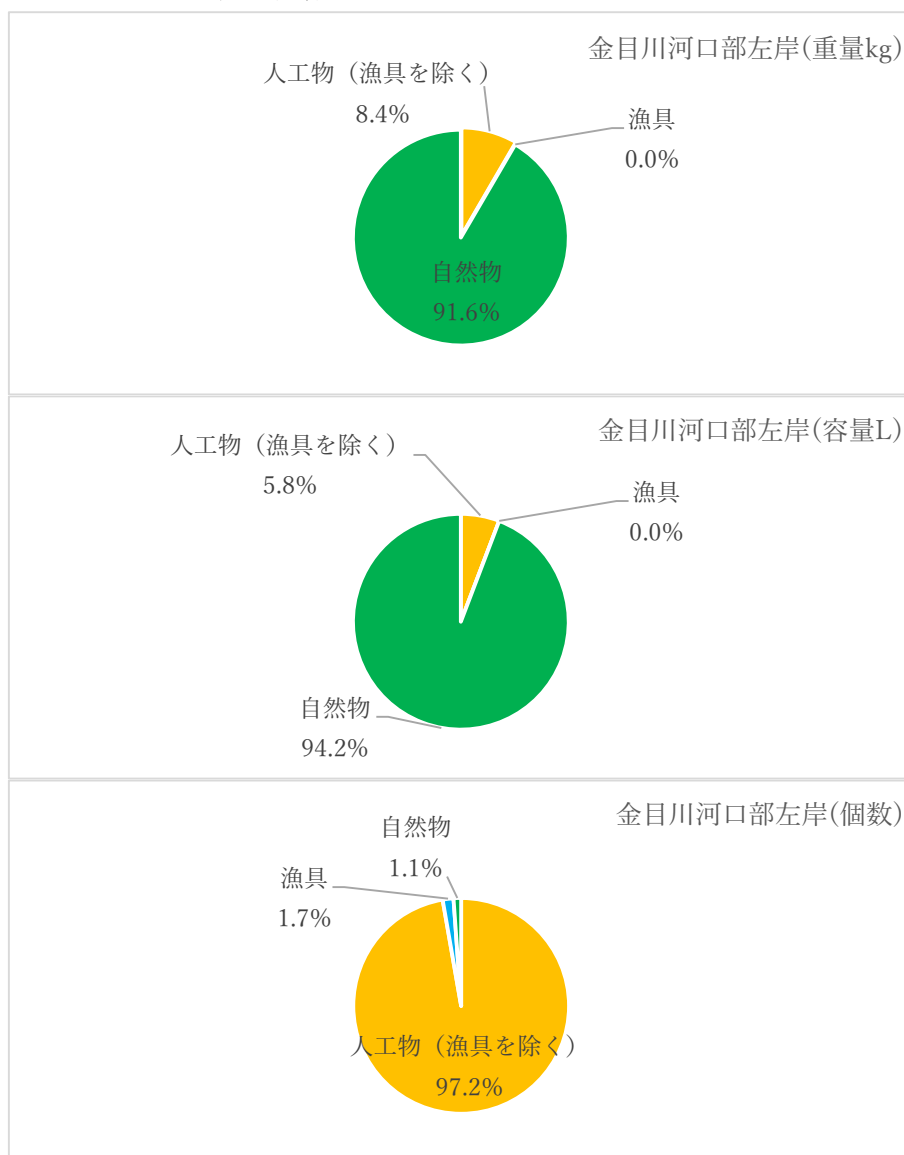


図 2.3-2(4) 3分類別の組成 (R04 年度調査)

表 2.3-1(5) 3分類別の組成 (R03 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
人工物 (漁具を除く)	2.57	41.9	382
漁具	0.05	0.1	8
自然物	99.56	2,092.7	1
合計	102.18	2,134.7	391

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

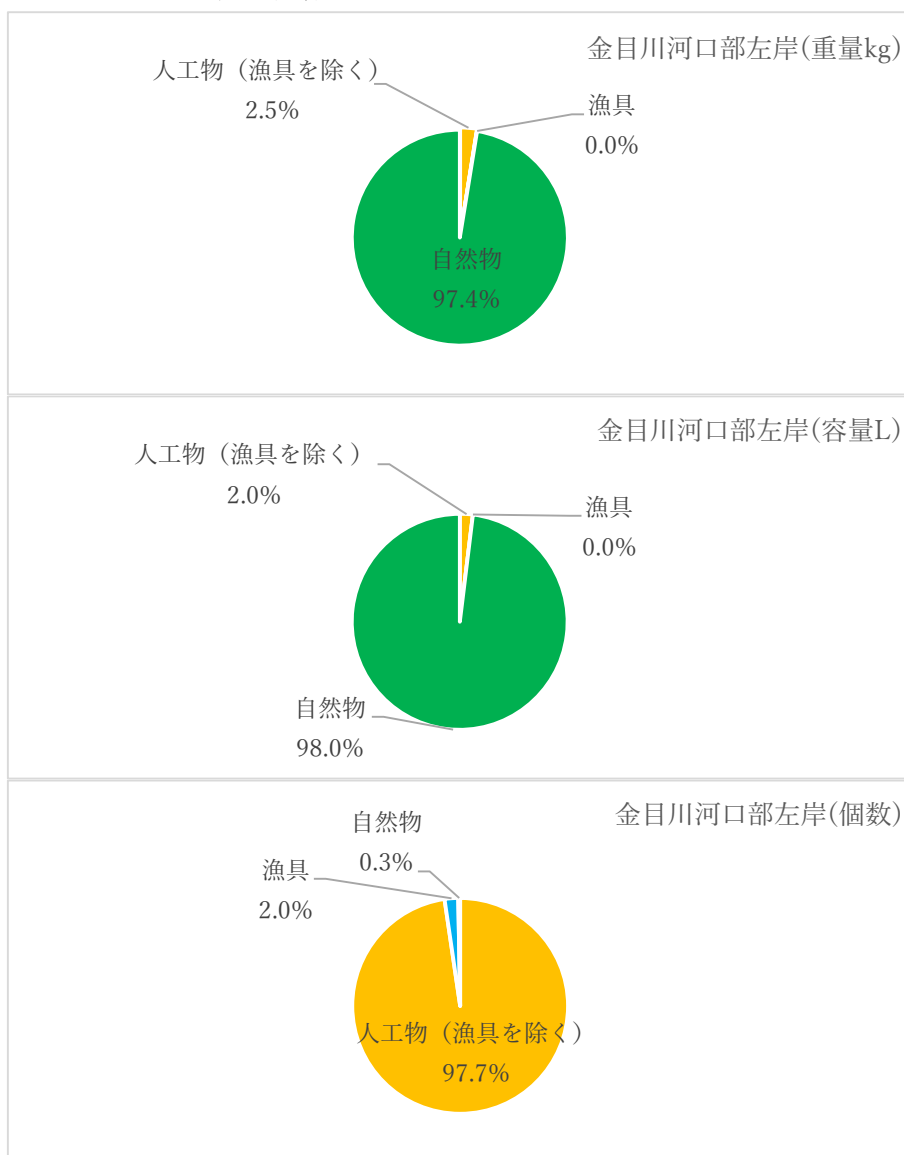


図 2.3-2(5) 3分類別の組成 (R03 年度調査)

表 2.3-1(6) 3分類別の組成 (R02 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
人工物 (漁具を除く)	0.23	1.7	19
漁具	0.00	0.0	2
自然物	5.06	90.2	2
合計	5.29	91.9	23

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

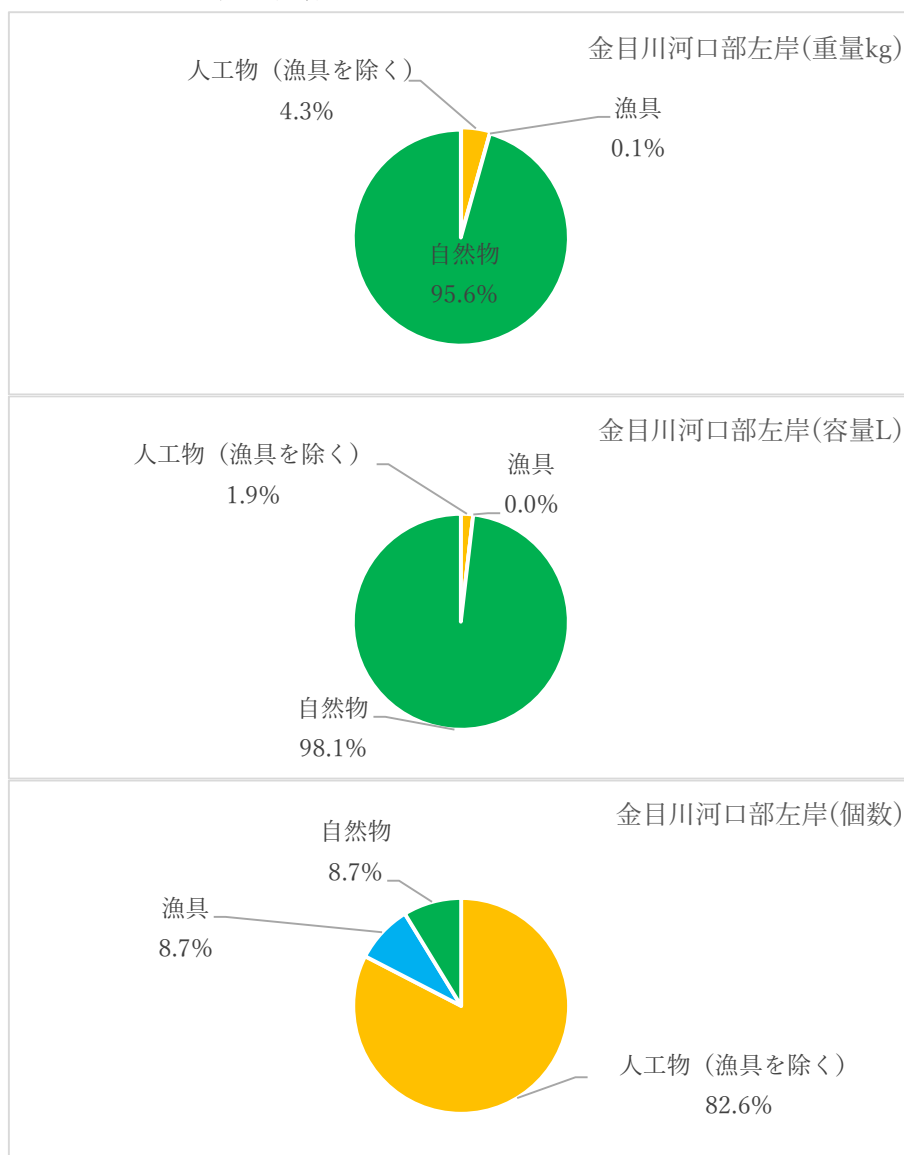


図 2.3-2(6) 3分類別の組成 (R02 年度調査)

表 2.3-1(7) 3分類別の組成 (R01 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
人工物 (漁具を除く)	1.57	14.4	148
漁具	0.00	0.0	2
自然物	86.61	1,297.2	56
合計	88.18	1,311.7	206

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

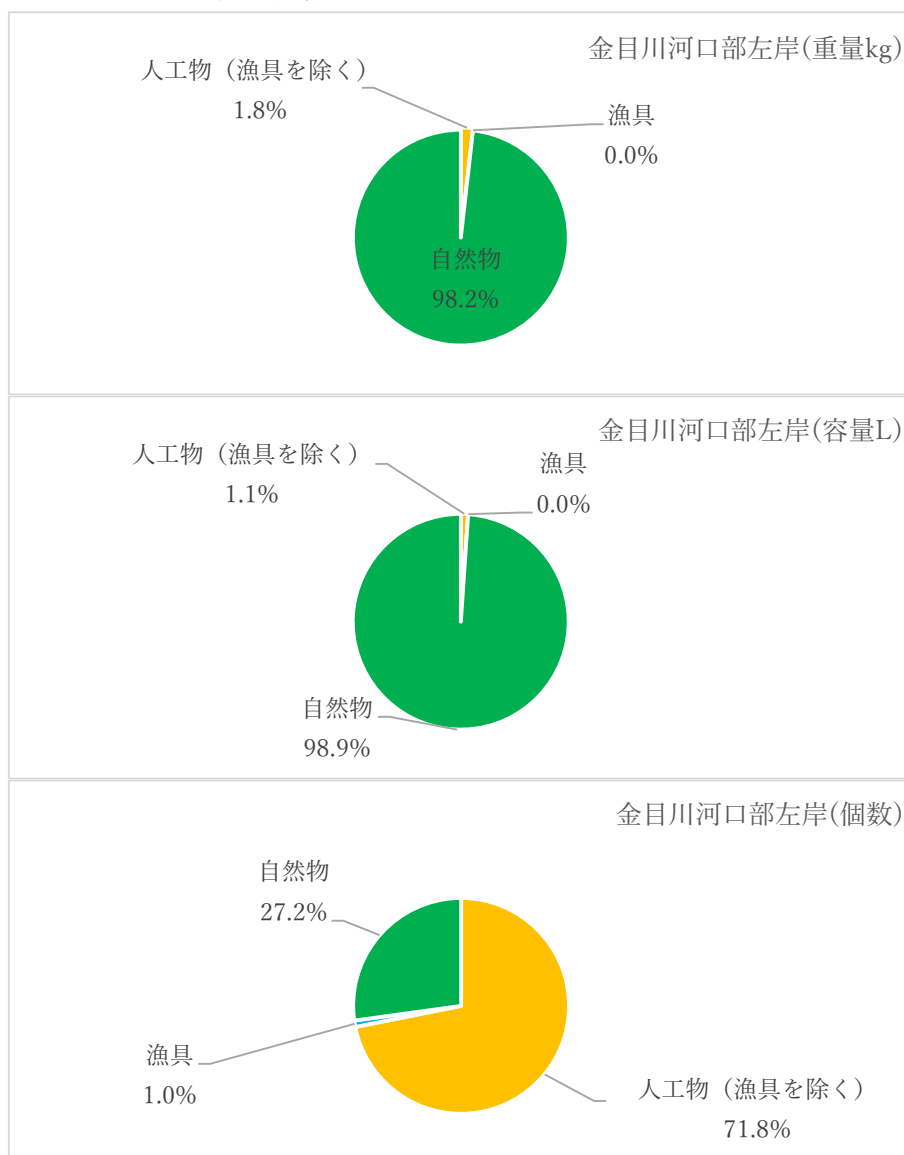


図 2.3-2(7) 3分類別の組成 (R01 年度調査)

表 2.3-2(1) 人工物の大分類別の組成 (R07 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
プラスチック	0.18	3.9	35
発泡スチロール	0.02	0.3	5
天然繊維、革	0.00	0.0	0
ガラス、陶器	0.11	0.5	2
金属	0.03	0.4	3
紙、ダンボール	0.03	0.2	0
ゴム	0.05	0.9	1
木・木材系	0.00	0.0	0
電化製品、電子機器	0.01	0.2	1
その他	0.00	0.0	0
人力で動かせない物	0.00	0.0	0
合計	0.43	6.4	47

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

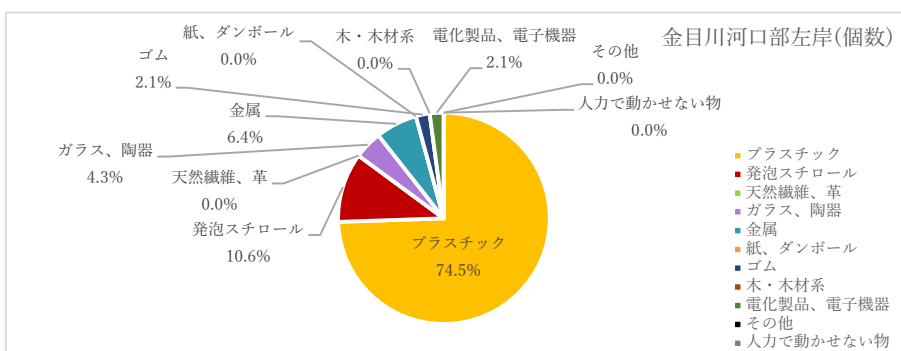
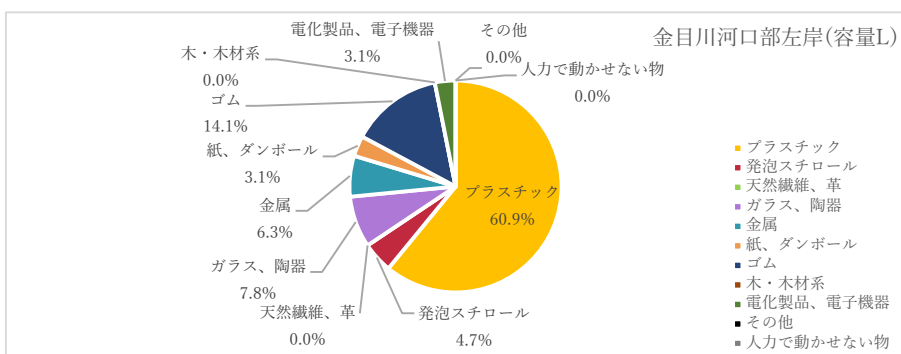
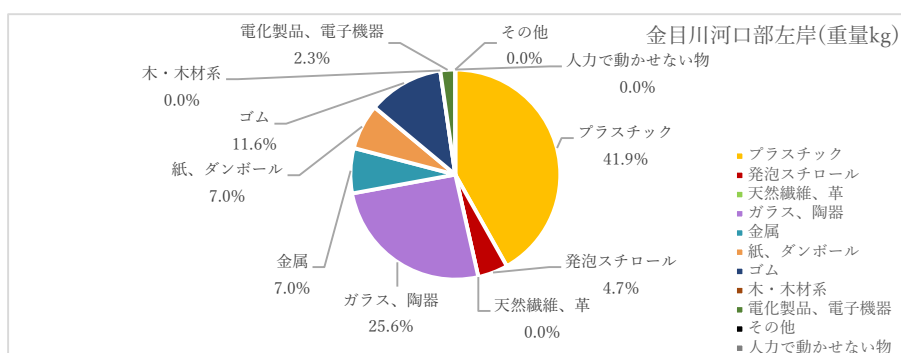


図 2.3-3(1) 人工物の大分類別の組成 (R07 年度調査)

表 2. 3-2 (2) 人工物の大分類別の組成 (R06 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
プラスチック	0.59	6.1	191
発泡スチロール	0.07	3.5	169
天然繊維、革	0.00	0.0	0
ガラス、陶器	0.10	0.2	1
金属	0.13	0.4	3
紙、ダンボール	0.01	0.2	2
ゴム	0.01	0.2	2
木・木材系	18.10	2.7	12
電化製品、電子機器	0.00	0.0	0
その他	0.03	0.2	8
合計	19.04	13.3	388

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

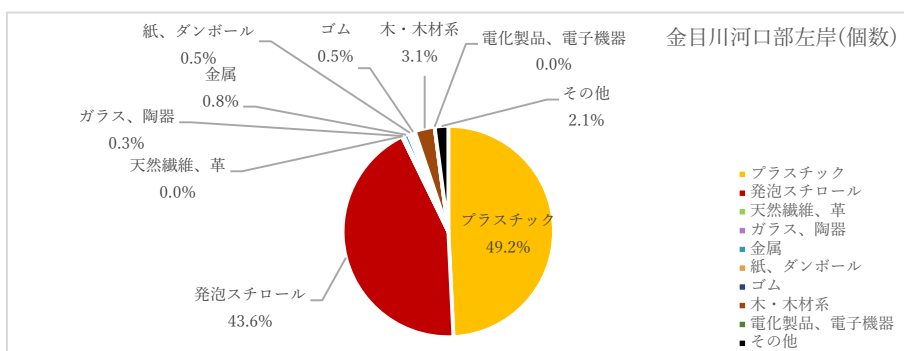
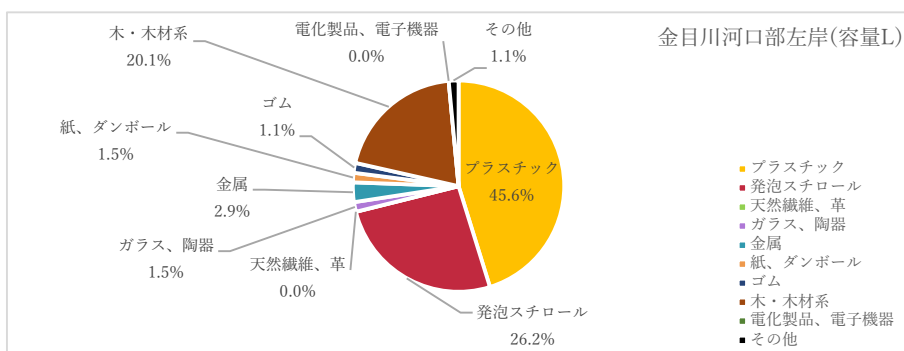
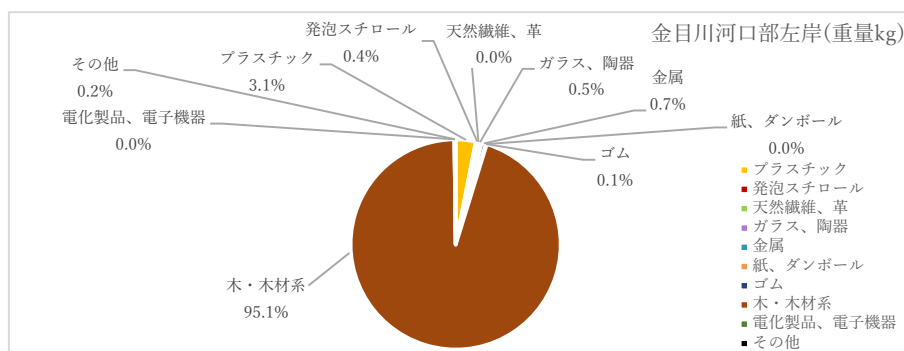


図 2. 3-3 (2) 人工物の大分類別の組成 (R06 年度調査)

表 2. 3-2 (3) 人工物の大分類別の組成 (R05 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
プラスチック	0.45	8.2	193
発泡スチロール	0.01	0.2	17
天然繊維、革	0.00	0.0	0
ガラス、陶器	0.06	0.1	0
金属	0.44	1.5	38
紙、ダンボール	0.00	0.0	0
ゴム	0.01	0.1	4
木・木材系	1.51	6.0	17
電化製品、電子機器	0.00	0.0	0
その他	0.20	0.4	10
合計	2.68	16.5	279

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

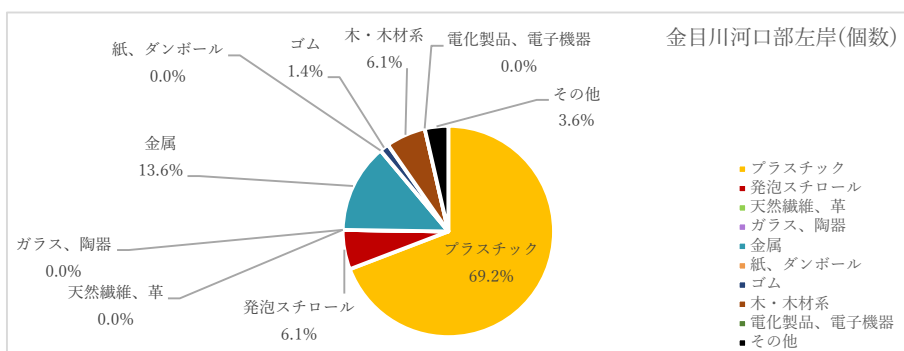
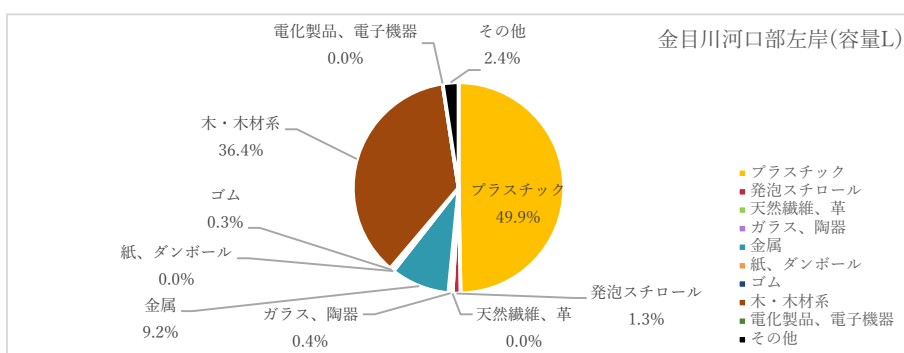
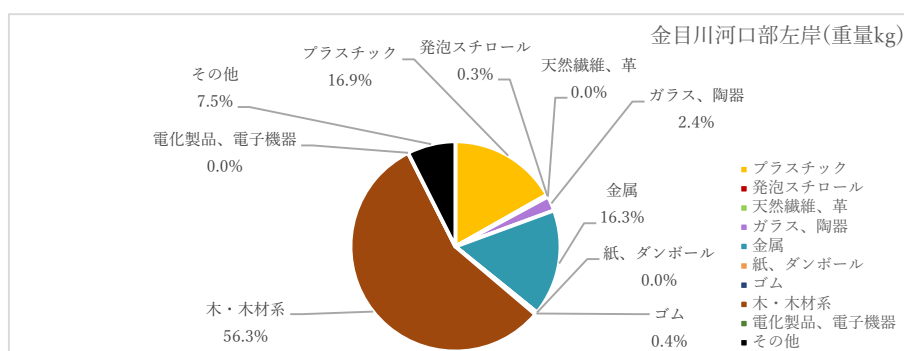


図 2. 3-3 (3) 人工物の大分類別の組成 (R05 年度調査)

表 2. 3-2 (4) 人工物の大分類別の組成 (R04 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
プラスチック	0.60	8.1	218
発泡スチロール	0.04	2.1	75
天然繊維、革	0.00	0.0	0
ガラス、陶器	0.00	0.0	0
金属	0.01	0.2	8
紙、ダンボール	0.00	0.0	0
ゴム	0.41	8.0	1
木・木材系	1.58	4.9	39
電化製品、電子機器	0.00	0.0	0
その他	0.03	0.5	18
合計	2.68	23.7	359

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

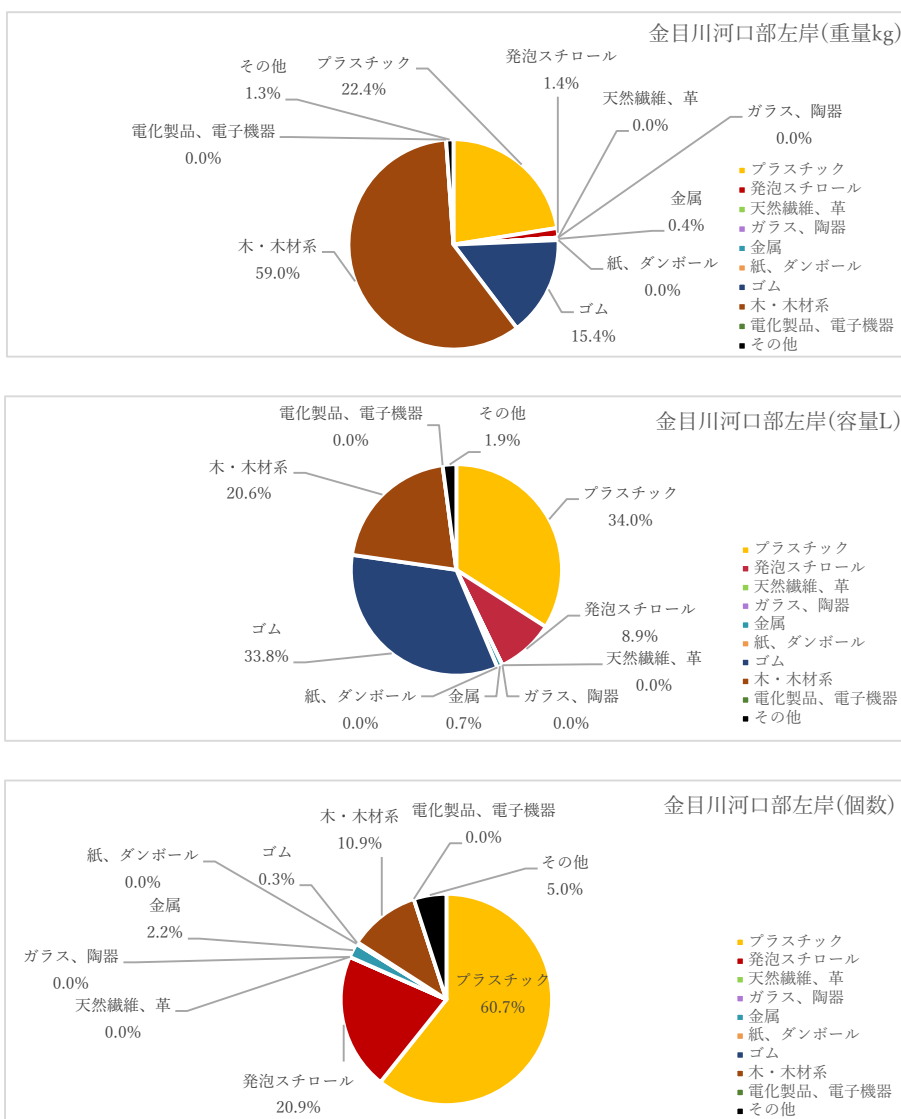


図 2. 3-3 (4) 人工物の大分類別の組成 (R04 年度調査)

表 2. 3-2 (5) 人工物の大分類別の組成 (R03 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
プラスチック	1.36	35.3	358
発泡スチロール	0.03	1.2	8
天然繊維、革	0.00	0.0	0
ガラス、陶器	0.10	0.3	1
金属	0.18	0.7	5
紙、ダンボール	0.00	0.0	0
ゴム	0.07	0.3	2
木・木材系	0.84	4.0	8
電化製品、電子機器	0.00	0.0	0
その他	0.05	0.4	8
合計	2.62	42.0	390

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

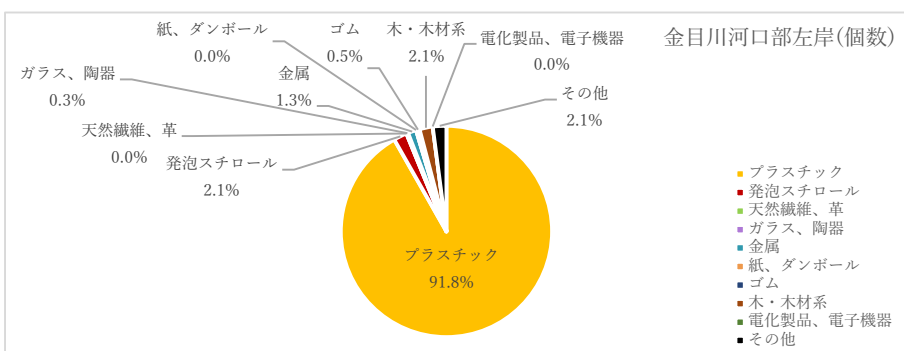
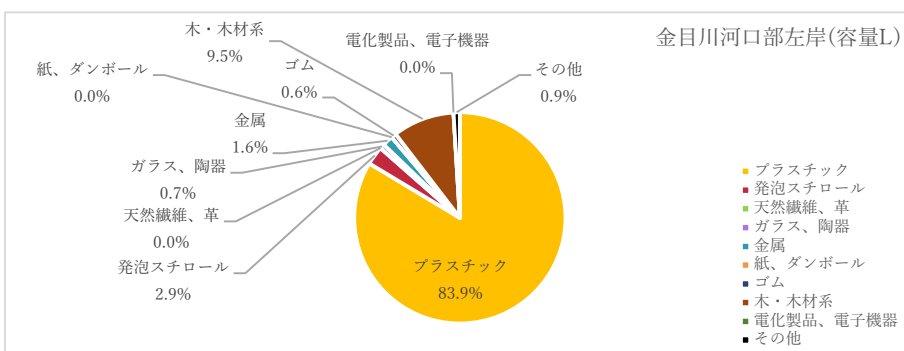
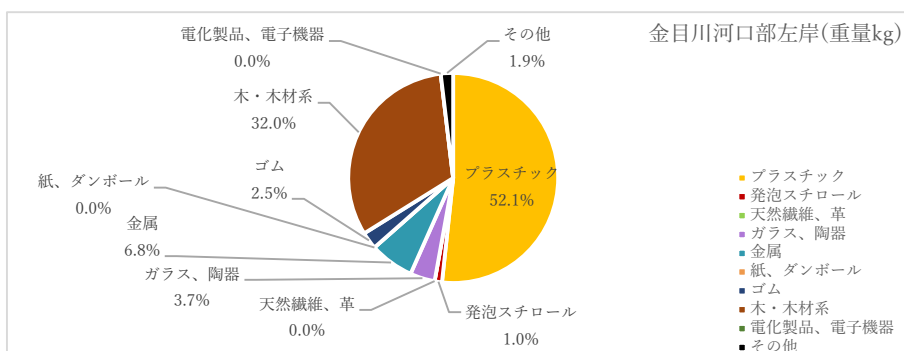


図 2. 3-3 (5) 人工物の大分類別の組成 (R03 年度調査)

表 2. 3-2(6) 人工物の大分類別の組成 (R02 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
プラスチック	0.07	1.3	11
発泡スチロール	0.01	0.2	2
天然繊維、革	0.00	0.0	1
ガラス、陶器	0.10	0.1	1
金属	0.01	0.1	3
紙、ダンボール	0.00	0.0	0
ゴム	0.00	0.0	0
木・木材系	0.03	0.1	2
電化製品、電子機器	0.00	0.0	0
その他	0.00	0.1	1
合計	0.23	1.7	21

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

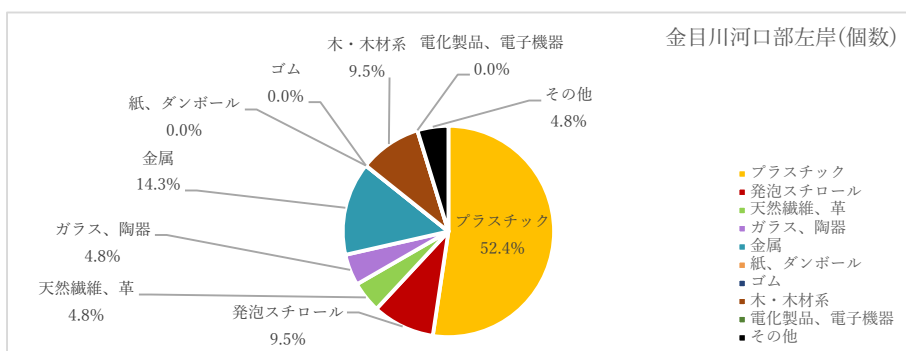
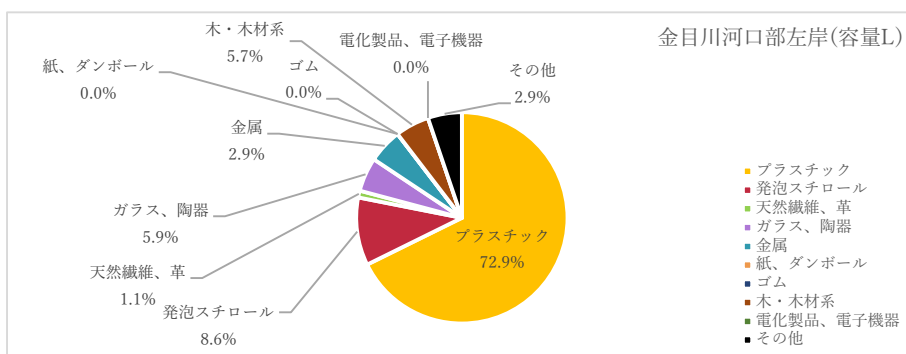
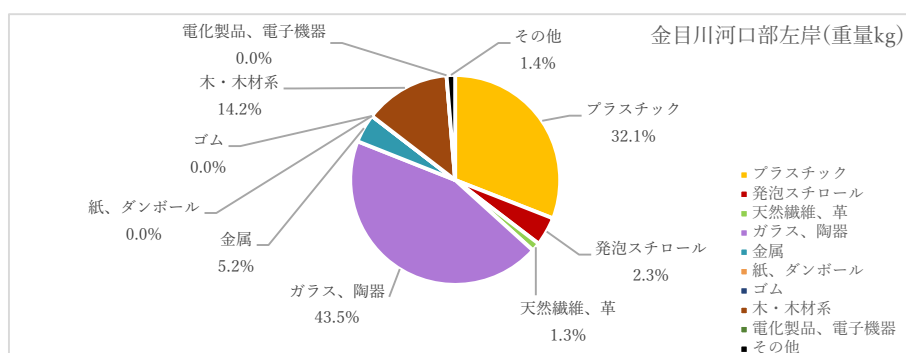


図 2. 3-3(6) 人工物の大分類別の組成 (R02 年度調査)

表 2.3-2(7) 人工物の大分類別の組成 (R01 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
プラスチック	0.64	6.5	94
発泡スチロール	0.04	3.1	32
天然繊維、革	0.00	0.0	0
ガラス、陶器	0.00	0.0	1
金属	0.16	1.0	10
紙、ダンボール	0.00	0.2	1
ゴム	0.11	0.7	2
木・木材系	0.62	3.0	10
電化製品、電子機器	0.00	0.0	0
その他	0.00	0.0	0
合計	1.57	14.5	150

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

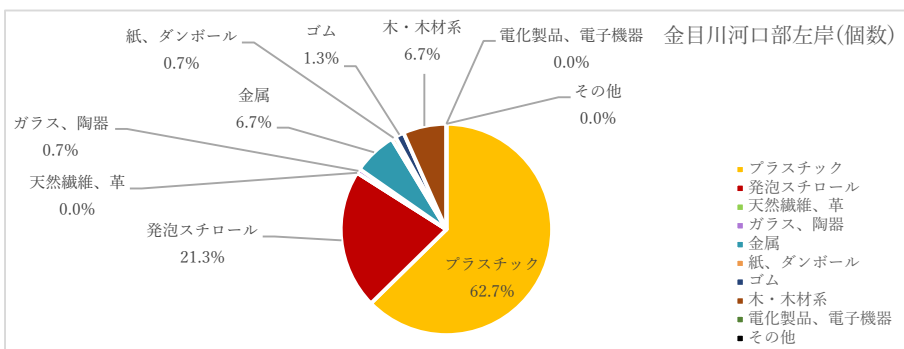
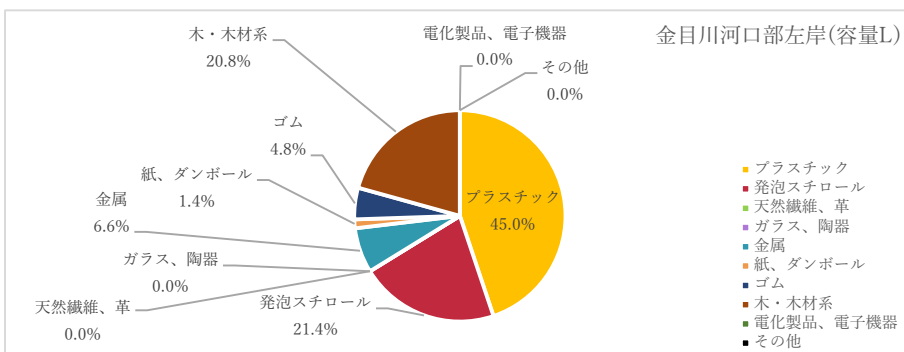
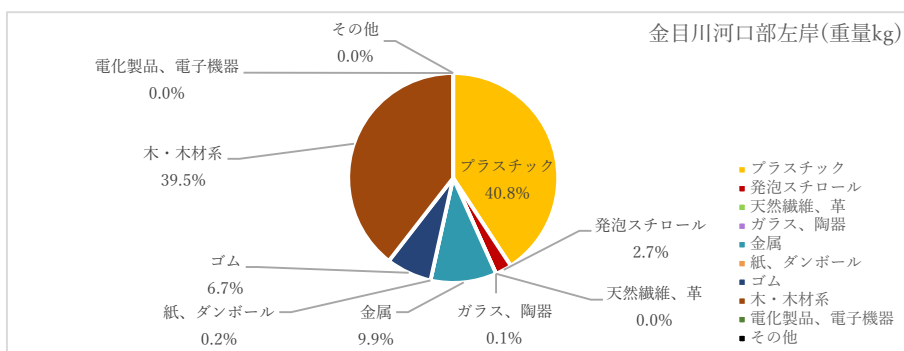


図 2.3-3(7) 人工物の大分類別の組成 (R01 年度調査)

表 2.3-3(1) プラスチックの容器包装等の組成 (R07 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
容器包装	0.05	1.2	23
製品	0.04	0.6	15
漁具	0.01	0.5	1
その他	0.10	1.9	1
合計	0.20	4.2	40

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

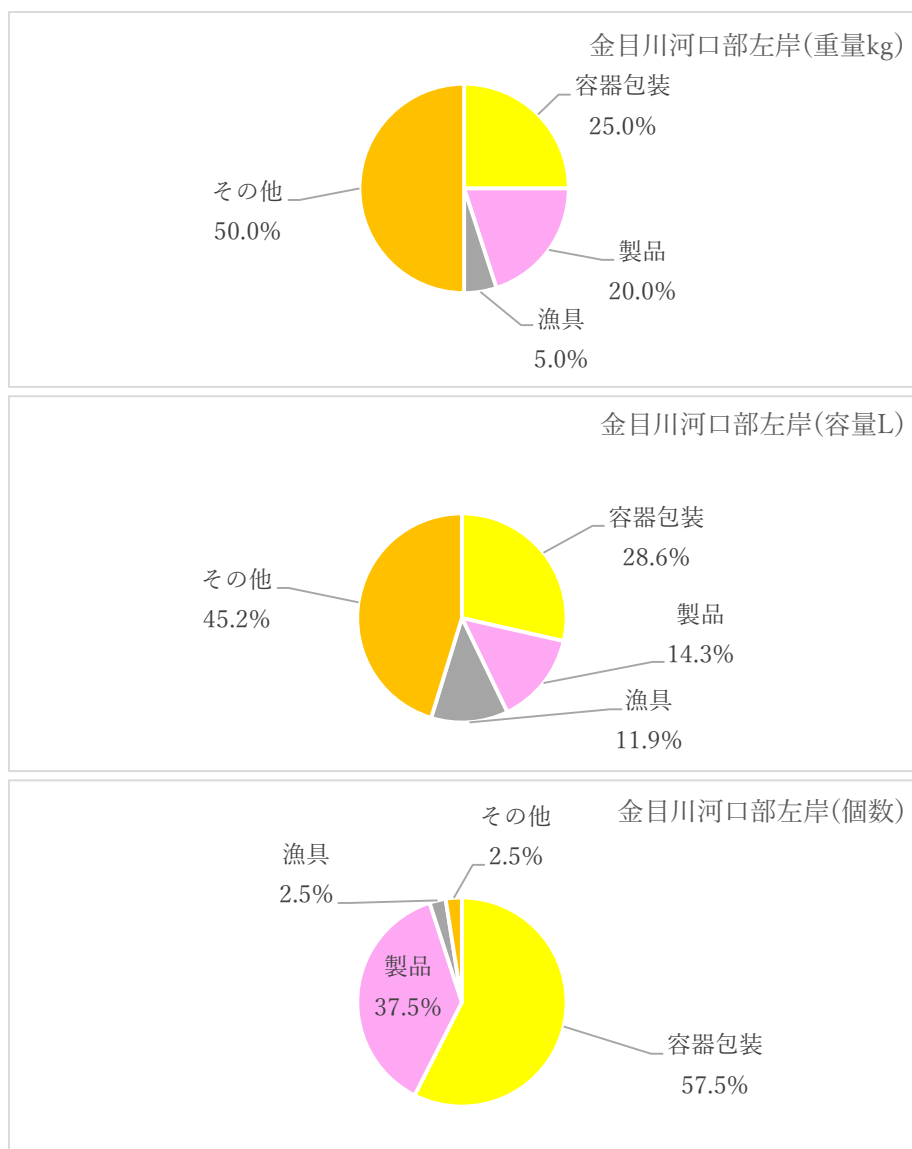


図 2.3-4(1) プラスチックの容器包装等の組成 (R07 年度調査)

表 2. 3-3 (2) プラスチックの容器包装等の組成 (R06 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
容器包装	0.13	3.4	217
製品	0.52	6.1	138
漁具	0.01	0.1	5
合計	0.66	9.6	360

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

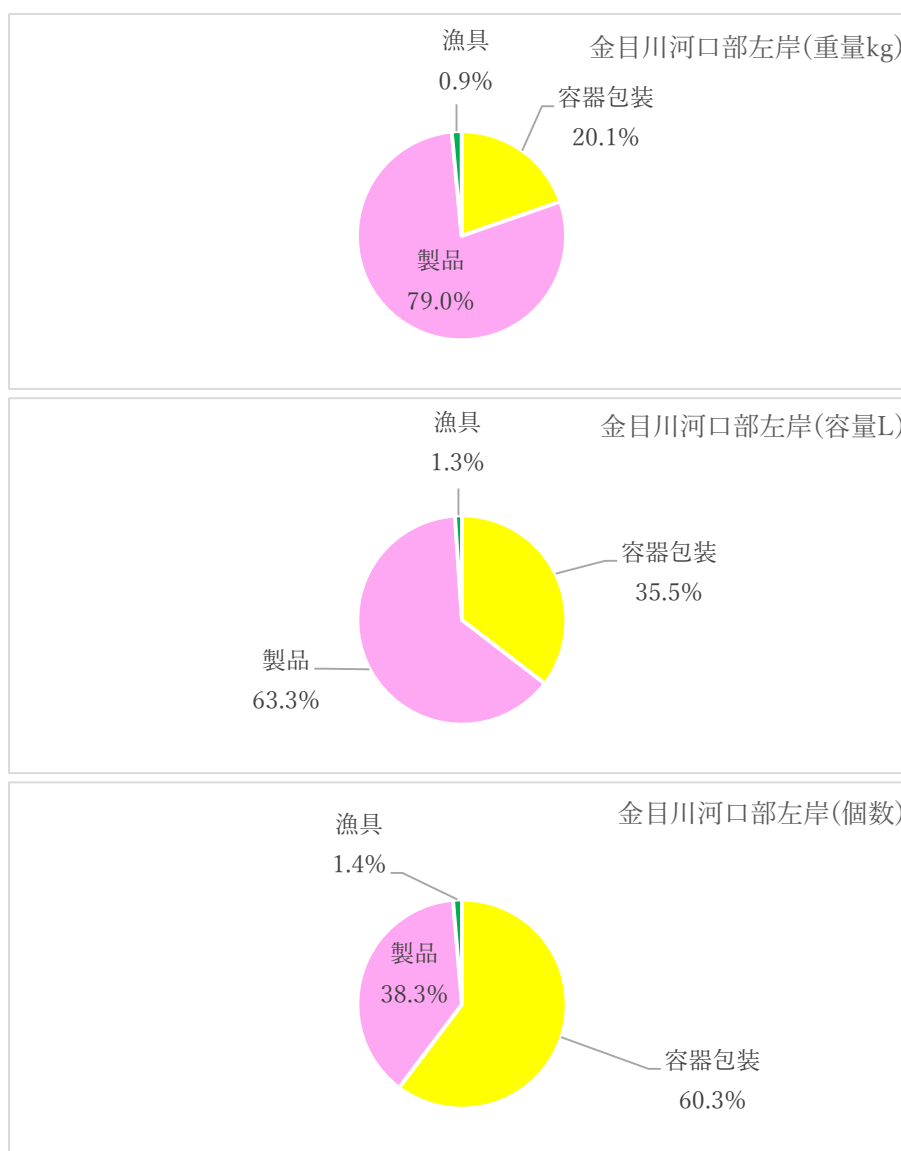


図 2. 3-4 (2) プラスチックの容器包装等の組成 (R06 年度調査)

表 2. 3-3 (3) プラスチックの容器包装等の組成 (R05 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
容器包装	0.07	1.9	57
製品	0.39	6.6	152
漁具	0.00	0.0	1
合計	0.46	8.4	210

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

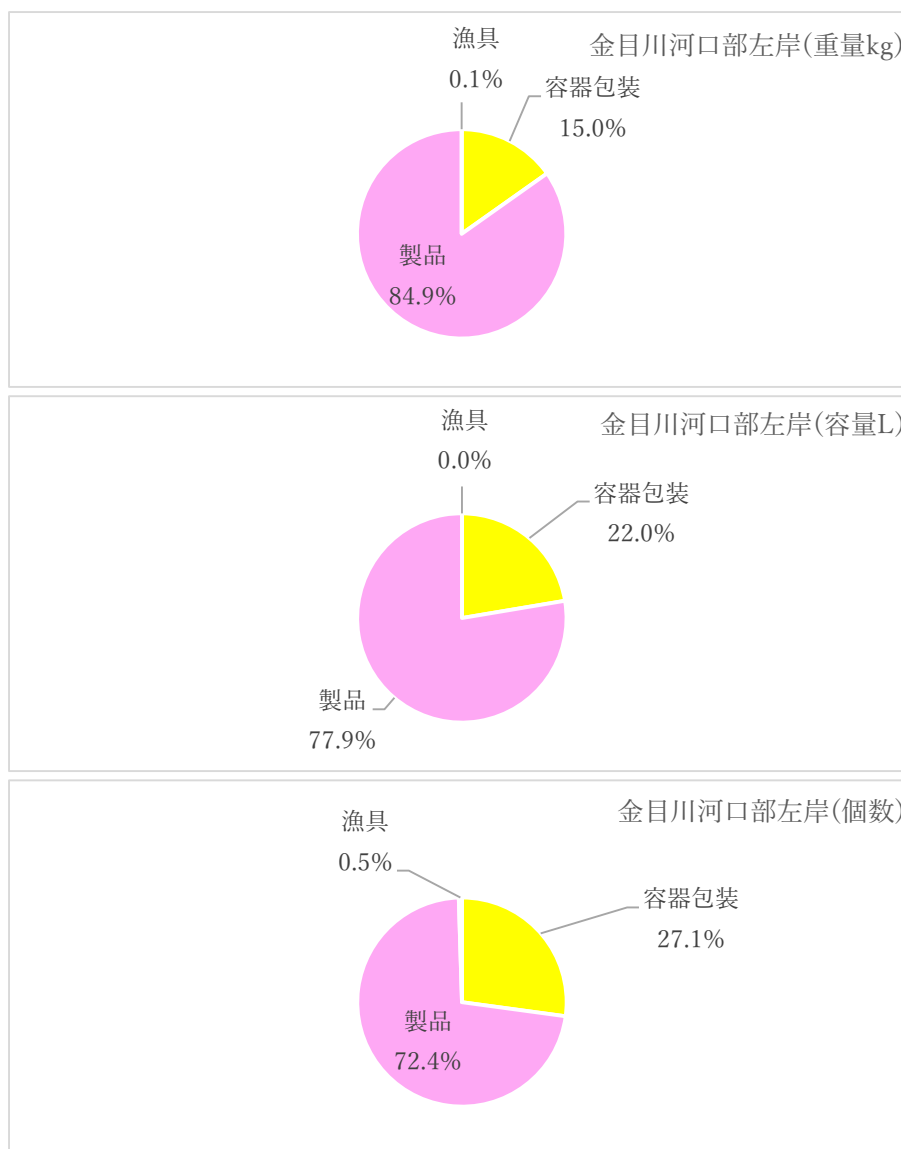


図 2. 3-4 (3) プラスチックの容器包装等の組成 (R05 年度調査)

表 2.3-3(4) プラスチックの容器包装等の組成 (R04 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
容器包装	0.12	2.9	135
製品	0.52	7.3	154
漁具	0.00	0.0	4
合計	0.64	10.2	293

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

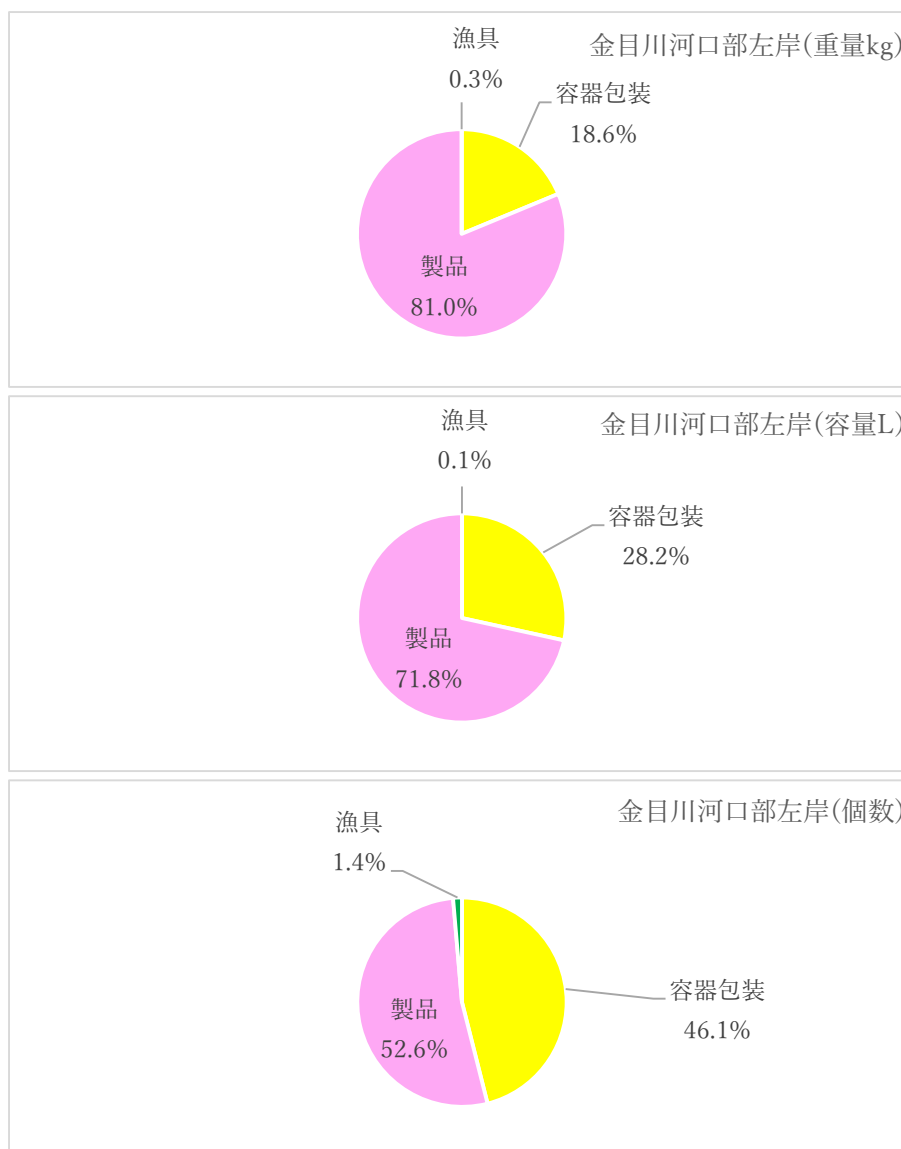


図 2.3-4(4) プラスチックの容器包装等の組成 (R04 年度調査)

表 2.3-3(5) プラスチックの容器包装等の組成 (R03 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
容器包装	0.27	11.0	145
製品	1.07	25.3	213
漁具	0.05	0.1	8
合計	1.39	36.5	366

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

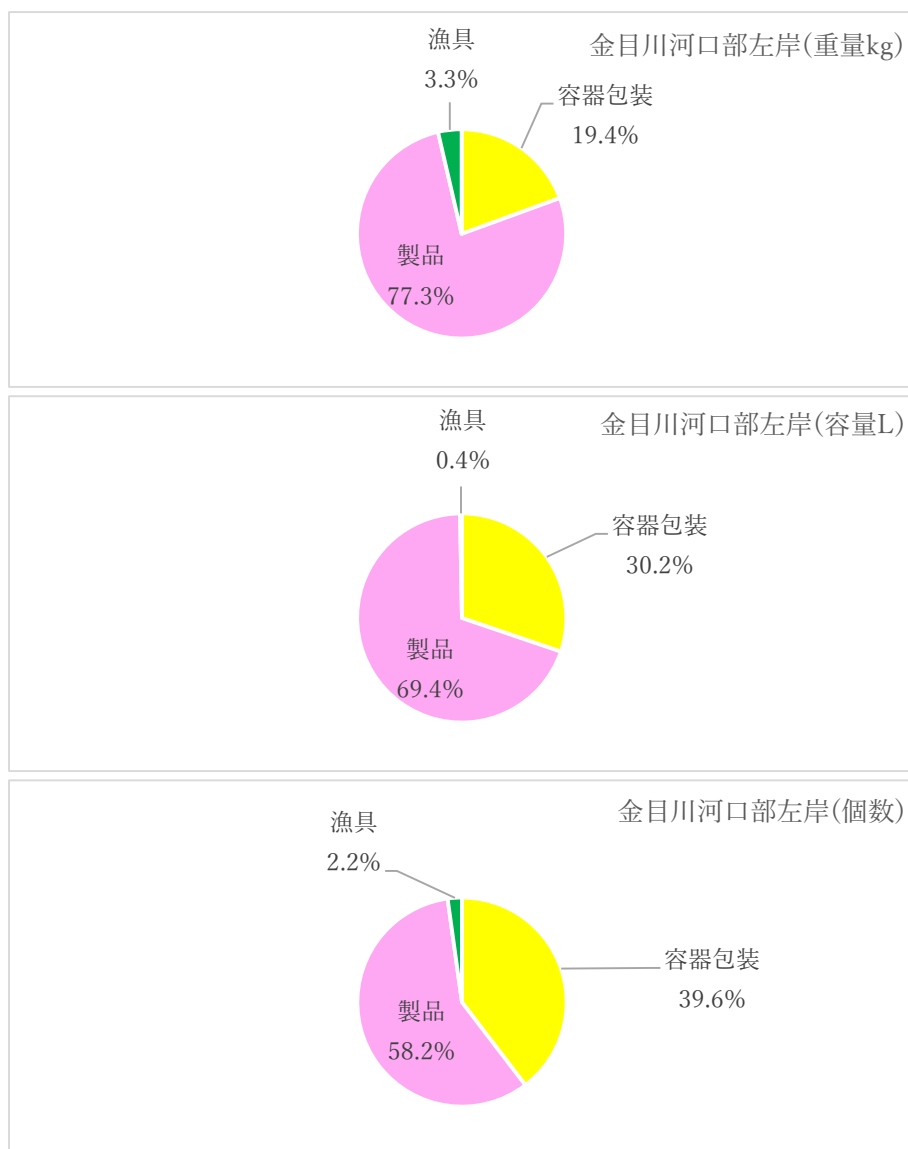


図 2.3-4(5) プラスチックの容器包装等の組成 (R03 年度調査)

表 2. 3-3 (6) プラスチックの容器包装等の組成 (R02 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
容器包装	0.05	1.2	6
製品	0.03	0.2	5
漁具	0.00	0.1	2
合計	0.08	1.4	13

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

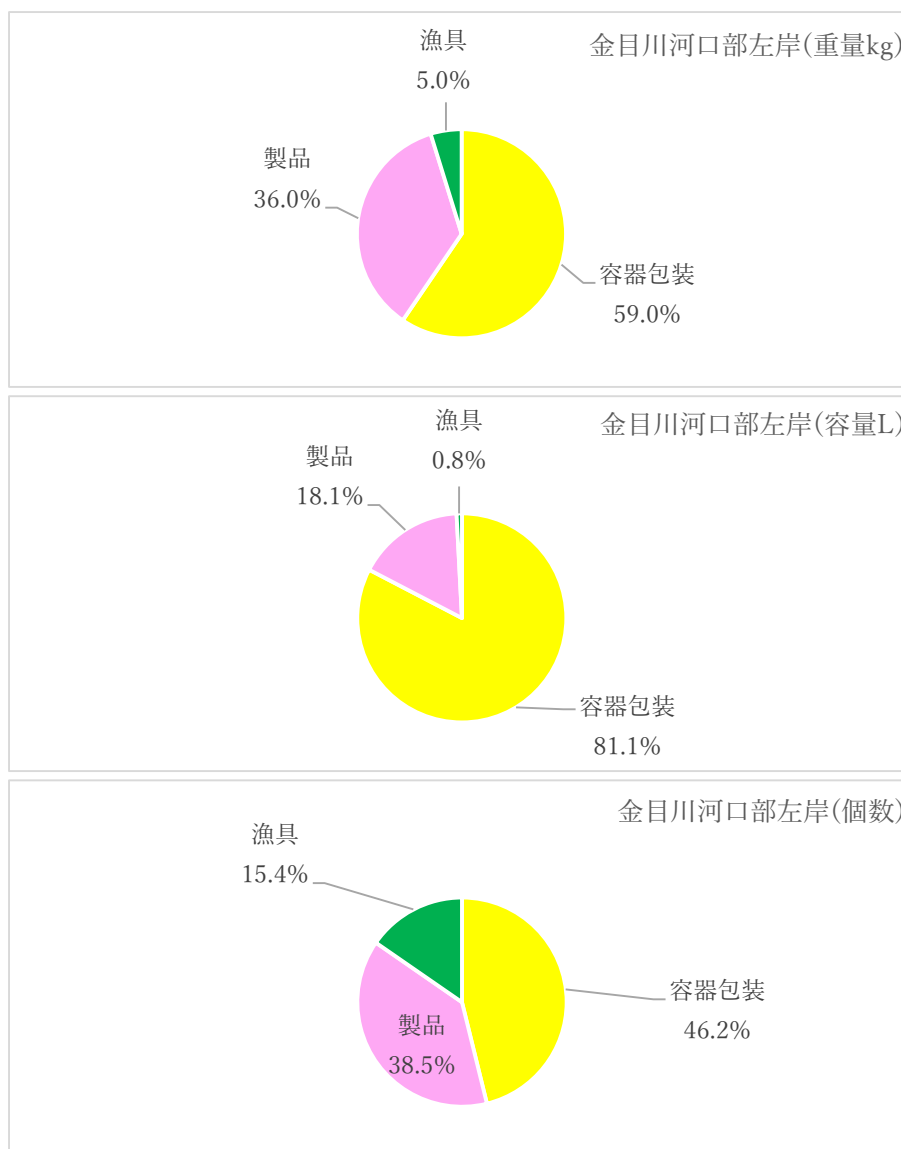


図 2. 3-4 (6) プラスチックの容器包装等の組成 (R02 年度調査)

表 2.3-3(7) プラスチックの容器包装等の組成 (R01 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
容器包装	0.10	5.2	58
製品	0.42	4.1	64
漁具	0.16	0.4	4
合計	0.68	9.6	126

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

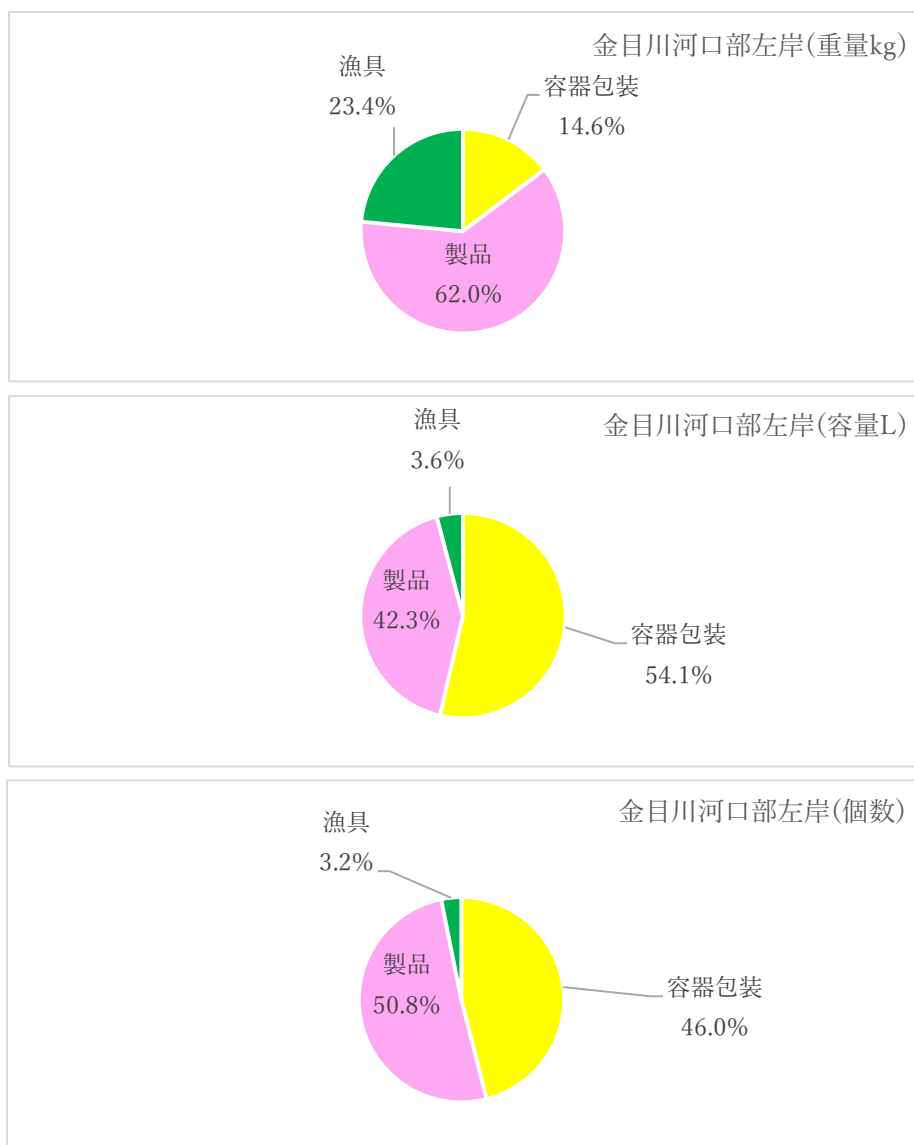


図 2.3-4(7) プラスチックの容器包装等の組成 (R01 年度調査)

2.3.2 発生源の推定

特定できたペットボトル等の製造国は、表 2.3-4 に示す。

本年度調査では、ペットボトルのキャップは日本3個、不明2個であった。

これまでの調査で特定できた製造国は、不明を除いて日本だけであった。

表 2.3-4 製造国の特定結果

	ペットボトル		ペットボトルのキャップ		漁業用の浮子	
	本年度調査	R2～R7 の合計	本年度調査	R2～R7 の合計	本年度調査	R2～R7 の合計
日本	0	2	3	21	0	0
中国・台湾	0	0	0	0	0	0
韓国	0	0	0	0	0	0
英語	0	0	0	0	0	0
不明	0	1	2	16	0	3
合計	0	3	5	37	0	3

2.4 酒匂川河口部右岸（小田原市）

2.4.1 組成調査

(1) 現地の状況等

酒匂川河口部右岸（小田原市）での状況写真は、図 2.4-1 に示す。

本海岸での清掃は比較的ゆきとどいており、漂着ごみはほとんど見られなかった。主に波打ち際から海岸奥側に破片状の灌木が分布していた。その大きさから通常の清掃での回収の対象となっていないものと思われた。その内側や下側に、主に小さなプラスチック類が散在しており、これらが、今回の主な回収物である。

過年度調査は R01～R06 である。



図 2.4-1 酒匂川河口部右岸（小田原市）での状況写真

(2) 3分類別の組成

3分類別の組成は、表 2.4-1、図 2.4-2 に示す。

本年度調査で回収された漂着ごみは、重量 19.66kg、容量 156.3L、個数 33 個であった。3分類別の組成は、重量、容量、ともに自然物がそれぞれ 58.4%、76.8%と最も多かった。個数は人工物（漁具を除く）が 100.0%と最も多かった。なお、灌木の個数は、環境省ガイドラインに従って本調査では計数していない。

過年度調査（R01～R06）で回収された漂着ごみは、本年度調査の重量で 1.5～95.6 倍で、容量で 0.5～36.6 倍、個数で 1.1～12.2 倍だった。

(3) 人工物の大分類別の組成

人工物の大分類別の組成は、表 2.4-2、図 2.4-3 示す。

本年度調査での人工物の大分類別の組成は、重量は、ガラス、陶器が 57.5%と最も多かった。容量はプラスチックが 34.4%と最も多かった。個数はプラスチックとゴムがそれぞれ 27.3%と最も多かった。

これら多かった品目は、プラスチックでは生活雑貨（歯ブラシ等）、ゴムでは靴（サンダル、靴底含む）であった。

過年度調査（R01～R06）での人工物は、本年度調査の重量で 0.1～4.6 倍で、容量で 0.1～5.8 倍、個数で 1.0～11.7 倍だった。

(4) プラスチックの容器包装等の組成

プラスチックの容器包装等の組成は、表 2.4-3、図 2.4-4 に示す。

本年度調査でのプラスチックの容器包装等の組成は、重量はその他が 45.7%と最も多かった。容量は製品が 49.2%と最も多かった。個数は容器包装と製品がそれぞれ 50.0%ずつだった。

これら多かった品目は、その他では硬質プラスチック破片、製品では生活雑貨（歯ブラシ等）であった。

過年度調査（R01～R06）でのプラスチックの容器包装等は、本年度調査の重量で 0.04～3.7 倍で、容量で 0.1～8.4 倍、個数で 1.8～22.2 倍だった。

表 2.4-1(1) 3分類別の組成 (R07 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
人工物 (漁具を除く)	8.17	36.3	33
漁具	0.00	0.0	0
自然物	11.49	120.0	0
合計	19.66	156.3	33

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

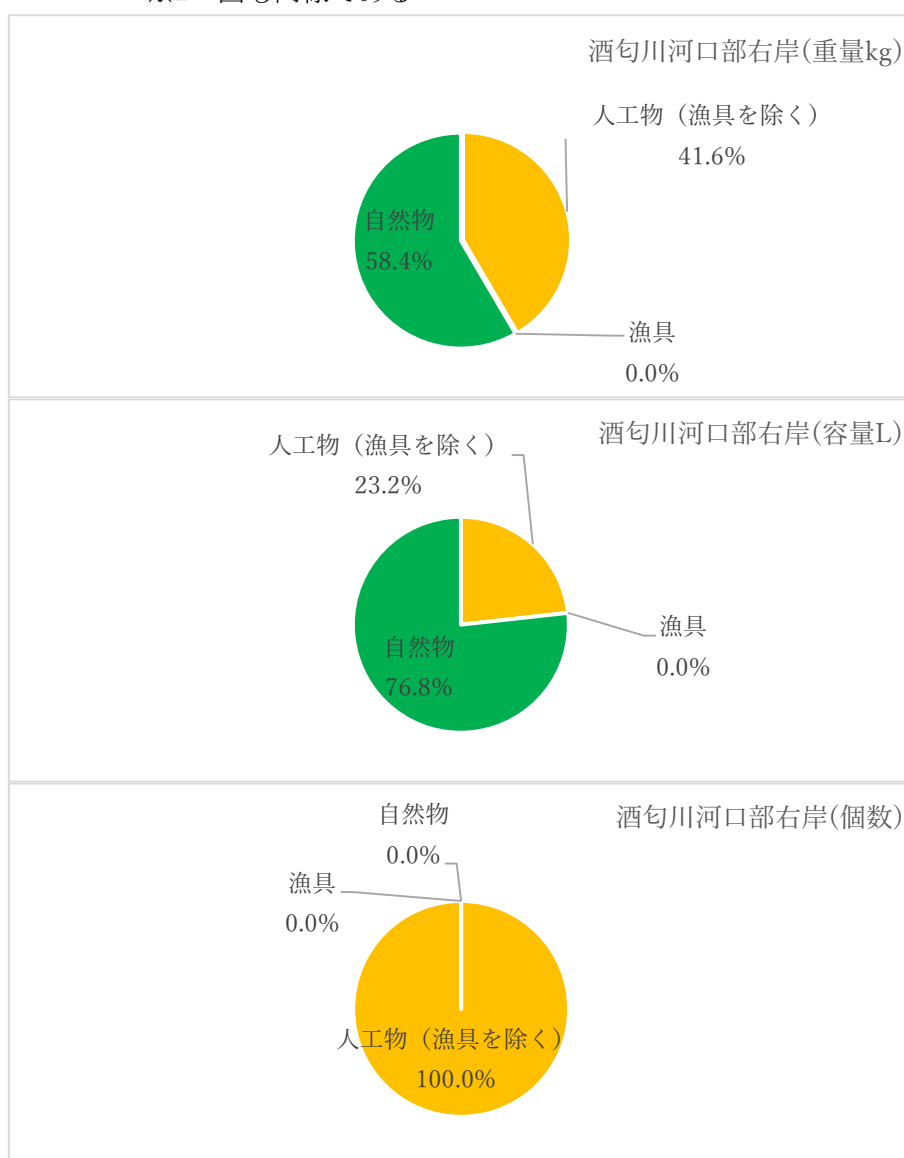


図 2.4-2(1) 3分類別の組成 (R07 年度調査)

表 2.4-1(2) 3分類別の組成 (R06 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
人工物 (漁具を除く)	0.86	5.5	50
漁具	0.01	0.0	1
自然物	45.97	452.5	16
合計	46.84	458.0	67

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

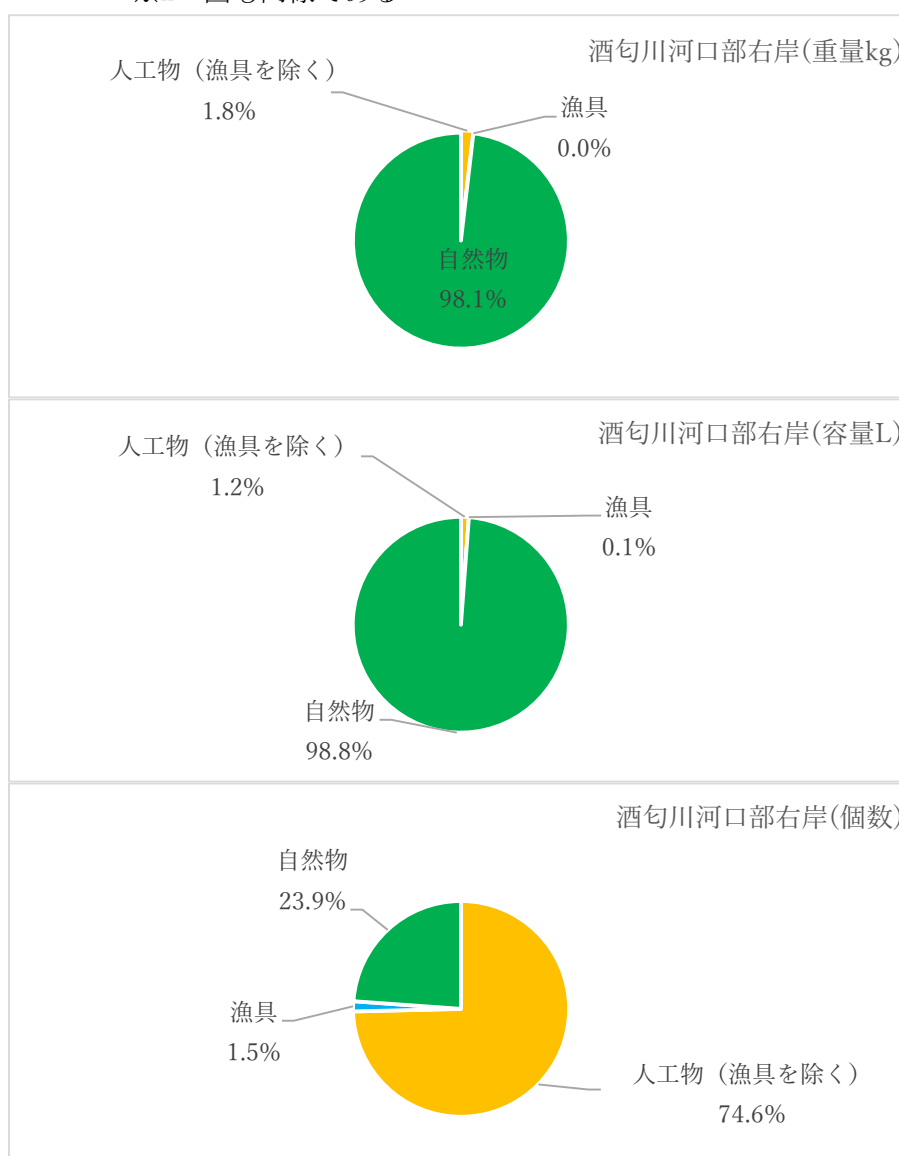


図 2.4-2(2) 3分類別の組成 (R06 年度調査)

表 2.4-1(3) 3分類別の組成 (R05 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
人工物 (漁具を除く)	0.76	2.0	33
漁具	0.00	0.1	1
自然物	28.79	78.0	1
合計	29.55	80.1	35

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

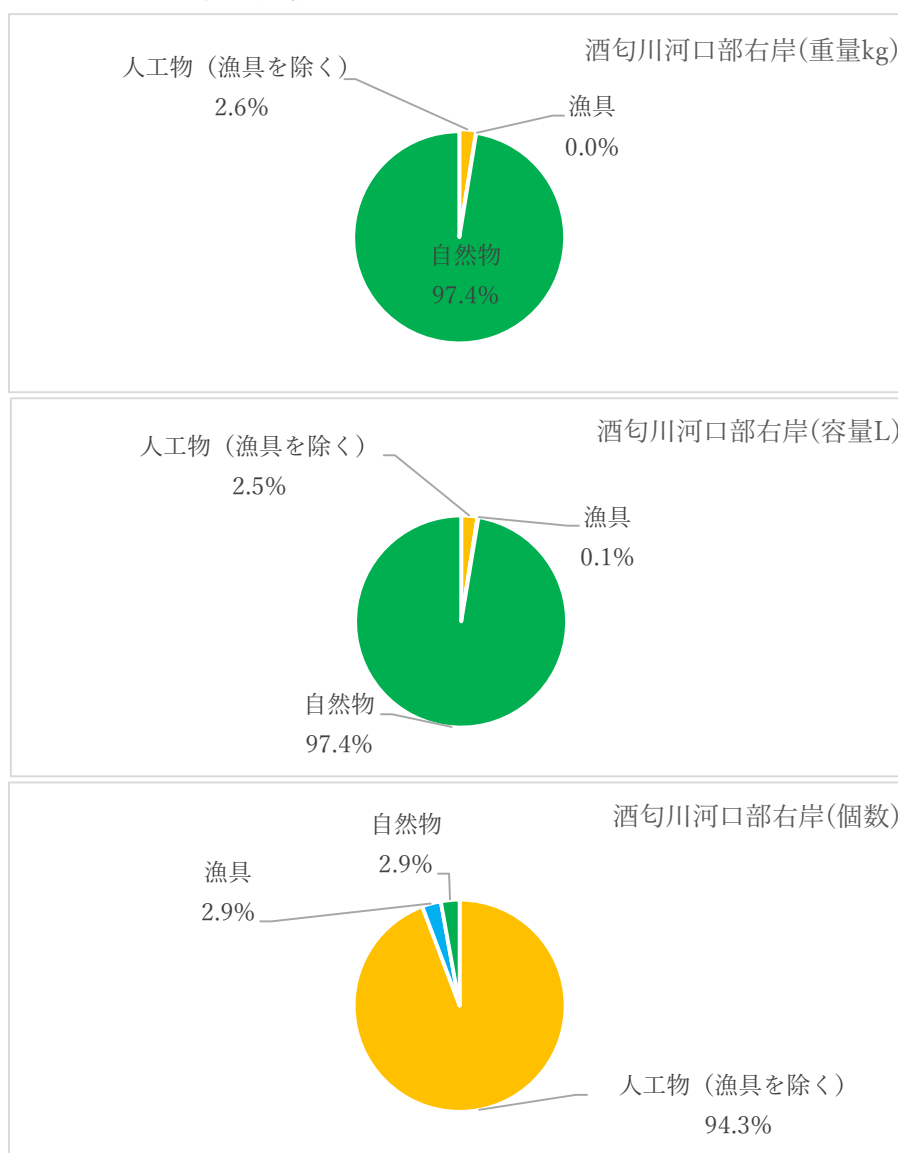


図 2.4-2(3) 3分類別の組成 (R05 年度調査)

表 2. 4-1 (4) 3 分類別の組成 (R04 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
人工物 (漁具を除く)	11.48	67.8	189
漁具	0.02	0.0	1
自然物	18.68	220.0	2
合計	30.18	287.8	192

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

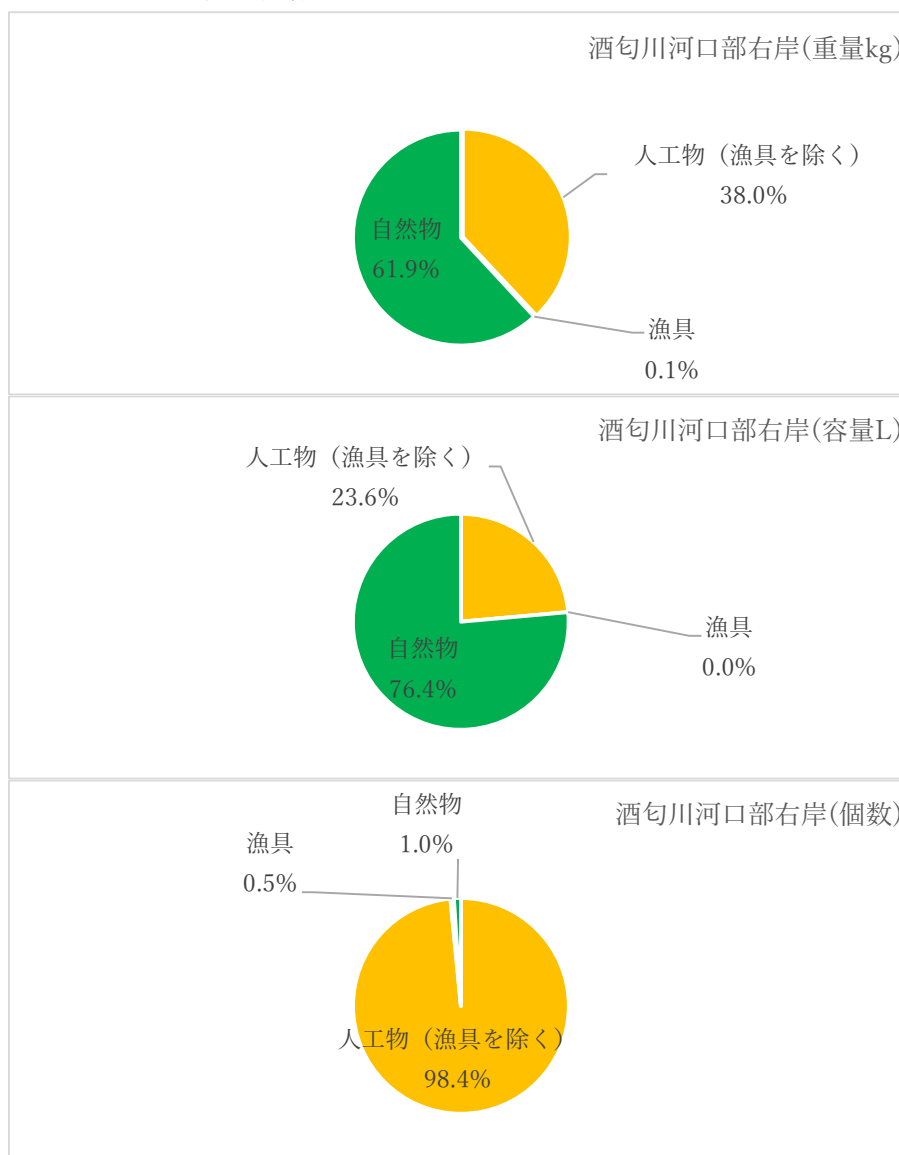


図 2. 4-2 (4) 3 分類別の組成 (R04 年度調査)

表 2. 4-1 (5) 3 分類別の組成 (R03 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
人工物 (漁具を除く)	37.26	196.5	383
漁具	0.07	0.1	4
自然物	297.30	1,282.5	16
合計	334.63	1,479.1	403

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

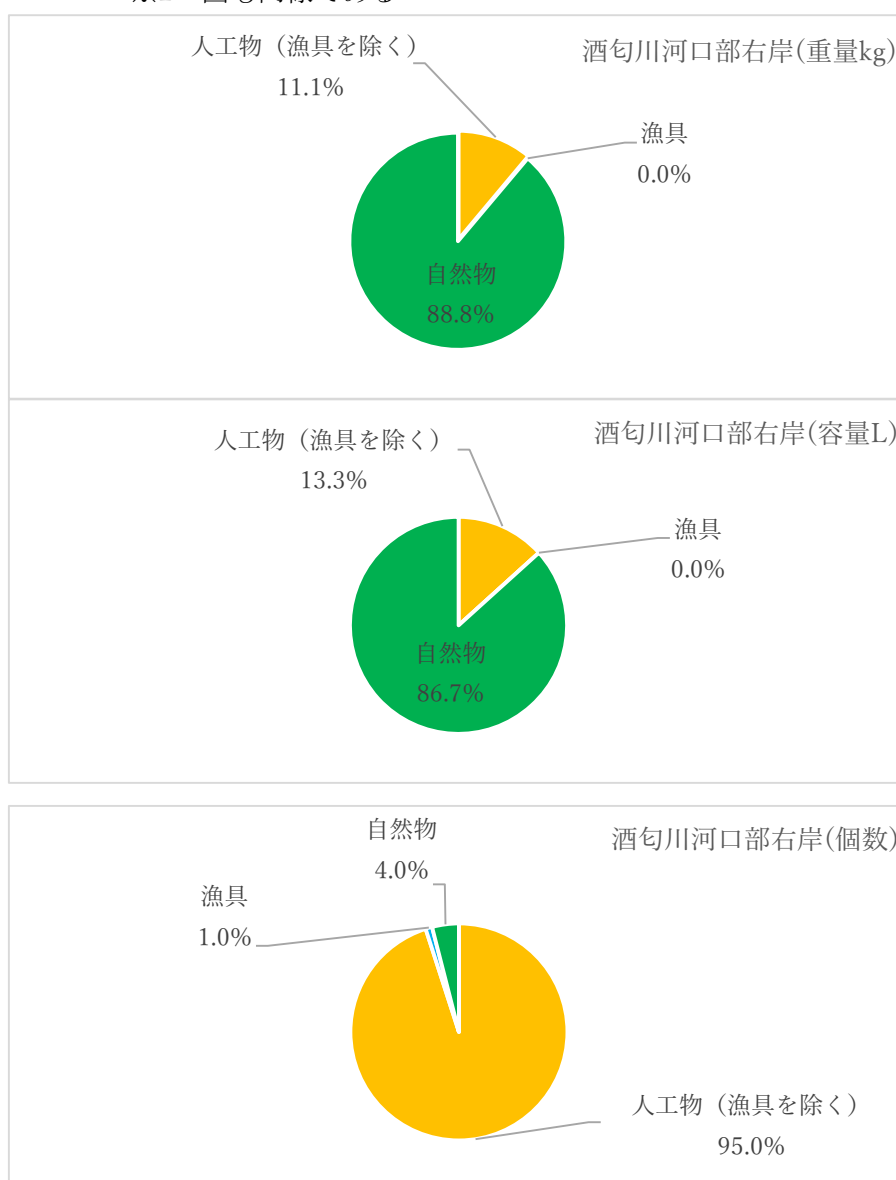


図 2. 4-2 (5) 3 分類別の組成 (R03 年度調査)

表 2.4-1(6) 3分類別の組成 (R02 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
人工物 (漁具を除く)	30.99	209.4	113
漁具	0.01	0.1	3
自然物	1,847.91	5,517.0	11
合計	1,878.91	5,726.5	127

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

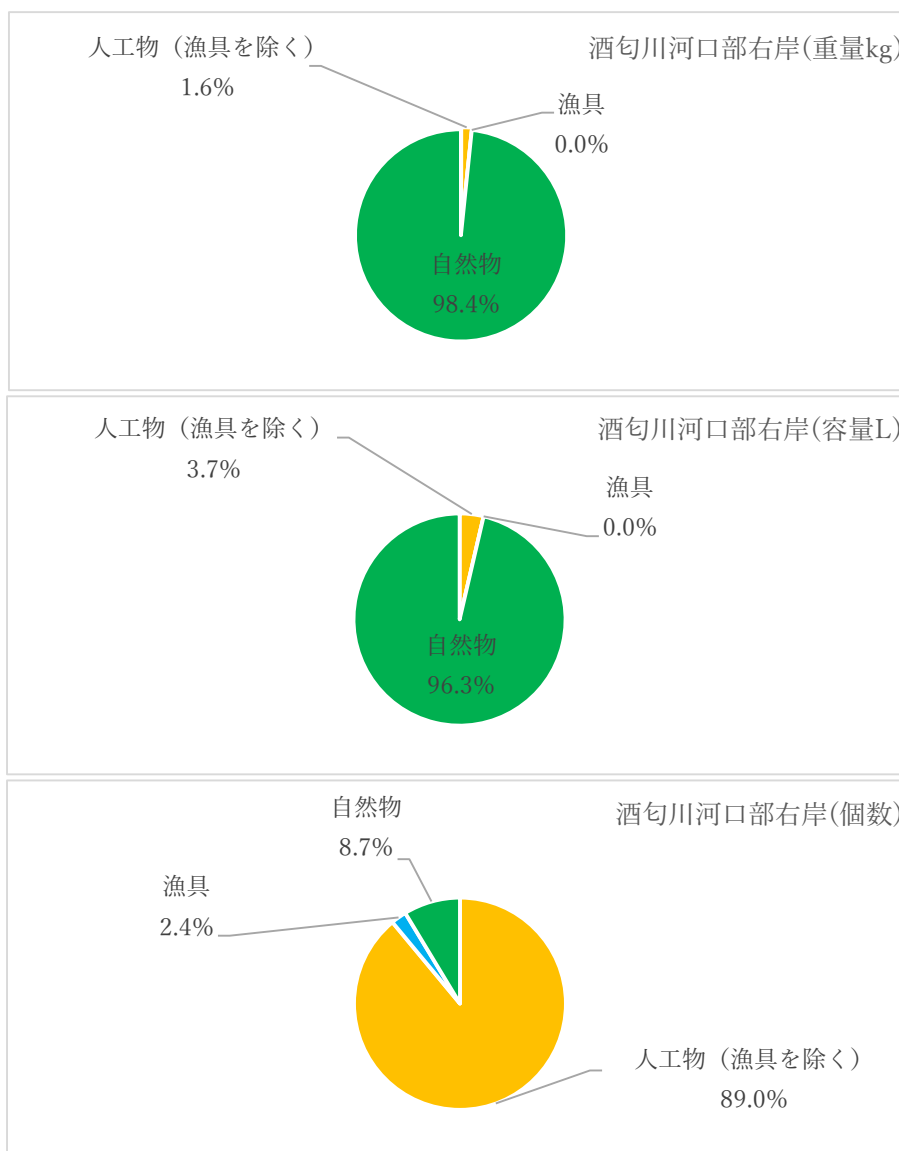


図 2.4-2(6) 3分類別の組成 (R02 年度調査)

表 2.4-1(7) 3分類別の組成 (R01 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
人工物 (漁具を除く)	2.16	29.6	48
漁具	0.01	0.1	3
自然物	1209.90	2,933.0	15
合計	1212.06	2,962.7	66

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

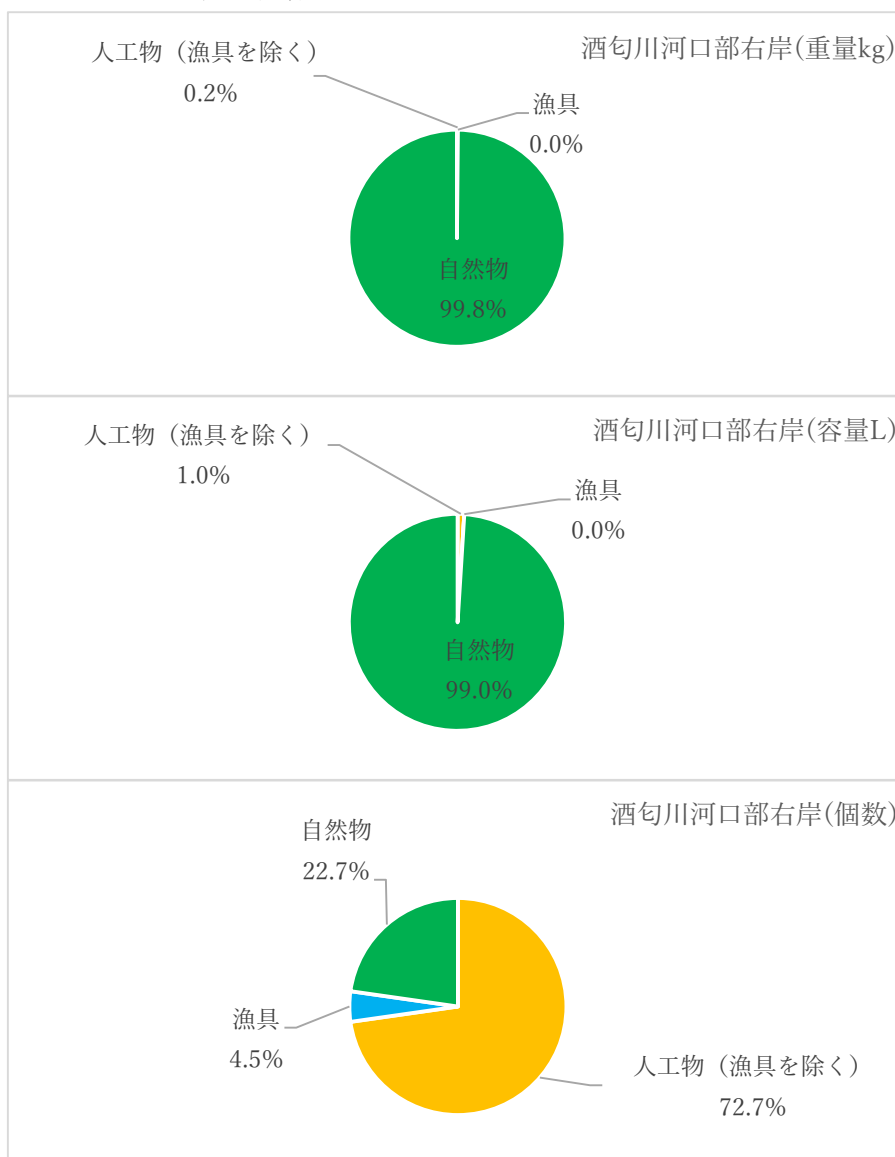


図 2.4-2(7) 3分類別の組成 (R01 年度調査)

表 2.4-2(1) 人工物の大分類別の組成 (R07 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
プラスチック	1.63	12.5	9
発泡スチロール	0.01	0.3	3
天然繊維、革	0.05	0.5	1
ガラス、陶器	4.70	6.5	2
金属	0.31	3.2	5
紙、ダンボール	0.00	0.0	0
ゴム	0.78	11.3	9
木・木材系	0.69	2.0	4
電化製品、電子機器	0.00	0.0	0
その他	0.00	0.0	0
人力で動かさない物	0.00	0.0	0
合計	8.17	36.3	33

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

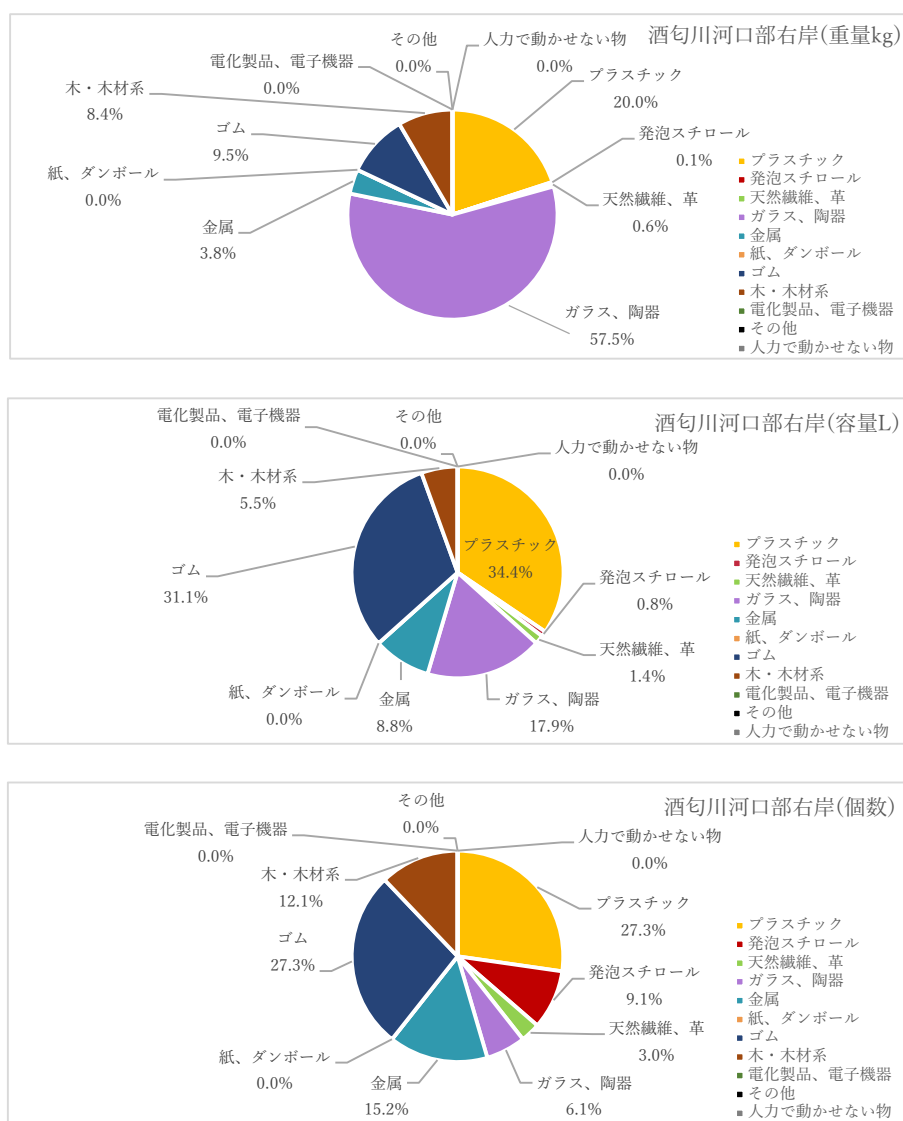


図 2.4-3(1) 人工物の大分類別の組成 (R07 年度調査)

表 2. 4-2 (2) 人工物の大分類別の組成 (R06 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
プラスチック	0.13	1.8	36
発泡スチロール	0.01	0.6	7
天然繊維、革	0.00	0.0	0
ガラス、陶器	0.00	0.0	0
金属	0.15	0.7	4
紙、ダンボール	0.16	0.5	1
ゴム	0.00	0.0	0
木・木材系	0.42	2.0	3
電化製品、電子機器	0.00	0.0	0
その他	0.00	0.0	0
合計	0.87	5.5	51

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

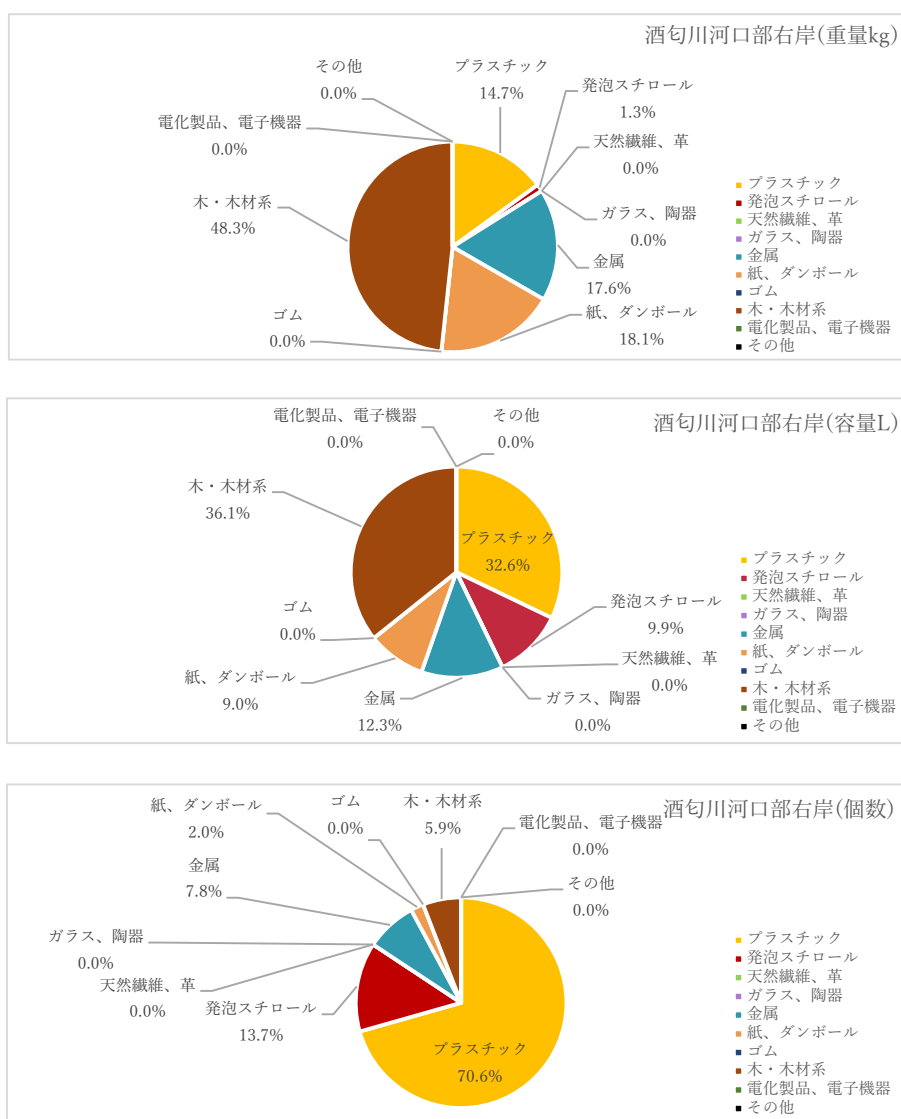


図 2. 4-3 (2) 人工物の大分類別の組成 (R06 年度調査)

表 2. 4-2 (3) 人工物の大分類別の組成 (R05 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
プラスチック	0.06	0.5	20
発泡スチロール	0.01	0.3	2
天然繊維、革	0.00	0.0	0
ガラス、陶器	0.25	0.2	0
金属	0.24	0.5	4
紙、ダンボール	0.00	0.0	0
ゴム	0.01	0.0	0
木・木材系	0.20	0.6	8
電化製品、電子機器	0.00	0.0	0
その他	0.00	0.0	0
合計	0.76	2.1	34

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

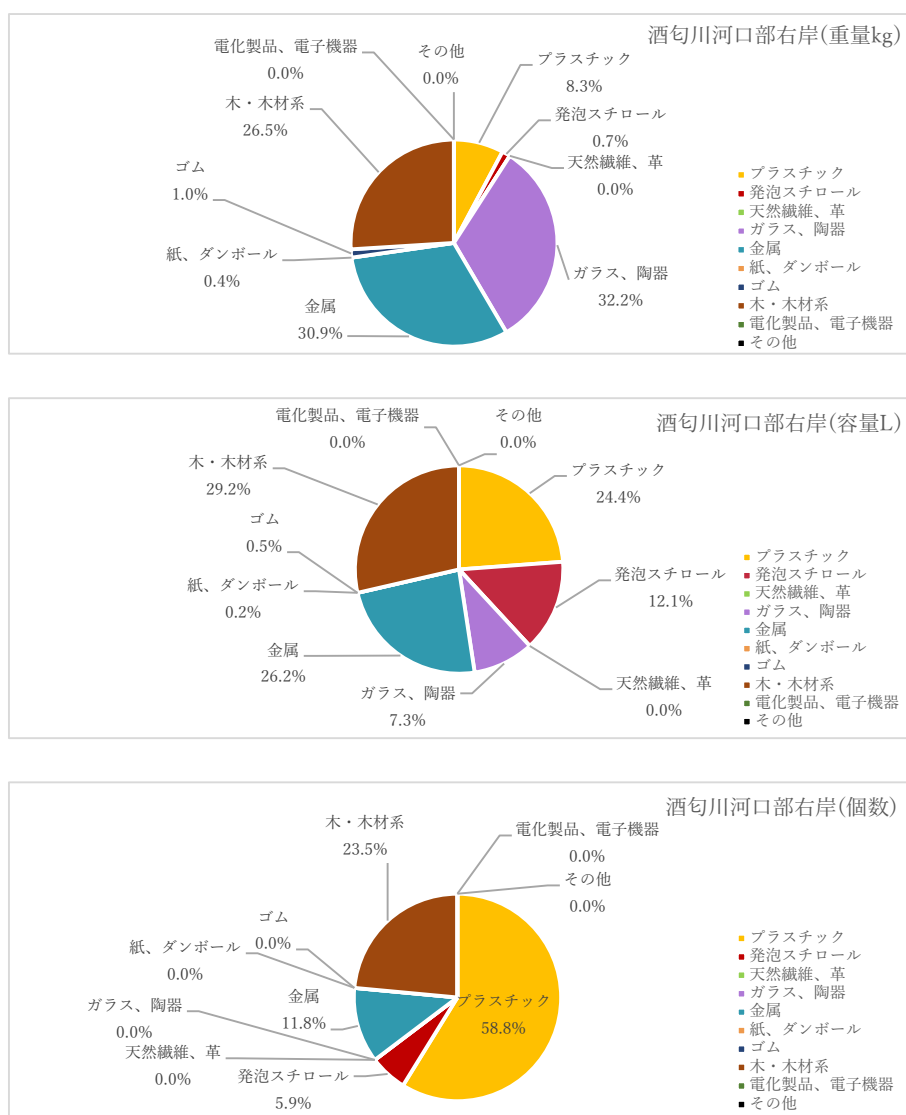


図 2. 4-3 (3) 人工物の大分類別の組成 (R05 年度調査)

表 2. 4-2 (4) 人工物の大分類別の組成 (R04 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
プラスチック	6.04	25.8	126
発泡スチロール	0.00	0.3	4
天然繊維、革	0.00	0.0	0
ガラス、陶器	0.46	0.3	2
金属	0.75	4.7	30
紙、ダンボール	0.04	0.8	5
ゴム	3.72	32.4	11
木・木材系	0.08	0.4	5
電化製品、電子機器	0.31	2.0	3
その他	0.09	1.2	4
合計	11.50	67.8	190

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

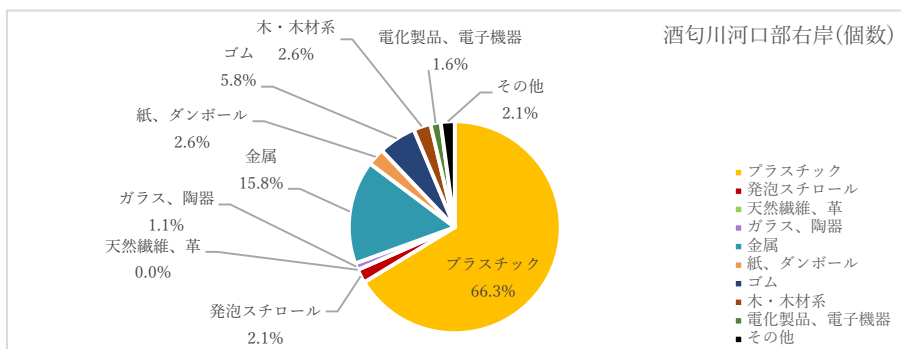
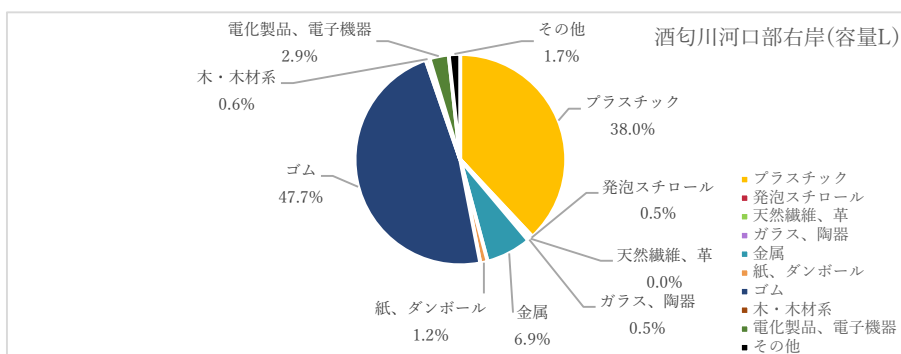
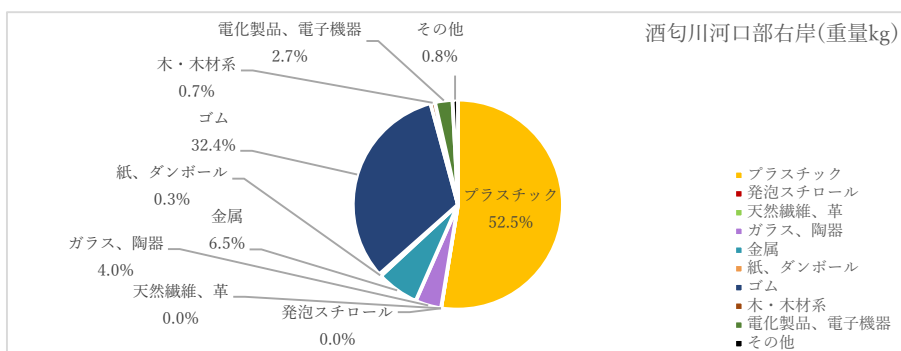


図 2. 4-3 (4) 人工物の大分類別の組成 (R04 年度調査)

表 2. 4-2 (5) 人工物の大分類別の組成 (R03 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
プラスチック	2.88	25.0	233
発泡スチロール	0.05	5.4	33
天然繊維、革	0.00	0.0	0
ガラス、陶器	0.95	0.7	1
金属	1.46	20.5	52
紙、ダンボール	0.08	1.0	29
ゴム	21.99	121.2	13
木・木材系	9.79	21.7	7
電化製品、電子機器	0.00	0.0	0
その他	0.13	1.2	19
合計	37.33	196.6	387

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

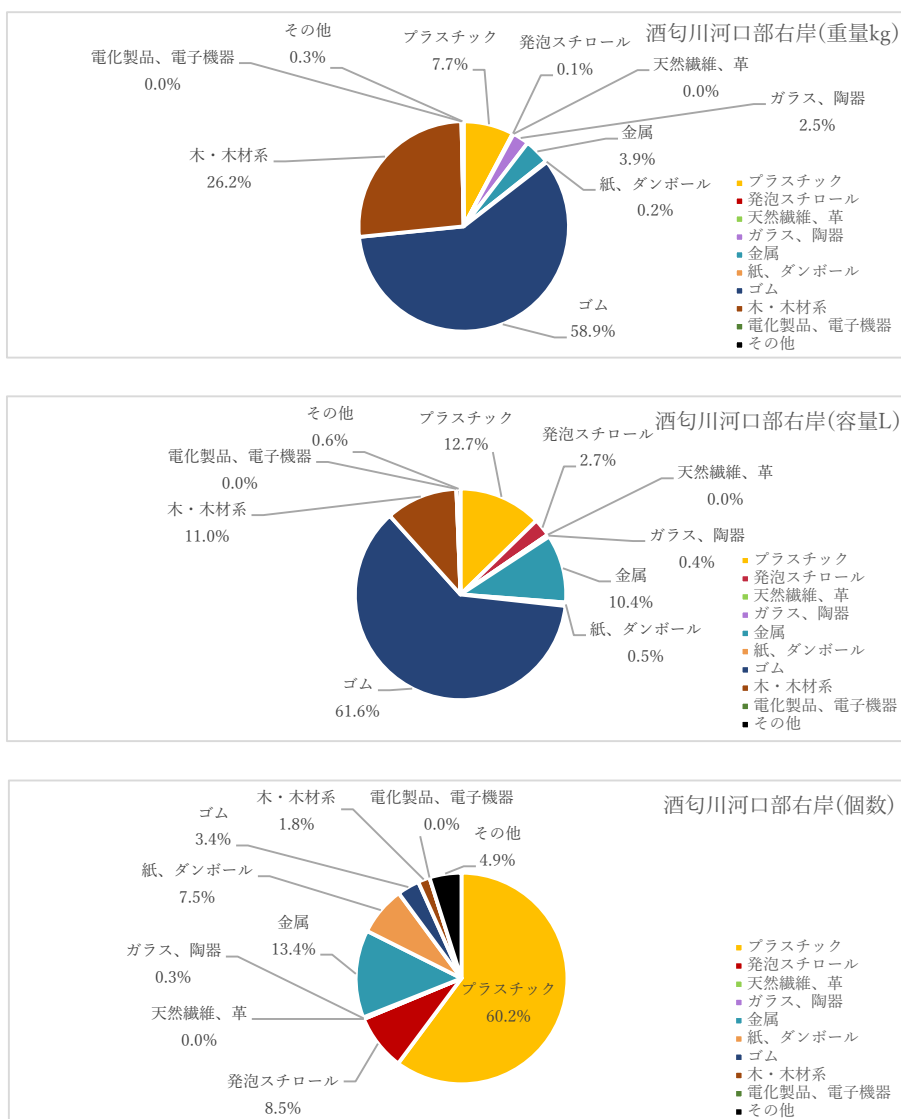


図 2. 4-3 (5) 人工物の大分類別の組成 (R03 年度調査)

表 2. 4-2 (6) 人工物の大分類別の組成 (R02 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
プラスチック	3.61	106.3	61
発泡スチロール	0.00	0.6	1
天然繊維、草	0.00	0.0	0
ガラス、陶器	0.00	0.0	0
金属	0.34	2.4	21
紙、ダンボール	0.02	1.1	5
ゴム	0.14	0.4	2
木・木材系	26.87	98.5	23
電化製品、電子機器	0.00	0.0	0
その他	0.02	0.2	3
合計	31.00	209.5	116

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

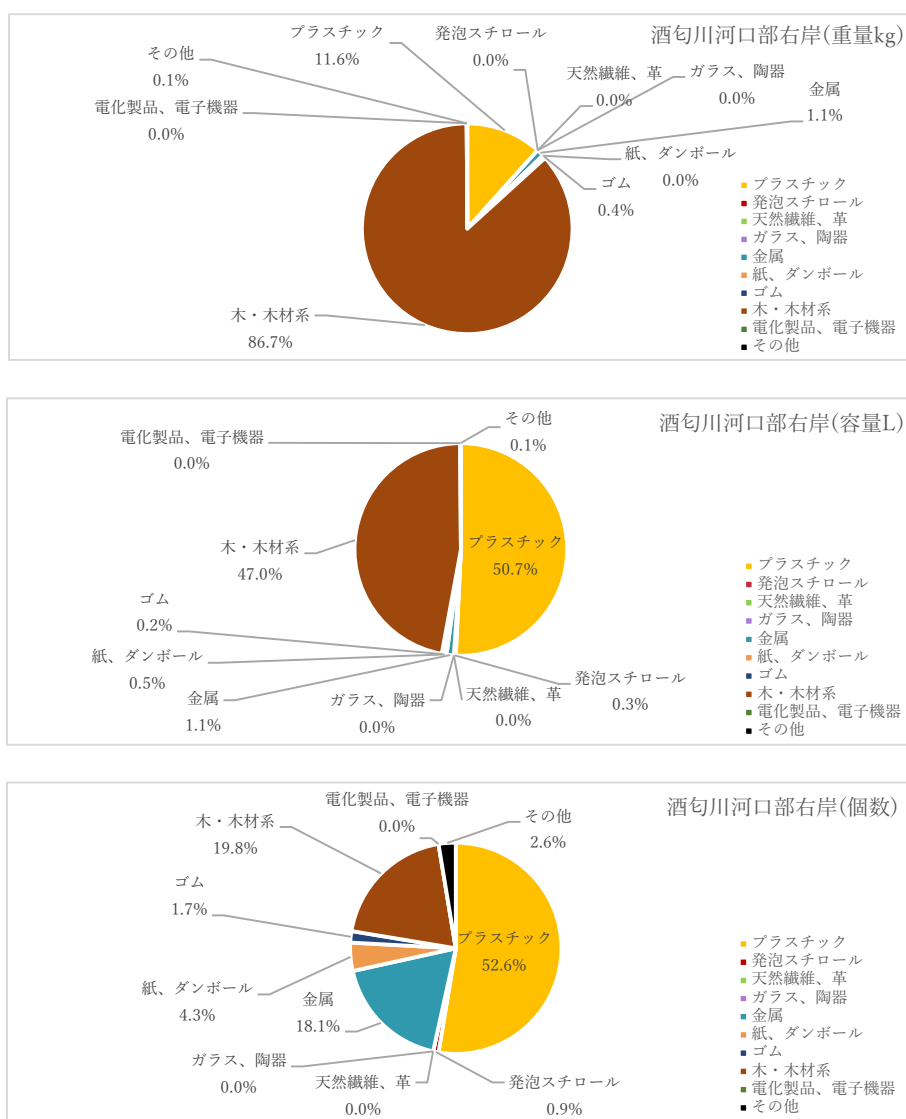


図 2. 4-3 (6) 人工物の大分類別の組成 (R02 年度調査)

表 2.4-2(7) 人工物の大分類別の組成 (R01 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
プラスチック	0.26	2.6	25
発泡スチロール	0.01	0.3	1
天然繊維、革	0.00	0.0	0
ガラス、陶器	0.02	0.0	2
金属	0.48	6.0	17
紙、ダンボール	0.03	0.6	4
ゴム	0.00	0.0	0
木・木材系	1.36	20.1	2
電化製品、電子機器	0.00	0.0	0
その他	0.00	0.0	0
合計	2.16	29.6	51

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

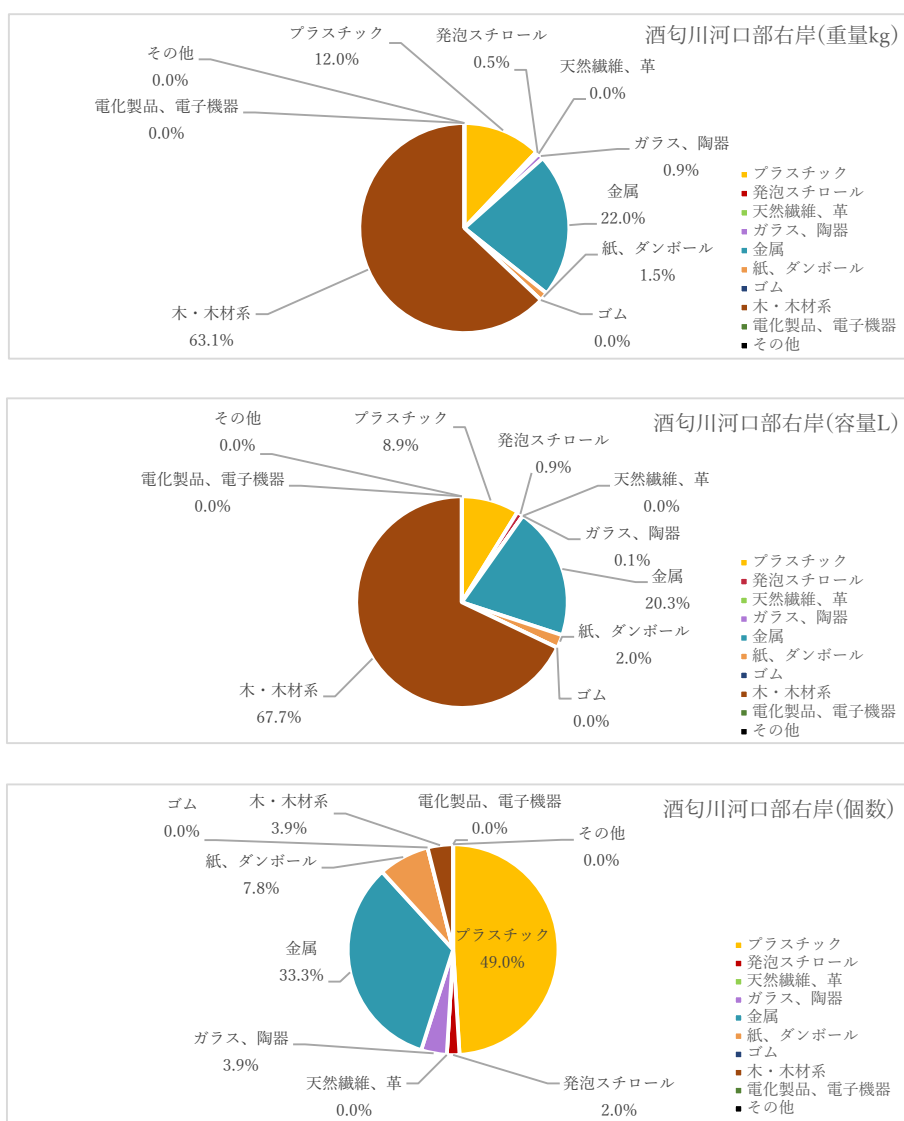


図 2.4-3(7) 人工物の大分類別の組成 (R01 年度調査)

表 2.4-3(1) プラスチックの容器包装等の組成 (R07 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
容器包装	0.23	1.4	6
製品	0.66	6.3	6
漁具	0.00	0.0	0
その他	0.75	5.1	0
合計	1.64	12.8	12

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

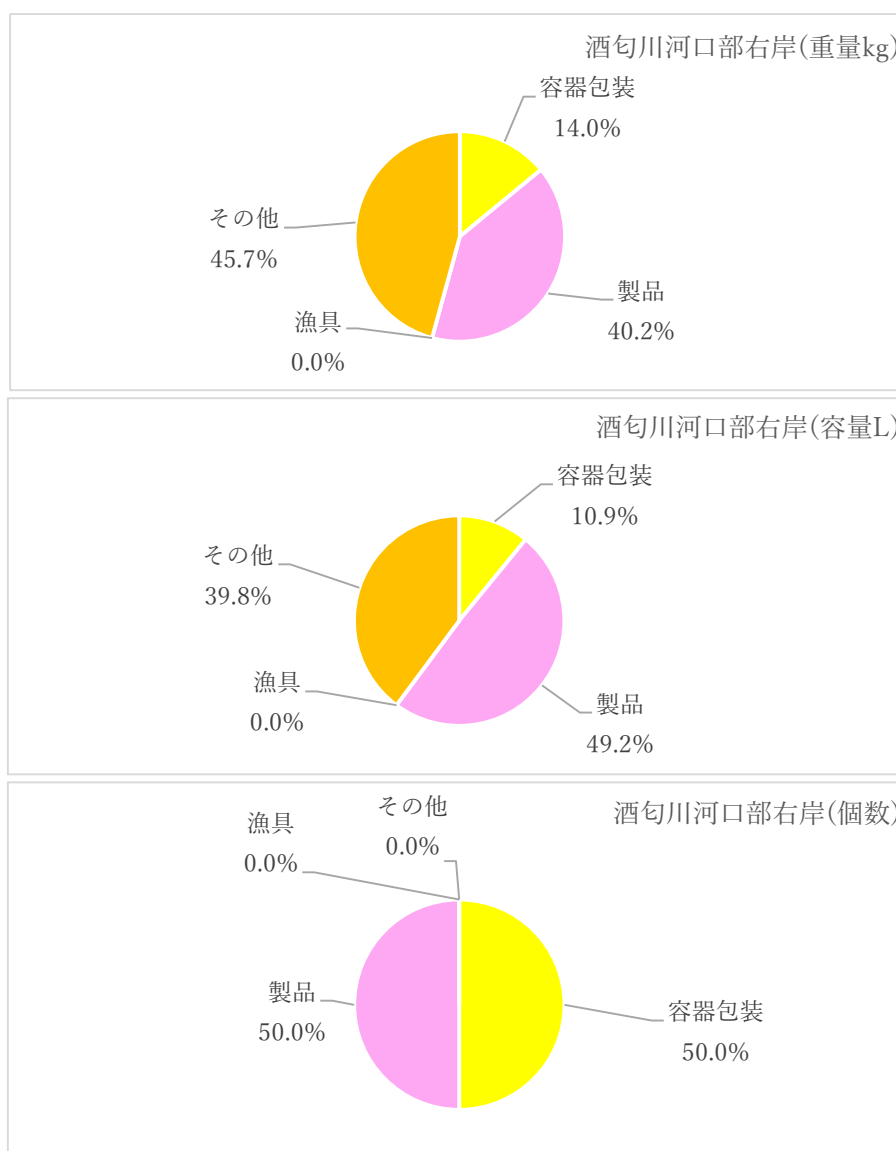


図 2.4-4(1) プラスチックの容器包装等の組成 (R07 年度調査)

表 2. 4-3 (2) プラスチックの容器包装等の組成 (R06 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
容器包装	0.03	0.5	14
製品	0.11	1.9	28
漁具	0.01	0.0	1
合計	0.14	2.4	43

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

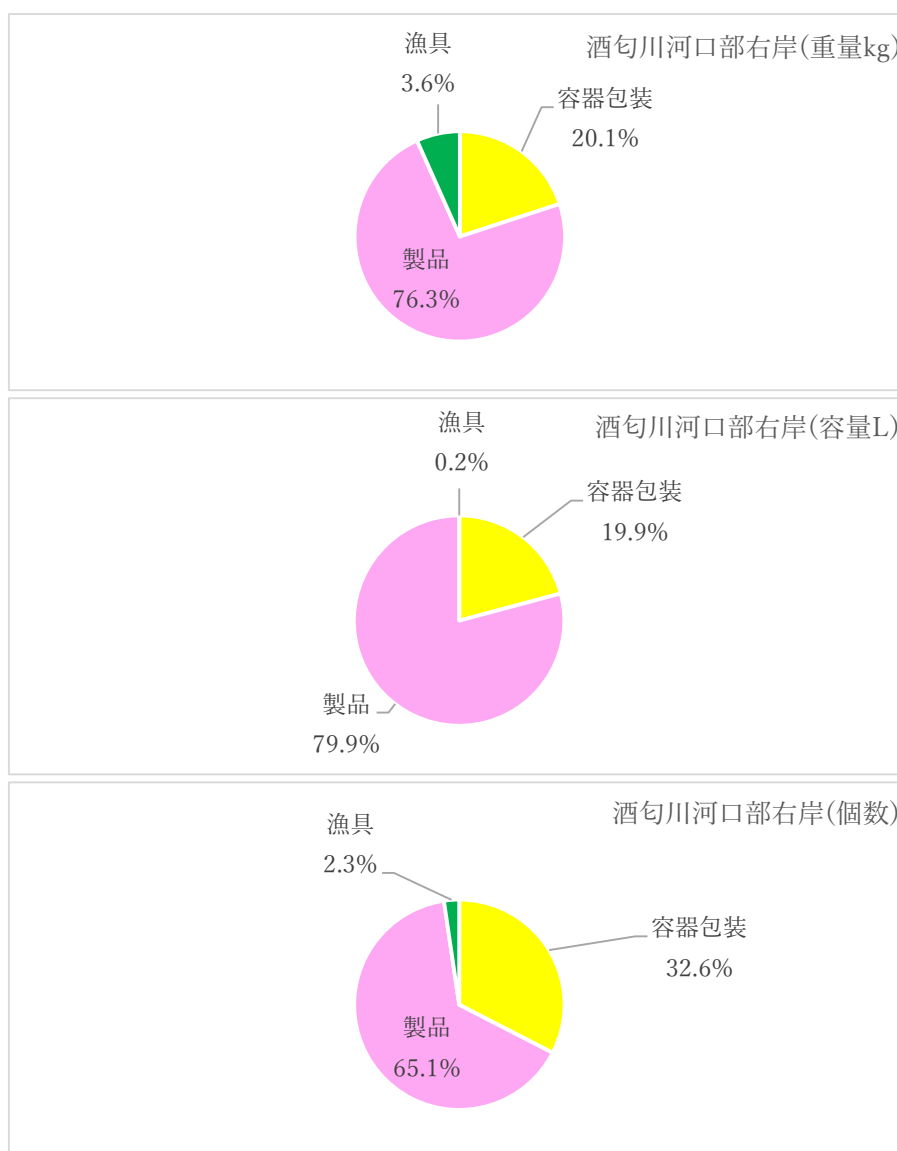


図 2. 4-4 (2) プラスチックの容器包装等の組成 (R06 年度調査)

表 2. 4-3 (3) プラスチックの容器包装等の組成 (R05 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
容器包装	0.00	0.1	4
製品	0.06	0.6	17
漁具	0.00	0.1	1
合計	0.07	0.8	22

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

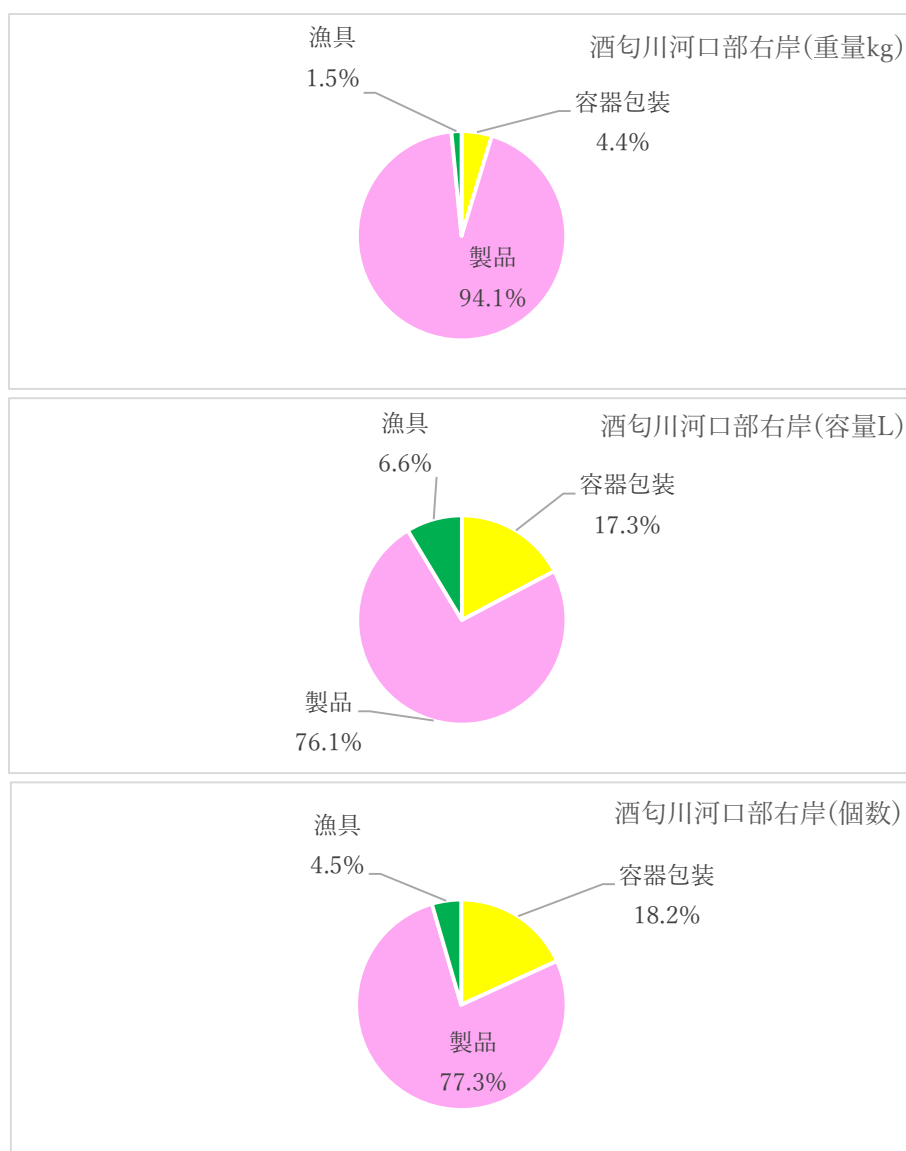


図 2. 4-4 (3) プラスチックの容器包装等の組成 (R05 年度調査)

表 2. 4-3 (4) プラスチックの容器包装等の組成 (R04 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
容器包装	0.11	3.3	33
製品	5.91	22.7	96
漁具	0.02	0.0	1
合計	6.04	26.1	130

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

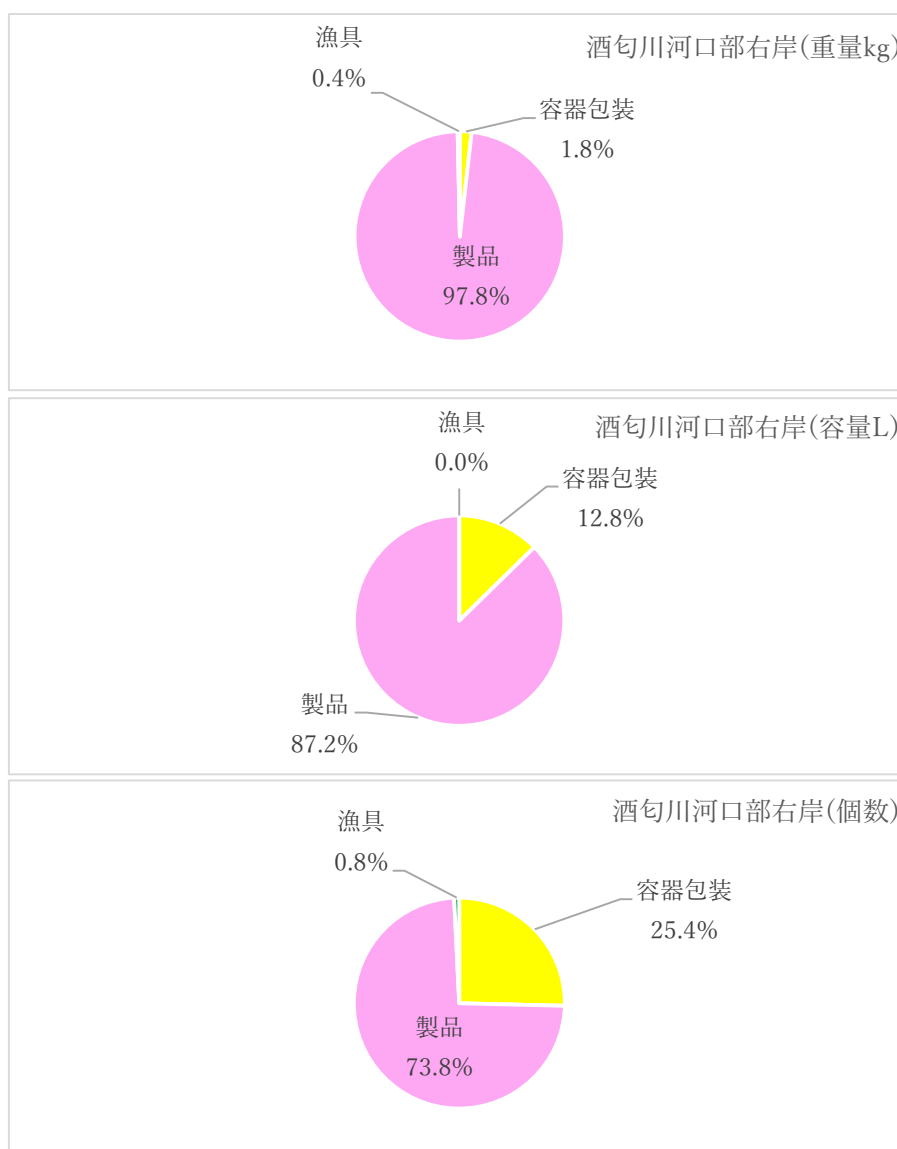


図 2. 4-4 (4) プラスチックの容器包装等の組成 (R04 年度調査)

表 2. 4-3 (5) プラスチックの容器包装等の組成 (R03 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
容器包装	0.67	18.0	85
製品	2.21	12.3	178
漁具	0.05	0.1	3
合計	2.93	30.4	266

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

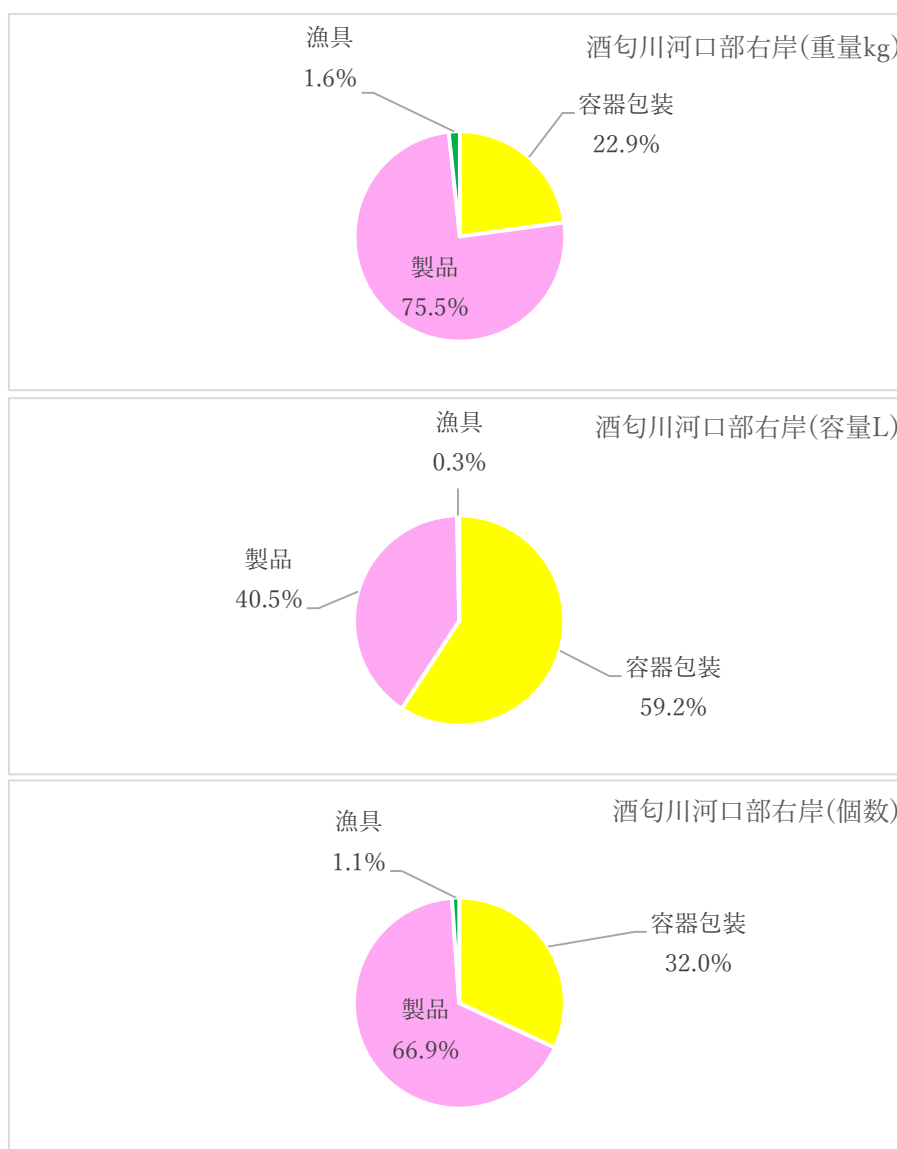


図 2. 4-4 (5) プラスチックの容器包装等の組成 (R03 年度調査)

表 2. 4-3 (6) プラスチックの容器包装等の組成 (R02 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
容器包装	0.02	1.3	19
製品	3.59	105.1	40
漁具	0.01	0.5	3
合計	3.61	106.9	62

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

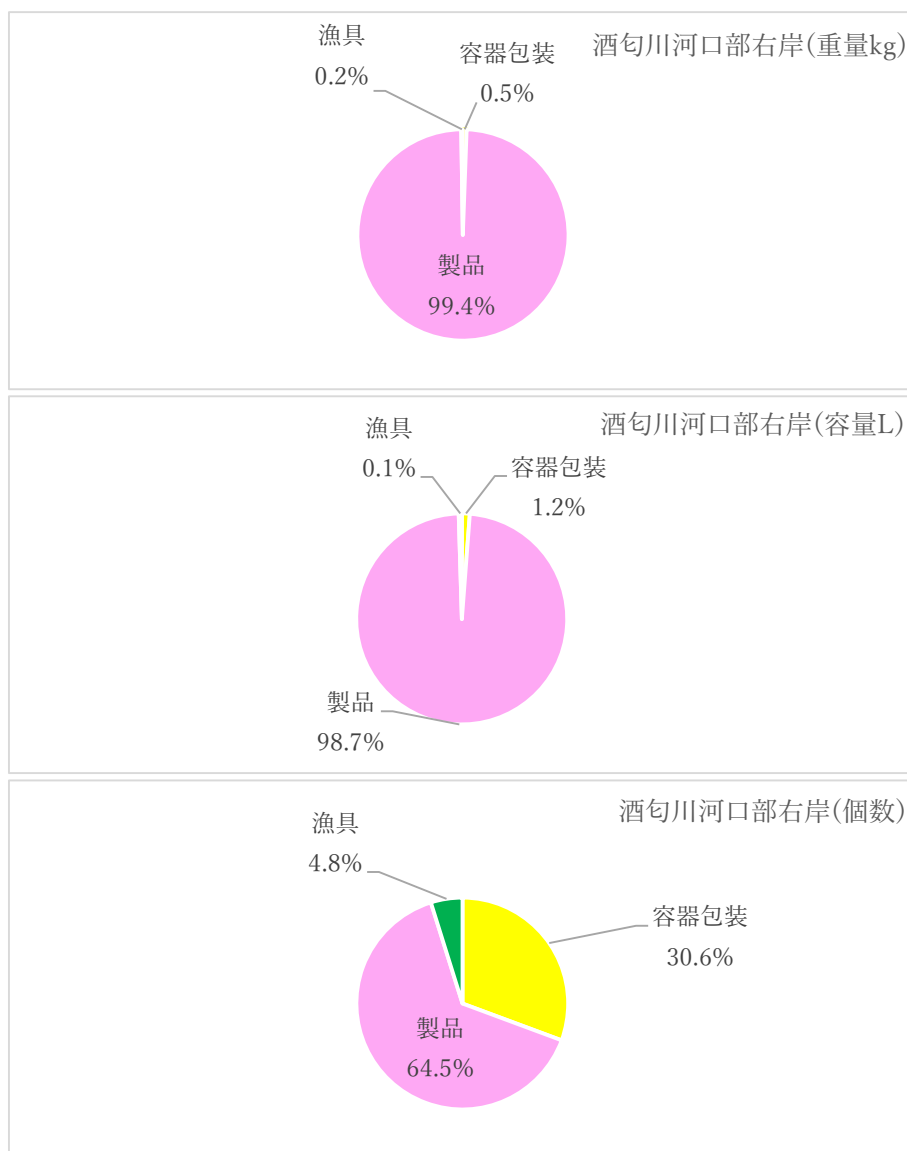


図 2. 4-4 (6) プラスチックの容器包装等の組成 (R02 年度調査)

表 2. 4-3 (7) プラスチックの容器包装等の組成 (R01 年度調査)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
容器包装	0.19	6.2	15
製品	0.18	1.6	14
漁具	0.04	0.1	2
合計	0.41	7.9	31

※1 四捨五入の関係で、必ずしも表の合計は一致しない

※2 図も同様である

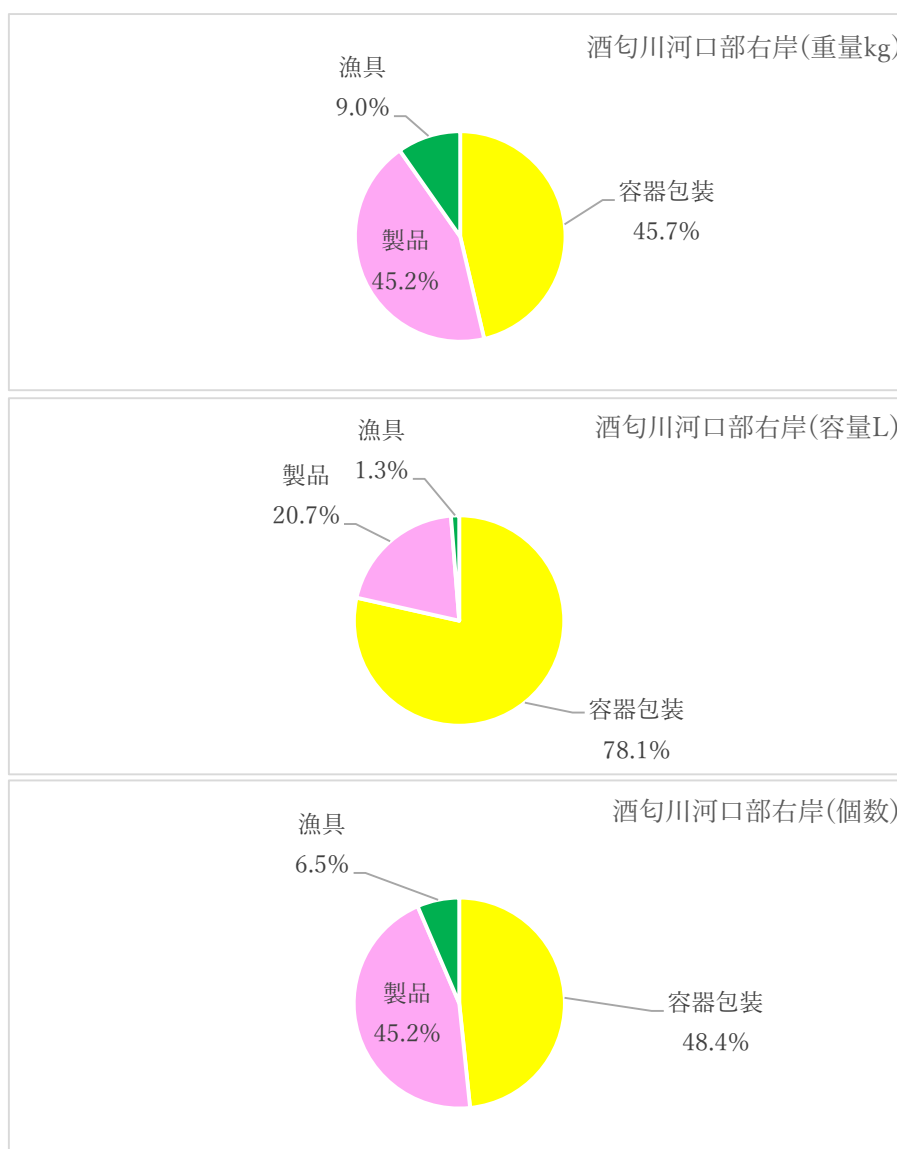


図 2. 4-4 (7) プラスチックの容器包装等の組成 (R01 年度調査)

2.4.2 発生源の推定

特定できたペットボトル等の製造国は、表 2.3-4 に示す。

本年度調査では、ペットボトルは日本2個であった。

これまでの調査で特定できた製造国は、不明を除いて日本だけであった。

表 2.4-4 製造国の特定結果

	ペットボトル		ペットボトルのキャップ		漁業用の浮子	
	本年度調査	R2～R7 の合計	本年度調査	R2～R7 の合計	本年度調査	R2～R7 の合計
日本	2	4	0	4	0	0
中国・台湾	0	0	0	0	0	0
韓国	0	0	0	0	0	0
英語	0	0	0	0	0	0
不明	0	4	0	3	0	0
合計	2	8	0	7	0	0